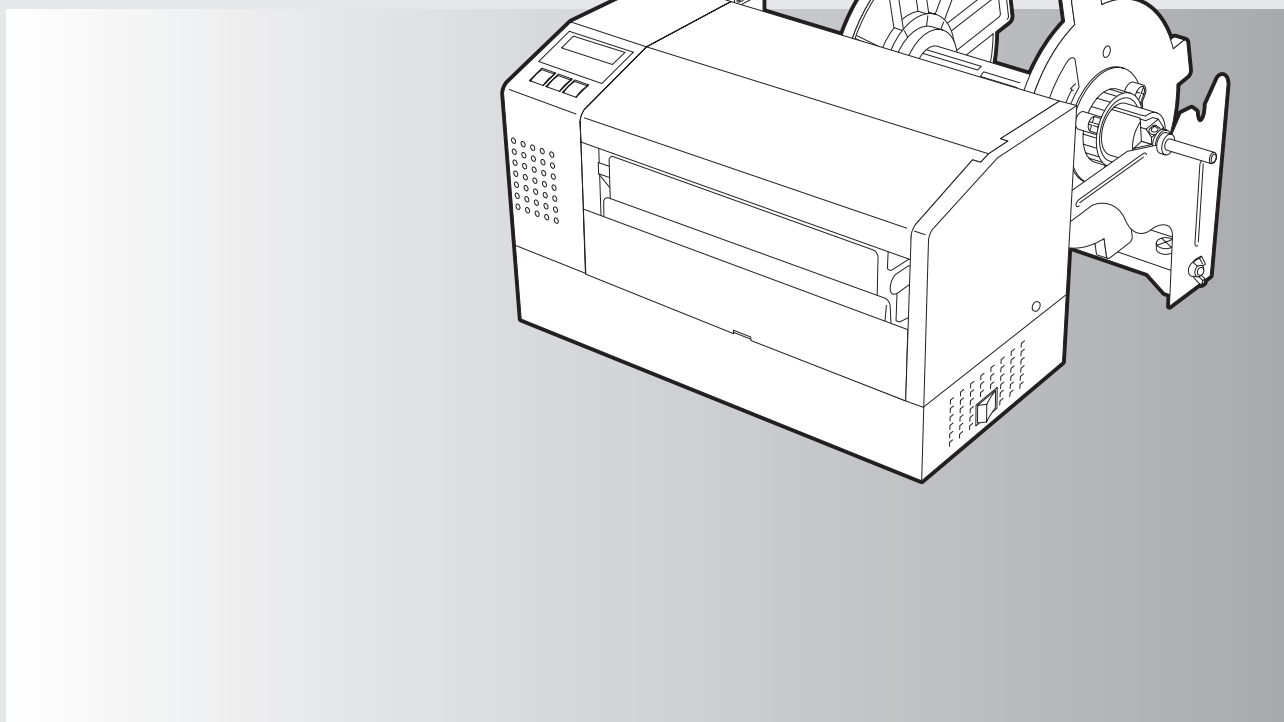


TEC

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

B-858-TS25-R



- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目次

▶ 安全上のご注意(安全にお使いいただくために).....3	システムモードの機能.....69
▶ 本書の表記と公的規格等について.....10	システムモードの概要.....69
操作に関する表記.....10	自己診断.....70
本書で使用しているマークの意味.....10	テスト印字.....79
重要なお知らせ.....10	センサー表示／調整.....87
公的規格等について.....11	RAMクリア.....90
▶ 付属品の確認.....12	IPアドレス設定.....94
▶ 各部の名前と働き.....13	ベーシック設定.....99
外観.....13	▶ 日常のお手入れ.....101
内部.....14	カバーを清掃する.....101
操作パネル.....15	印字ヘッド／プラテンを清掃する.....102
▶ 本機をお使いになる前の準備.....16	用紙検出センサー部を清掃する.....103
設置場所について.....16	カッター（オプション）を清掃する.....103
ダンパーを取り付ける.....17	▶ 困ったときは.....105
サプライスタンドを組み立てる.....18	エラーメッセージについて.....105
コンピュータと接続する.....19	正しく動作しないとき.....107
プリンタケーブルで接続する.....19	用紙が詰まったとき.....108
シリアルケーブルで接続する.....20	本機内部で詰まった場合.....108
LANケーブルで接続する.....20	カッター内部で詰まった場合(オプション)....109
USBケーブルで接続する.....21	リボンが途中で切れたとき.....110
電源コードを接続する.....22	リボンの巻きが乱れたとき.....111
▶ 電源のON/OFFについて.....24	▶ 仕様.....112
電源をONにする.....24	本機の仕様.....112
電源をOFFにする.....25	外形寸法.....112
▶ 用紙を取り付ける.....26	用紙の仕様.....113
取付手順.....26	リボンの仕様.....113
▶ 用紙検出センサーの位置を調整する.....32	▶ 保証とアフターサービス(必ずお読みください)....114
センサーの位置関係と検出方法について.....32	▶ サービスステーション所在地一覧.....116
上反射センサーの位置を調整する.....32	▶ 用紙の交換方法.....巻末
下反射センサーの位置を調整する.....33	▶ リボンの交換方法.....巻末
透過センサーの位置を調整する.....33	
▶ リボンを取り付ける(熱転写方式の場合).....34	
取付手順.....34	
リボンを取り外す.....37	
▶ キー操作について.....38	
キー操作の流れ.....39	
インラインモードの機能.....40	
インラインモードの操作例.....40	
スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙) ..41	
リセット操作.....43	
各種パラメータ設定内容の変更.....44	
各種微調値設定内容の変更.....54	
受信バッファのダンプリスト出力.....61	
オートキャリプレーション設定.....64	
LAN有効／無効設定.....66	
RTC設定.....67	

安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買い上げいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■ 表示の意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例



注意

△は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。



分解禁止

⊘は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。



プラグを抜く

●は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

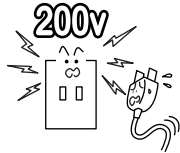
警告

交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の恐れがあります。



100V以外禁止

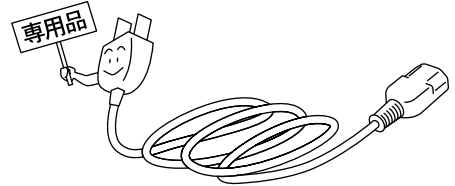


電源コードは本体付属品を使用すること

付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。



専用品使用

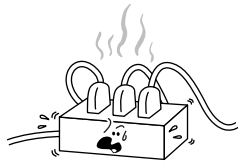


タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと

電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。



禁止

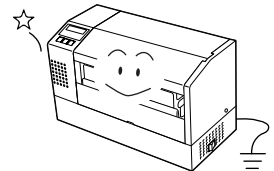


必ずアース(接地)すること

万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。



アース接続する

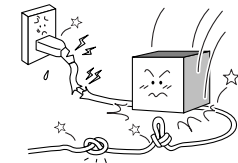


電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと

電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



禁止



濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと

濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。



ぬれ手禁止

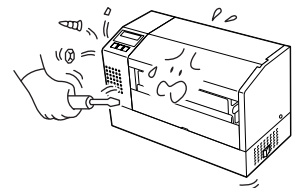


分解や改造、ご自身での修理はしないこと

火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。



分解禁止



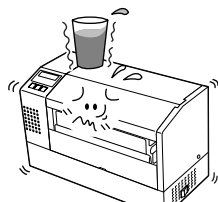
警告

本機の上に液体の入った容器やアクセサリなどの金属類を置かないこと

こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。



禁止

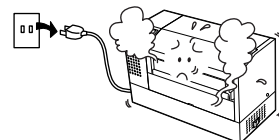


万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



プラグを抜く

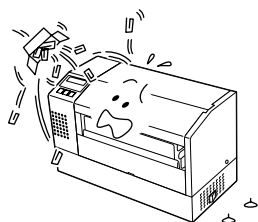


本機の内部にクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと

配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。



禁止

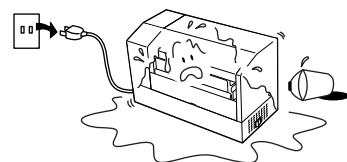


万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



プラグを抜く

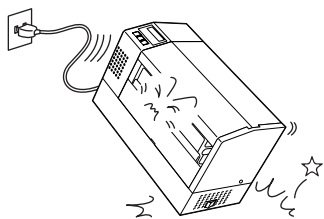


本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと

カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。



禁止

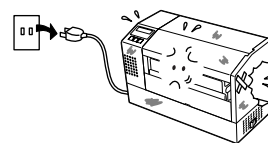


万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



プラグを抜く

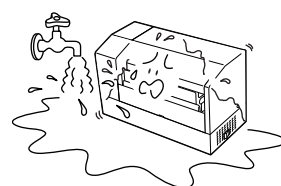


水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと

火災・感電の恐れがあります。



水ぬれ禁止



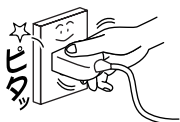
⚠️ 注意

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。



確実に差し込む

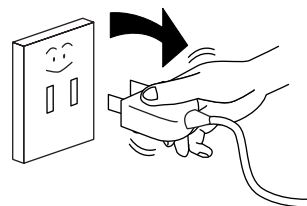


電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと

電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを持つ



電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること

ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



ほこりを取る

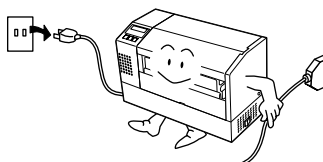


移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



コードを抜く

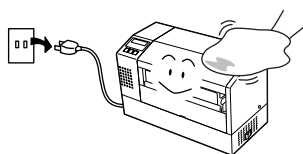


お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと

感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

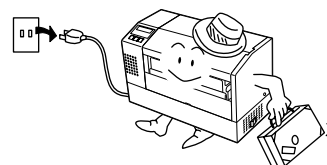


長期間使用しないときは安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

火災の原因となることがあります。



プラグを抜く



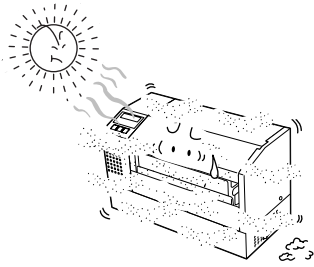
⚠️ 注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと

内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

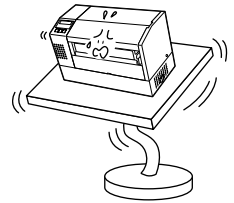


ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

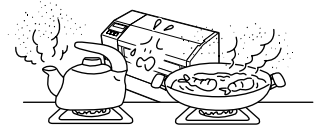


調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

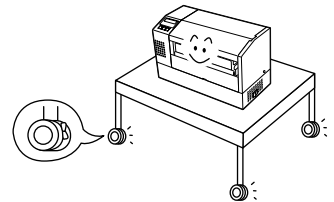


本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



キャスターを止める

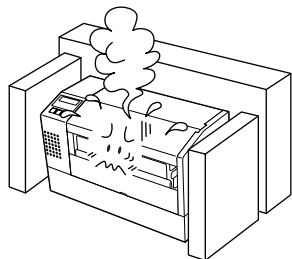


通風口をふさがないこと

通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



禁止

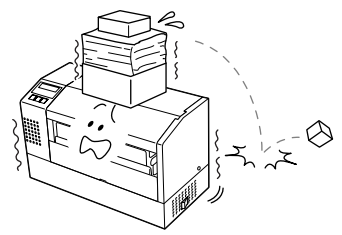


本機の上に重い物を置かないこと

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止



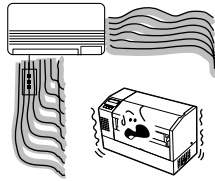
⚠️ 注意

冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと

露がつき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

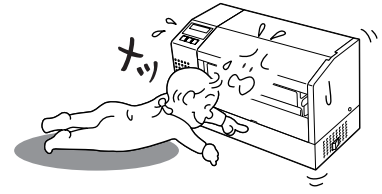


本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと

感電・けがの原因となることがあります。



禁止

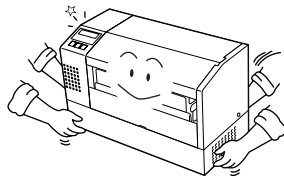


本機を移動するときは、必ず2人以上で行うこと

1人で移動しようとする、けがの原因となることがあります。



強制

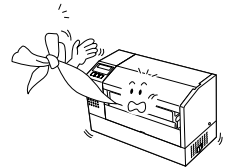


用紙・リボン・インクロールなどの消耗品を交換するときは、プリンタのギアなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを巻き込まれないこと

けがの原因となることがあります。



注意

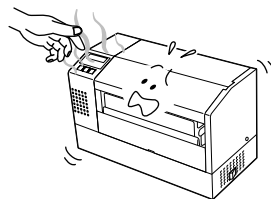


プリンタのヘッド部周辺は高温になっている場合があるので、消耗品の交換時などに手を触れないこと

やけどの原因となることがあります。



高温注意



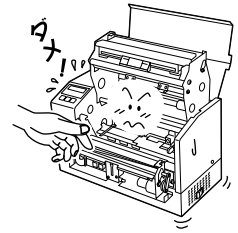
カッターの刃には手を触れないこと

けがの原因となることがあります。

(※カッターモジュール取付時)



接触禁止

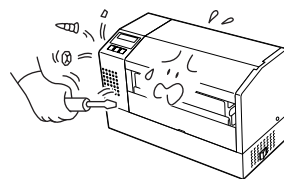


取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などほしないこと

感電・けがの原因となることがあります。



禁止

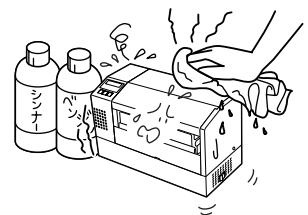


シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと

火災の原因となることがあります。



禁止



お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

<p>●急激な温度変化を与えないでください。 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。</p>	 禁止
<p>●テレビやラジオの近くでは使用しないでください。 電波妨害を引き起こす原因となります。</p>	 禁止
<p>●本機を落としたりぶついたり、本機に強い衝撃を与えないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。</p>	 禁止
<p>●お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。 変質・変形・変色・故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>●印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。 印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。</p>	 禁止
<p>●当社指定の用紙やリボンを使用してください。 当社指定品以外の用紙やリボンを使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 専用品使用
<p>●用紙やリボンなどの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。 直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙やリボンを使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>●オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。 当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。</p>	 指定品使用

本書の表記と公的規格等について

操作に関する表記

● キーの表記

本機のキーは次のように表記します。



● ランプの表記

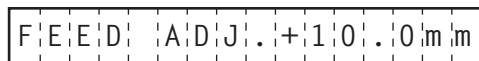
本機のランプは、状態によって次のように表記します。

●:消灯 ○:点灯 ◎:点滅

● 液晶表示部の表記


キー操作の説明で液晶表示部の表示と連動するところは、操作内容と表示例を表記します。

例)



① フィード量微調設定

 または  で設定します。

②  キーを押します。

本書で使用しているマークの意味

お願い :できないこと、してはいけないこと、注意していただきたい情報を記述しています。

補足 :知っているると便利なことや補足情報を記述しています。

(→) :詳しい説明のある項目やページを記述しています。

例)(→『困ったときは』) (→P.107)

重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合していません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っていません。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。

公的規格等について

⚡ 無線機器（テレビ・ラジオ）の近くでは使用しないでください ⚡

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合

本機はRoHS[※]指令に対応しています。

※RoHS : Restriction of the use of certain Hazardous Substances

EU(欧州連合)加盟国では、コンピュータや通信機器、家電などの電気・電子製品中に特定有害物質(6物質群)の使用禁止を定めたRoHS指令が2006年7月から施行されました。

対象となる特定有害物質: 鉛、六価クロム、水銀カドミウム、

ポリ臭化ビフェニル類、ポリ臭化ジフェニルエーテル類

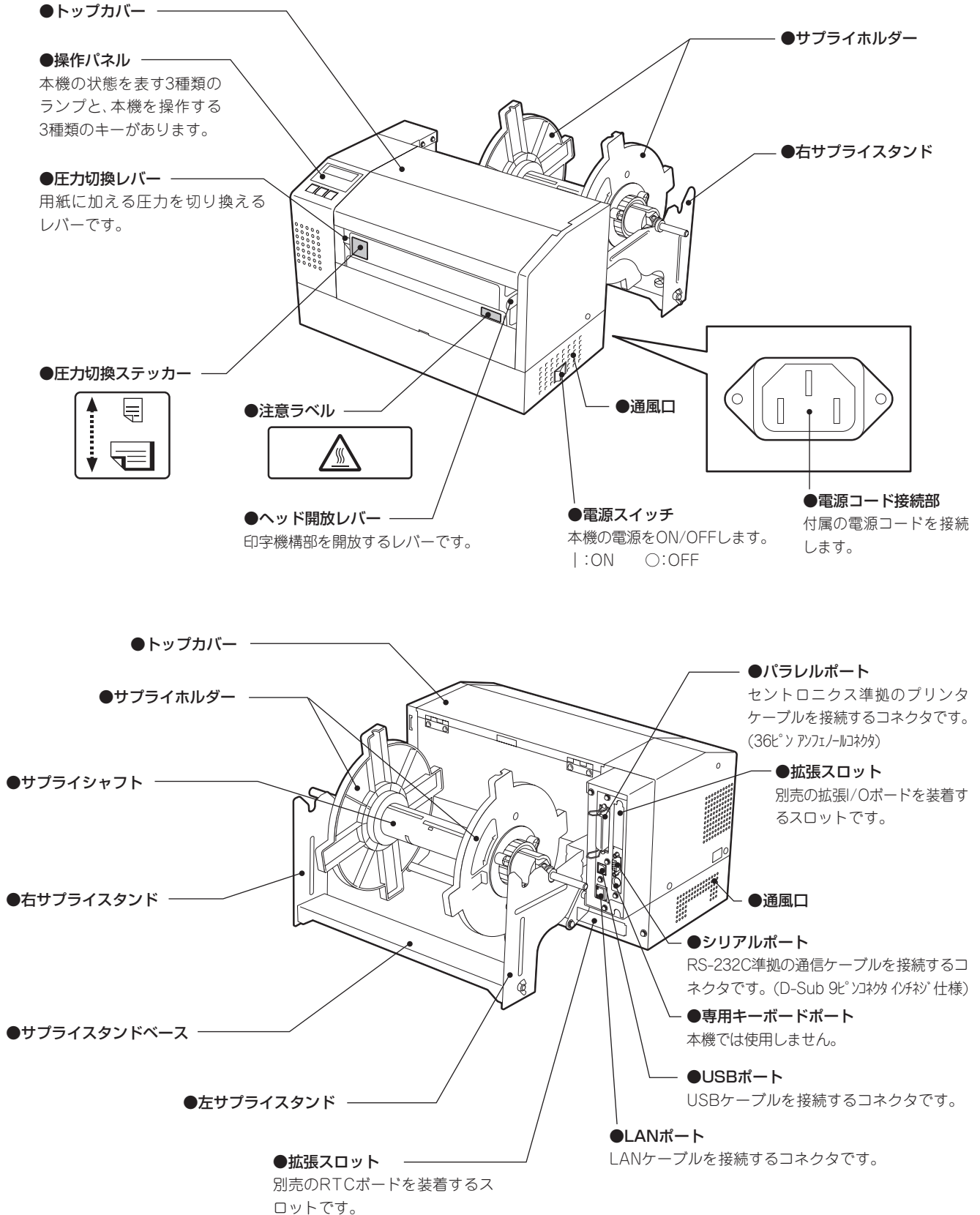
付属品の確認

付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。なお、コンピュータと接続する通信ケーブルは付属していません。通信ケーブルの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

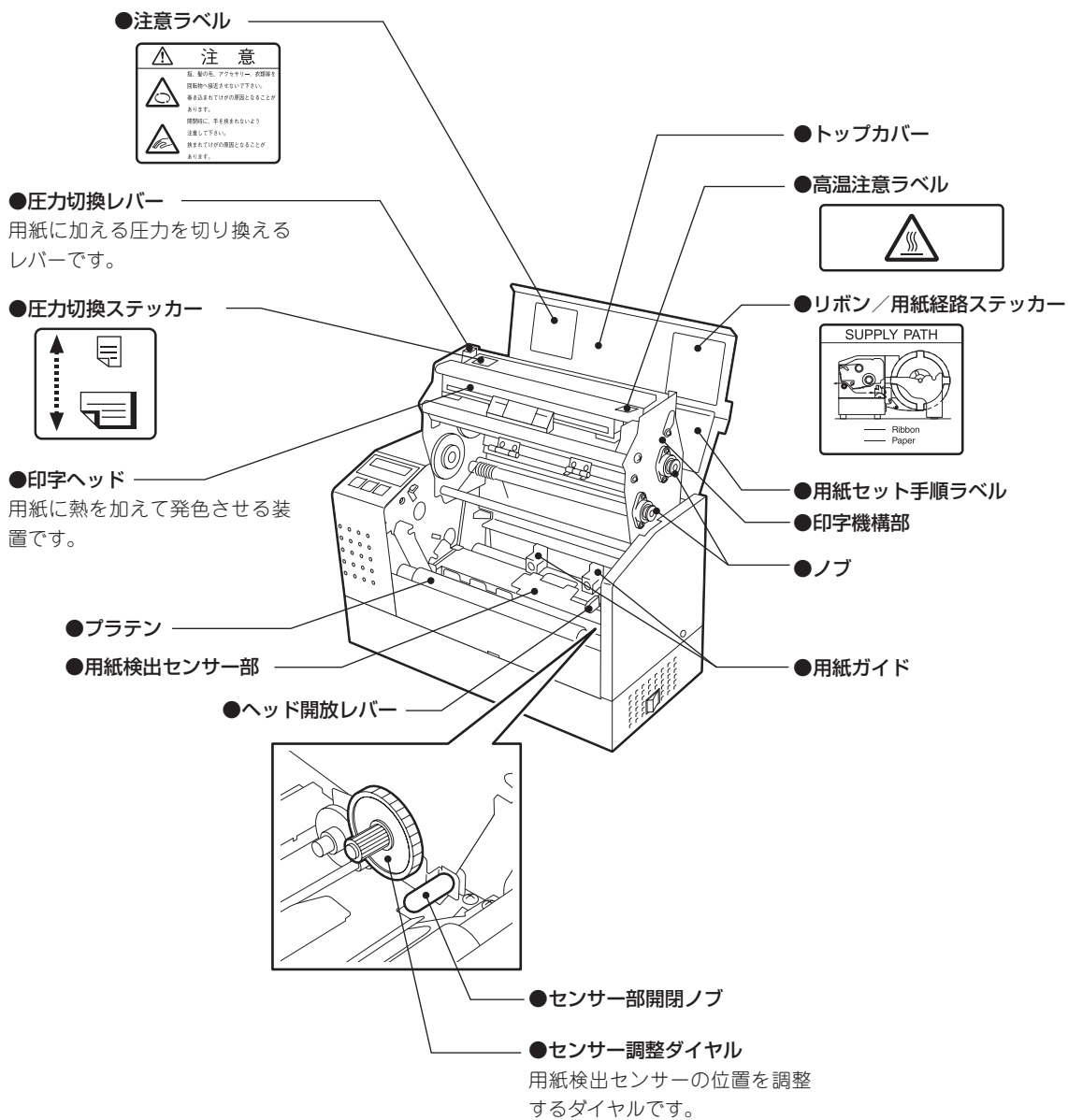
<ul style="list-style-type: none"> ● サプライスタンドベース(1個) ● 蝶ネジ(2個) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 右サプライスタンド(1個) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 左サプライスタンド(1個) 
<ul style="list-style-type: none"> ● サプライホルダーユニット(1個) 	<ul style="list-style-type: none"> ● テスト用用紙(1巻) ● テスト用リボン(1巻) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ダンパー (1個) 
<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドクリーナーペン(1個) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード(1本) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 取扱説明書(本書) ● 保証書 
<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルクランプ(1個) ● ネジD-3×6 (1個) 	<p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のテスト用用紙とリボンは、開梱時の動作確認用としてご使用ください。 正式にご使用になる場合は、別途当社認定の純正品をお買い上げの販売店でお求めください。 	

各部の名前と働き

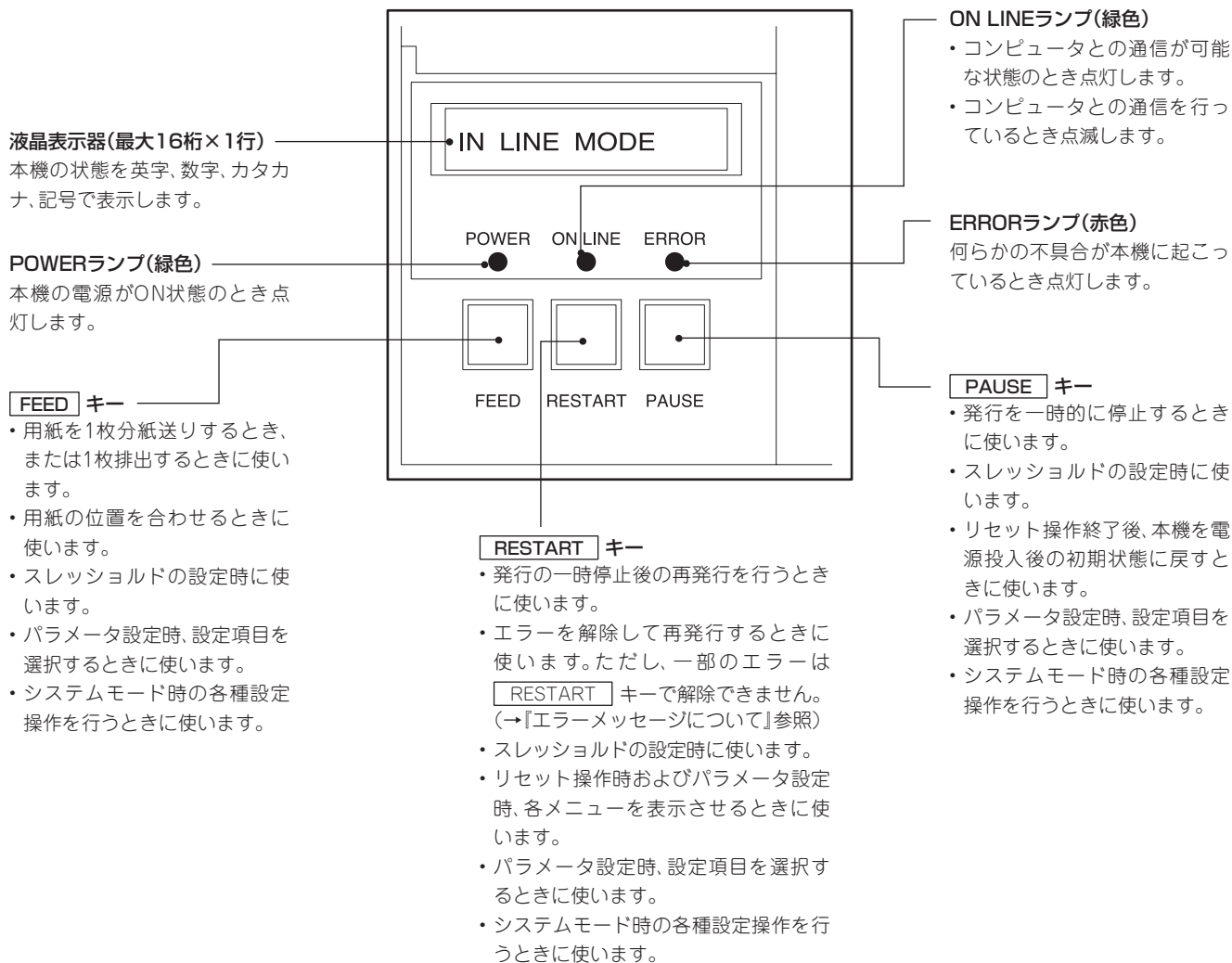
外観



内部



操作パネル



液晶表示器(最大16桁×1行)
本機の状態を英字、数字、カタカナ、記号で表示します。

POWERランプ(緑色)
本機の電源がON状態のとき点灯します。

FEED キー

- 用紙を1枚分紙送りするとき、または1枚排出するときに使います。
- 用紙の位置を合わせるときに使います。
- スレッシュホールドの設定時に使います。
- パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。

RESTART キー

- 発行の一時停止後の再発行を行うときに使います。
- エラーを解除して再発行するときに使います。ただし、一部のエラーは **RESTART** キーで解除できません。(→『エラーメッセージについて』参照)
- スレッシュホールドの設定時に使います。
- リセット操作時およびパラメータ設定時、各メニューを表示させるときに使います。
- パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。

ON LINEランプ(緑色)

- コンピュータとの通信が可能な状態のとき点灯します。
- コンピュータとの通信を行っているとき点滅します。

ERRORランプ(赤色)
何らかの不具合が本機に起こっているとき点灯します。

PAUSE キー

- 発行を一時的に停止するときに使います。
- スレッシュホールドの設定時に使います。
- リセット操作終了後、本機を電源投入後の初期状態に戻すときに使います。
- パラメータ設定時、設定項目を選択するときに使います。
- システムモード時の各種設定操作を行うときに使います。

本機をお使いになる前の準備

ここでは本機の設置、ダンパーの取り付け方、サプライスタンドの組み立て方、コンピュータとの接続、および電源コードの接続について説明します。

設置場所について

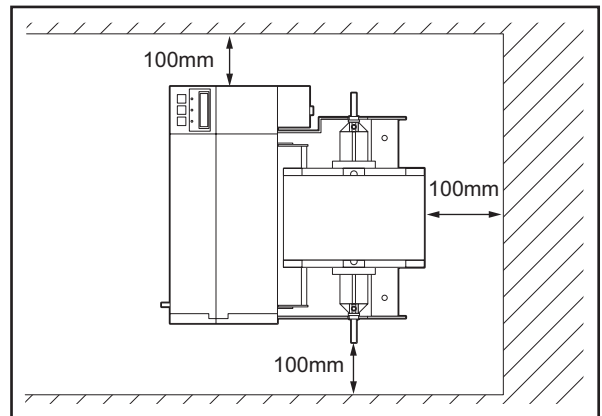
操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平坦で水平な場所に本機を設置してください。

また本機の周辺には、右図のような空間を確保してください。

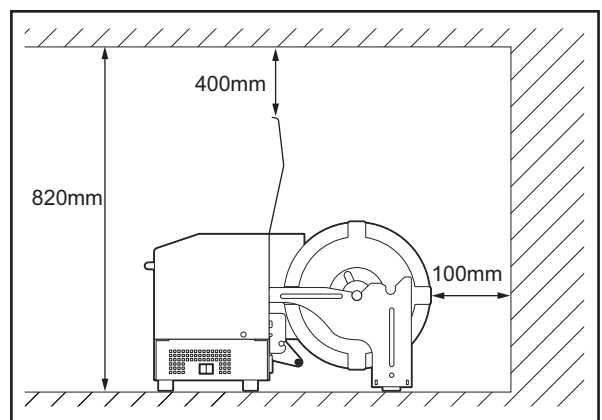
⚠ 注意

- 次のような場所には設置しないこと
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・高温、多湿な場所
 - ・急激な温度変化がある場所
 - ・振動のある場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・磁気や電磁波を発生する機器の近く
 - ・火気や水気に近い場所
 - ・不安定な台の上
- 火災・感電・けがの原因となることがあります。

【上から見た図】



【横から見た図】



ダンパーを取り付ける

付属のダンパーは、次の手順で本機の後部に取り付けてください。



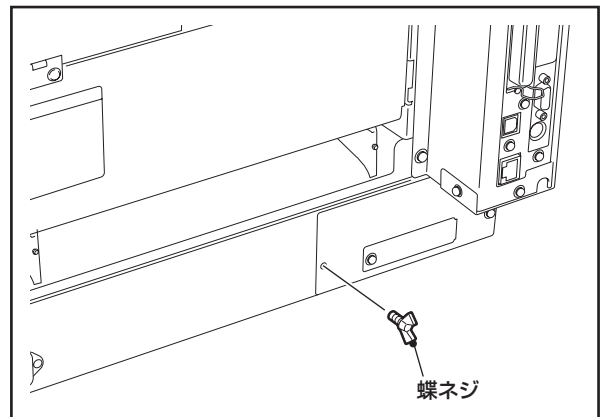
注意

- ・ダンパー取付時は電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源ON状態で取り付けると、感電の原因となることがあります。
- ・ダンパー取付時は、サプライホルダーユニットを取り外して作業すること
けがの原因となることがあります。

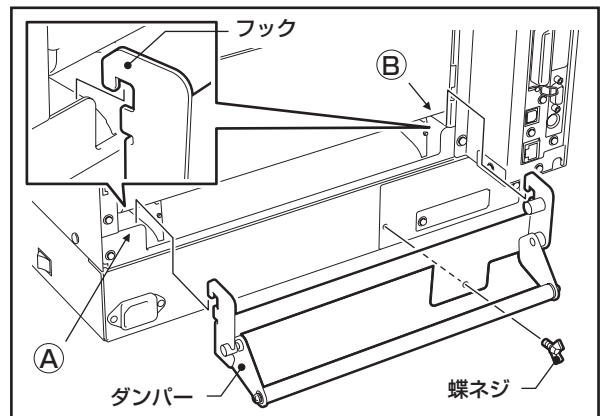
1 本機後部の蝶ネジを外します。

お願い

- ・蝶ネジは紛失しないよう、大切に保管してください。ダンパー取付時に必要です。



2 ダンパーの左右のフックを、用紙挿入口の(A)および(B)部に引っ掛けます。



3 手順1で外した蝶ネジで、ダンパーを固定します。

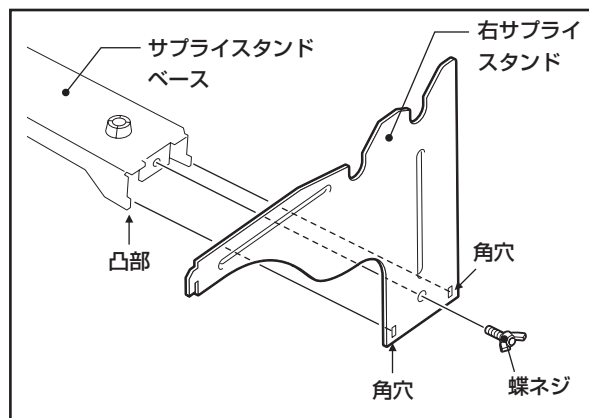
サプライスタンドを組み立てる

付属のサプライスタンドは次の手順で組み立て、本機の後部に取り付けてください。

- 1 右サプライスタンドの角穴にサプライスタンドベースの凸部を合わせ、付属の蝶ネジでサプライスタンドをしっかりと固定します。

補足

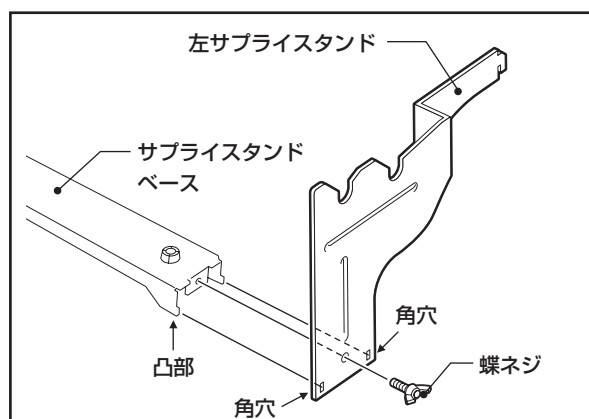
- サプライスタンドベースに前後左右はありません。



- 2 同様に左サプライスタンドを付属の蝶ネジでしっかりと固定します。

お願い

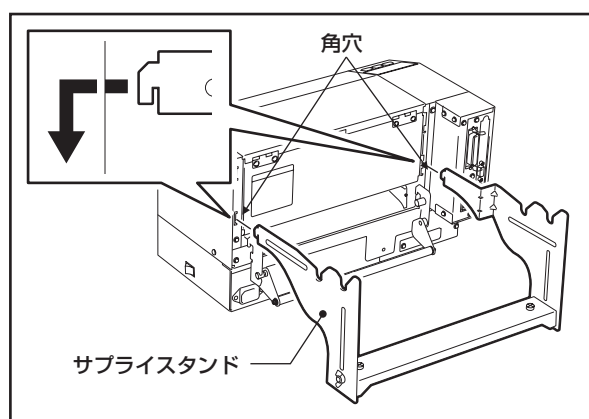
- サプライスタンドは、同じ方向に向くように組み立ててください。



- 3 組み立てたサプライスタンドは、本機後部の取付穴に正しく取り付けます。

補足

- 取付穴に正しく取り付けないと、用紙の蛇行や紙送り不良の原因となります。

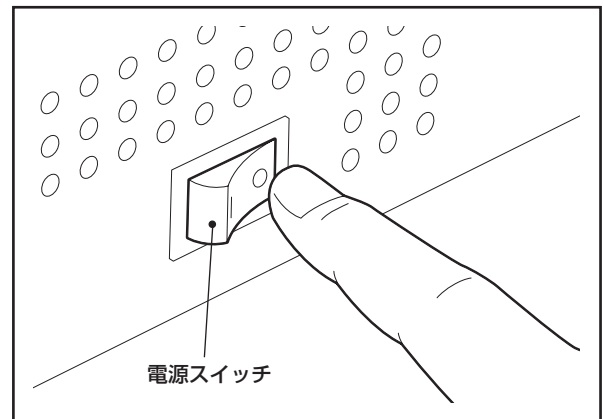


コンピュータと接続する

コンピュータとの通信方法により、使用する通信ケーブルが異なります。
 詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

プリンタケーブルで接続する

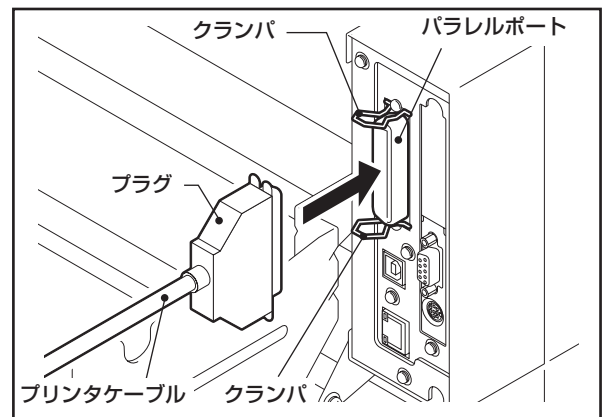
- 1 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(○)側がOFFです。



- 2 プリンタケーブルのプリンタ側プラグを、本機後部のパラレルポートに接続し、クランプで固定します。

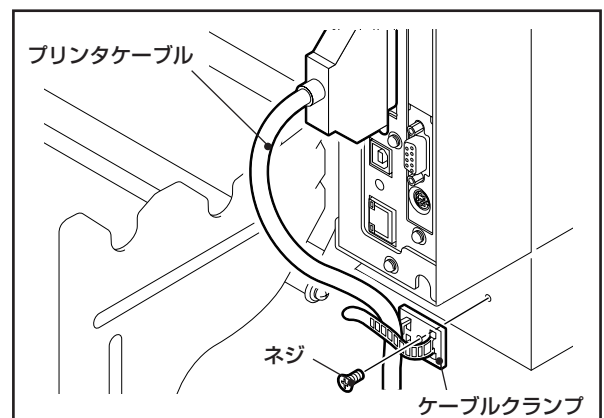
お願い

- プリンタケーブルはIEEE1284準拠のものをご使用ください。



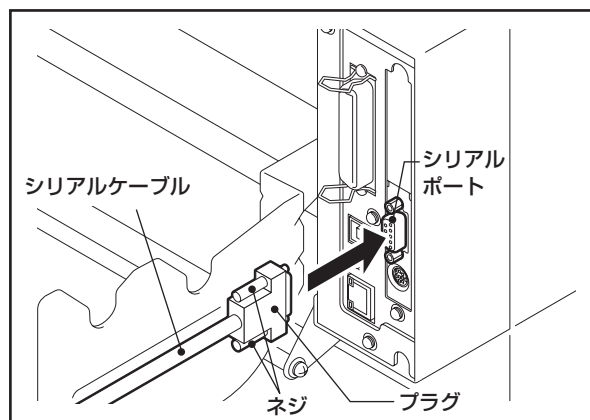
- 3 付属のケーブルクランプを本機に取り付け、右図のようにプリンタケーブルを固定します。

- 4 プリンタケーブルのコンピュータ側プラグを、コンピュータのプリンタポートに接続します。
 (→『コンピュータの取扱説明書』)



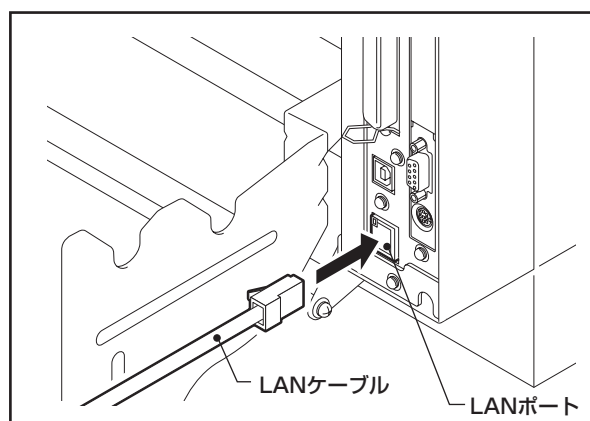
シリアルケーブルで接続する

- 1 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(○)側がOFFです。
- 2 シリアルケーブルのプリンタ側プラグを、本機後部のシリアルポートに接続し、ネジでプラグを固定します。
- 3 シリアルケーブルのコンピュータ側プラグを、コンピュータのシリアルポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)



LANケーブルで接続する

- 1 本機後部のLANポートに、LANケーブルのコネクタを接続します。
- 補足**
- 本機およびコンピュータの電源をOFFにする必要はありません。
- 2 LANケーブルのも一方のコネクタを、コンピュータのLANポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)

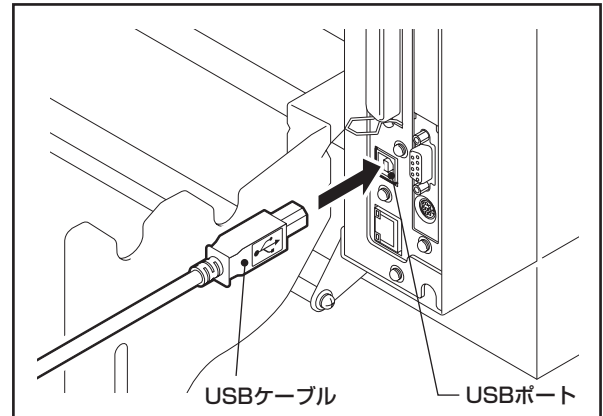


お願い

- LANケーブルは、規格に合ったものをご使用ください。
10BASE-T規格 : カテゴリー 3 以上
100BASE-TX規格 : カテゴリー 5 以上
ケーブル長 : セグメント長最大100mまで
- 接続するLAN環境やノイズ環境によっては、通信エラーが起こる場合があります。その場合は、シールドケーブル(STP)や接続機器のマッチングが求められることがあります。

USBケーブルで接続する

- 1 コンピュータの電源をONにし、Windowsシステムを起動しておきます。
- 2 本機の電源スイッチをONにします。
(|)側がONです。
- 3 本機後部のUSBポートに、USBケーブルのコネクタを接続します。
- 4 USBケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータのUSBポートに接続します。
(→『コンピュータの取扱説明書』)



お願い

- USBケーブルはV1.1以上の規格品で、本機側に接続するコネクタがBタイプのものをご使用ください。
- 本機とコンピュータを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピュータの「ハードウェアの安全な取り外し」等に従って取り外してください。

電源コードを接続する

付属の電源コードは、次の手順でコンセントに接続してください。

また、電源プラグにはアース線が付いていますので、必ずアース端子に接続してください。



警告

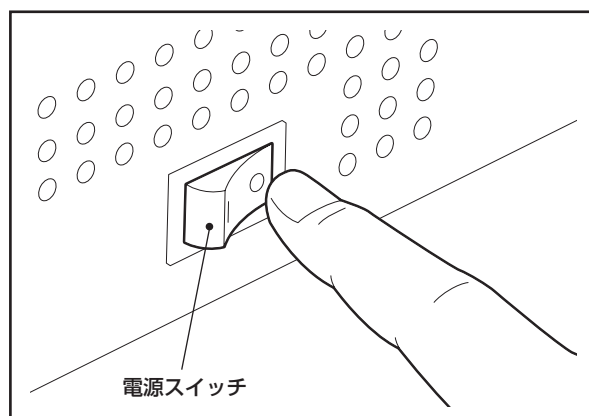
- **交流100V以外のコンセントに差し込まないこと**
火災・感電の恐れがあります。
- **電源コードは本体付属品を使用すること**
付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。
- **たこ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと**
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。
- **電源コードは無理に曲げたり、傷つけたり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、加熱したりしないこと**
電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- **アース線は必ずアース端子に接続すること**
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、事故や故障の原因になることがありますので、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などには接続しないでください。
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
濡れた手で抜き差しすると、感電の恐れがあります。



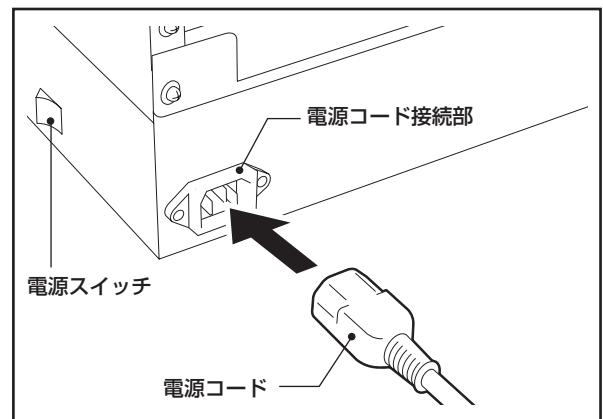
注意

- **本機の電源スイッチがON状態のとき、電源コードを接続しないこと**
ON状態で接続すると、感電・ショートの原因となることがあります。
- **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込むこと**
確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと**
電源コードを引っばると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。
- **電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること**
ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

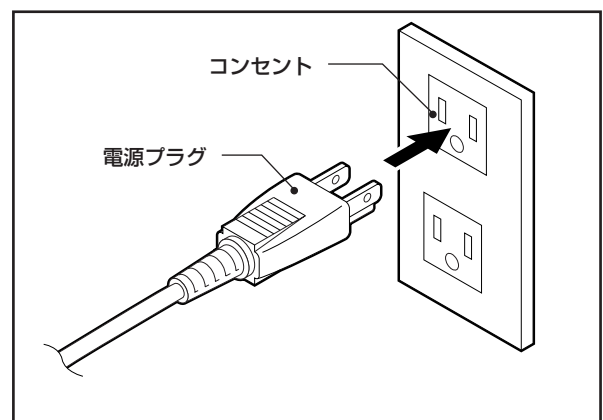
- 1 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。(○)側がOFFです。



- 2 本機後部の電源コード接続部に電源コードを接続します。



- 3 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

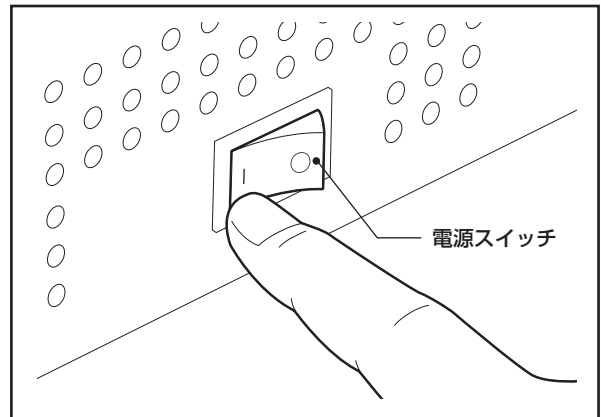


電源のON/OFFについて

本機は、電源ON時に印字ヘッドやメモリーのチェックを行います。また、電源OFF時にはメモリー内のデータを消去します。

電源をONにする

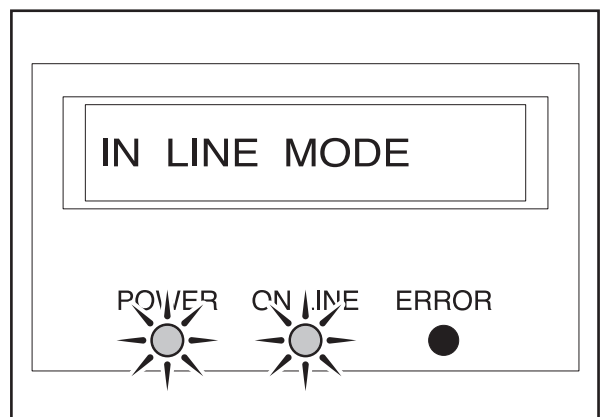
- 1 コンピュータの電源をONにしてから、本機の電源スイッチをONにします。(|)側がONです。



- 2 液晶表示器に「IN LINE MODE」メッセージが表示し、POWERランプ(緑色)とON LINEランプ(緑色)が点灯します。

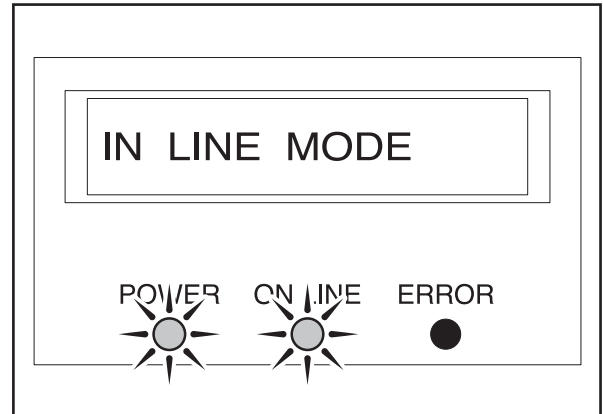
お願い

- 電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、『困ったときは』を参照ください。(→『P.105～111』)



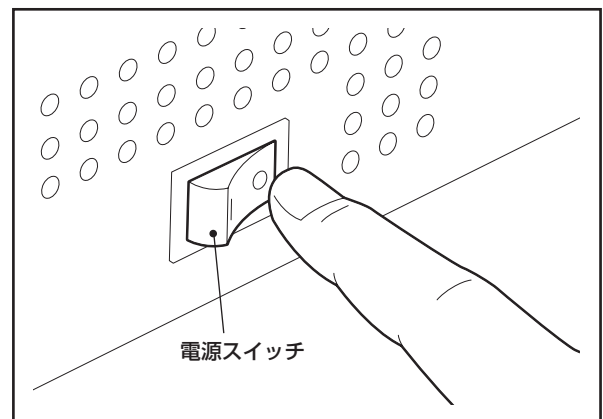
電源をOFFにする

- 1 液晶表示器に「IN LINE MODE」メッセージが表示し、POWERランプ(緑色)とON LINEランプ(緑色)が点灯していることを確認します。



- 2 本機の電源スイッチをOFFにします。(○)側がOFFです。

- 3 コンピュータの電源をOFFにします。



お願い

- 用紙発行中は電源をOFFにしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。ただし、本機から異臭がしたり発煙しているときは、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ON LINEランプが点滅しているときは、電源をOFFにしないでください。接続しているコンピュータに悪い影響を与えることがあります。

用紙を取り付ける

ここでは、初めて本機に用紙を取り付ける手順について説明します。

本機ではラベルとタグを使用することができます。用紙は当社認定の純正品をご使用ください。用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



注意

- ・ **トップカバーは後方へ倒すように全開にすること**
中途半端な状態にしておくとなし、勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ **印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと**
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・ 初めて使用する用紙を取り付けるときは、システムモードの『センサー表示／調整』で用紙検出センサーの感度調整を行ってください。(→『P.87～89』)
- ・ プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→『P.41,42』)

補足

- ・ 当社認定品以外の用紙を取り付けて印字した場合、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 紙管の内径がおよそ76.2mm (標準)の用紙が使用可能です。また、用紙の巻き方向は、内巻きに限定しています。(→『用紙の仕様』)

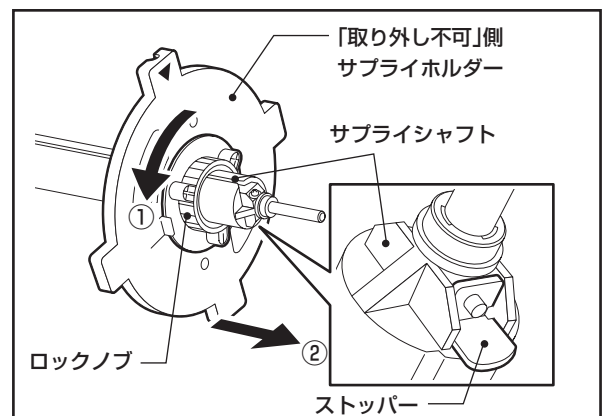
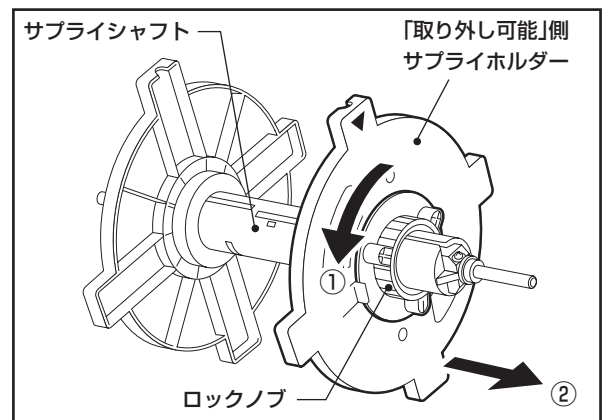
取付手順

- 1 「取り外し可能」側サプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)へ回して緩め、サプライシャフトからサプライホルダーを抜き取ります。

補足

- ・ ストッパーの付いている方のサプライホルダーは、サプライシャフトから抜き取ることができません。

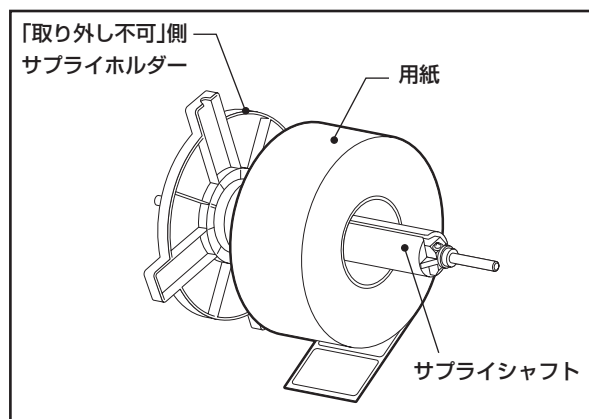
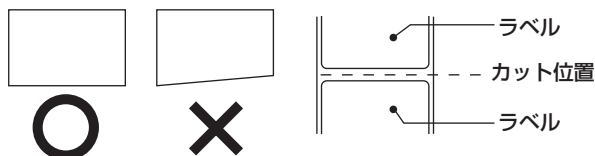
- 2 「取り外し不可」側のサプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)へ回して緩め、ストッパーで止まる位置まで端に寄せておきます。



3 サプライシャフトに用紙をセットします。

お願い

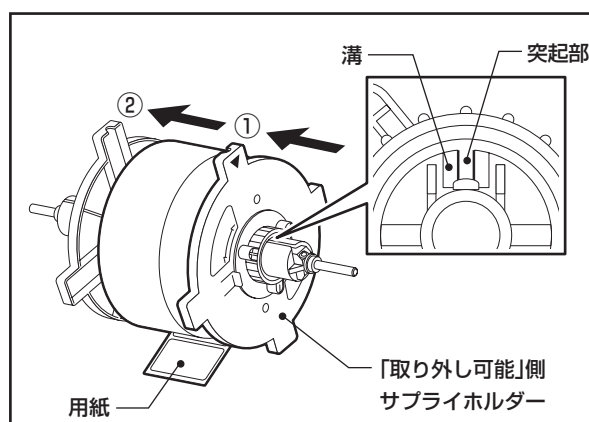
- 用紙の先端はまっすぐに切ってください。
ラベルの場合は、ラベルとラベルの間の台紙部をまっすぐに切ってください。



4 「取り外し可能」側サプライホルダーの▼印をサプライシャフトの溝に合わせ、用紙と一緒に反対側のサプライホルダーの方へ押し込みます。

補足

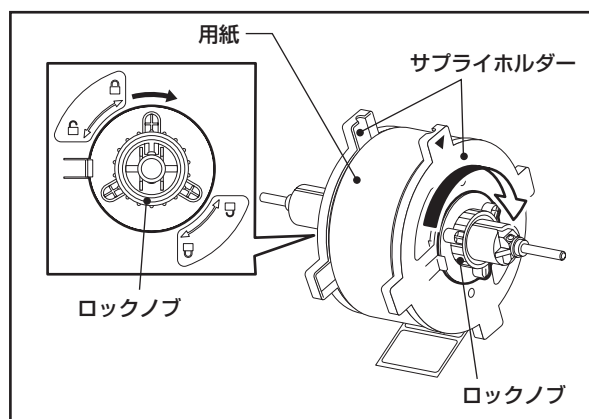
- ▼印をサプライシャフトの溝に合わせると、サプライホルダーの突起部が溝にはまります。
- 両方のサプライホルダーで用紙を挟み込む状態になり、用紙はサプライシャフトの中央にセットされます。



5 両方のサプライホルダーのロックノブをロック方向(🔒)へ回して固定します。

⚠ 注意

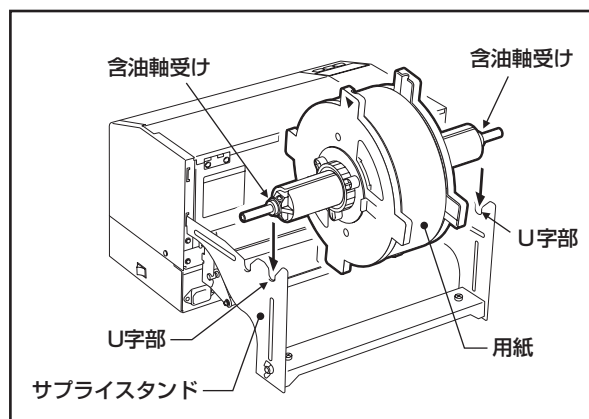
- ロックノブを固定しないまま、用紙をセットしたサプライホルダーユニットを傾けないこと
「取り外し可能」側のサプライホルダーが外れて用紙が抜け落ち、けがの原因となることがあります。



- 6 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの後ろ側のU字部に乗せます。

お願い

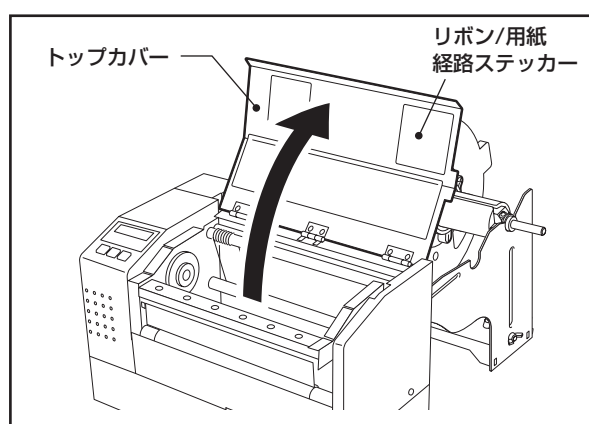
- 用紙の印字面が上を向くようにセットしてください。
- サプライシャフトの左右の含油軸受けが、サプライスタンドのU字部に正しく乗っていることを確認してください。



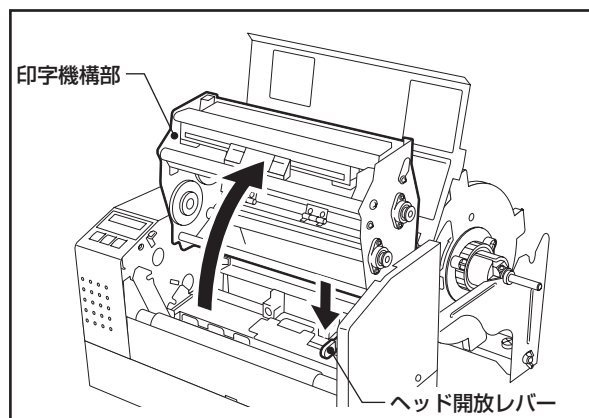
- 7 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。

補足

- リボン／用紙経路ステッカーは、トップカバーの内側に貼付されていますので参照してください。



- 8 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。



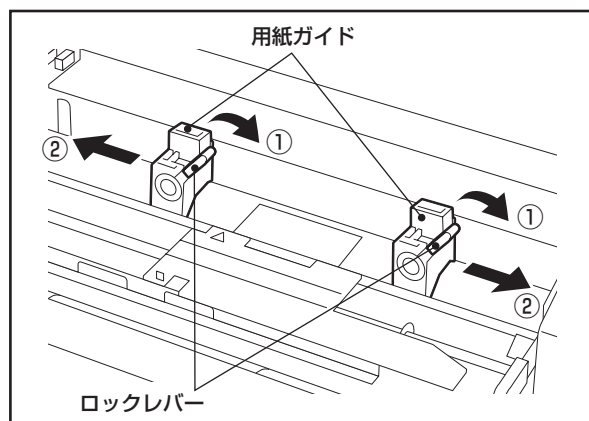
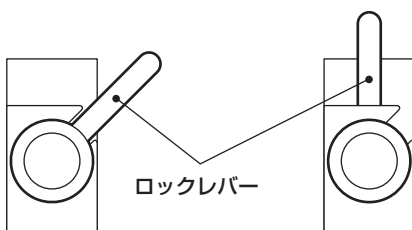
- 9 左右の用紙ガイドのロックレバーを解除側（右側）に倒し、用紙ガイドを用紙の幅より少し広めに広げておきます。

お願い

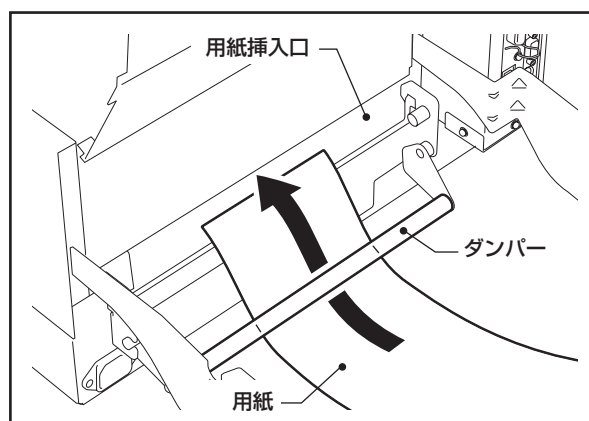
- 用紙ガイドを動かすときは、両方のロックレバーを必ず解除側に倒してください。
片方のロックレバーがロック状態のとき、用紙ガイドは動きません。

【解除状態】

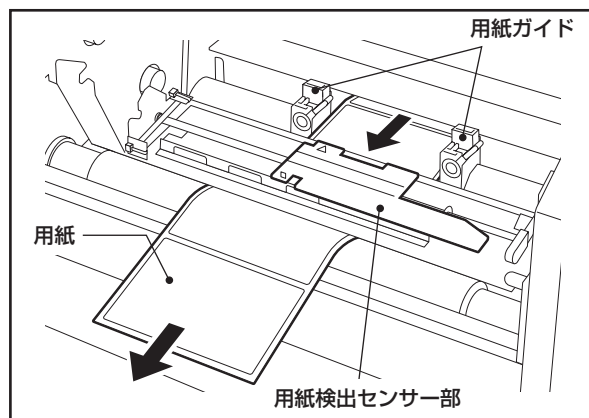
【ロック状態】



- 10 用紙を50cm程引き出し、ダンパーの下を通して用紙挿入口へ差し込みます。



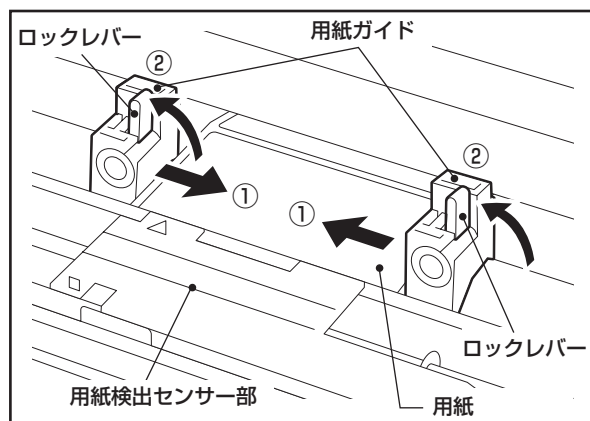
- 11 左右の用紙ガイドの間に用紙を通し、用紙検出センサー部の下を通して用紙発行口へ手で送り出します。



12 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせ、ロックレバーでロックします。

お願い

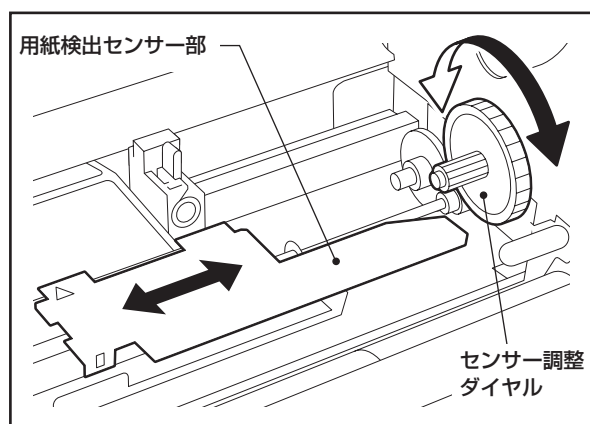
- サプライホルダー部から用紙発行口まで、用紙がまっすぐになっていることを確認してください。



13 センサー調整ダイヤルを回し、取り付けた用紙に合わせて用紙検出センサーの位置を調整します。

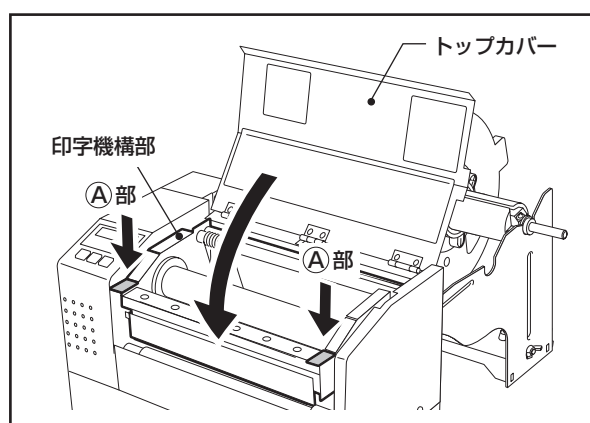
お願い

- 調整方法については『用紙検出センサーの位置を調整する』を参照してください。(→『P.32,33』)



14 印字機構部を静かに降ろし、印字機構部の(A部)を「カチッ」と音がするまで押してロックします。

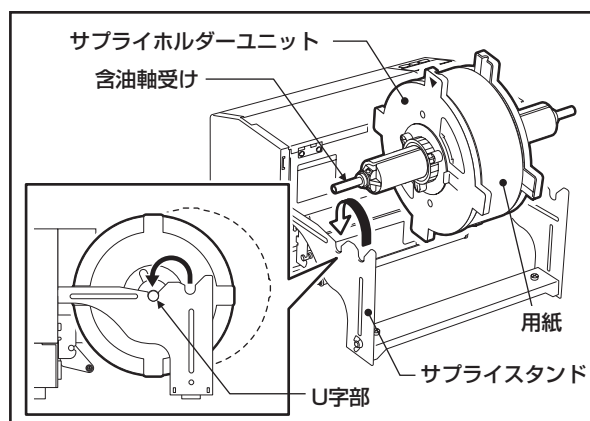
15 トップカバーを静かに閉めます。



16 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの前側のU字部に乗せ替えます。

お願い

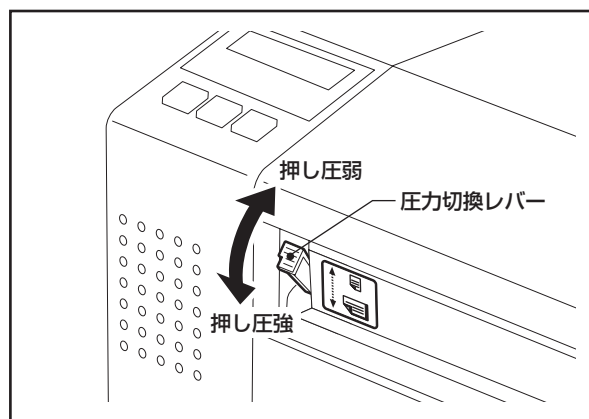
- サプライシャフトの左右の含油軸受けが、サプライスタンドのU字部に正しく乗っていることを確認してください。



17 取り付けた用紙の厚さに応じ、圧力切換レバーで印字ヘッドの押し圧を切り換えます。

補足

- ラベルやこしのない薄い用紙のとき→押し圧弱
- こしのある厚い用紙のとき→押し圧強



18 **FEED**キーを押して20～30cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。

用紙検出センサーの位置を調整する

本機には用紙を正しく紙送りするため、3種類の用紙検出センサーが装備されています。用紙検出センサーの位置は、使用する用紙のタイプに合わせて調整してください。

用紙検出センサーを正しい位置に調整しないと、本機は用紙を発行できず、『がっかり エラー ****』メッセージを表示してエラーとなります。

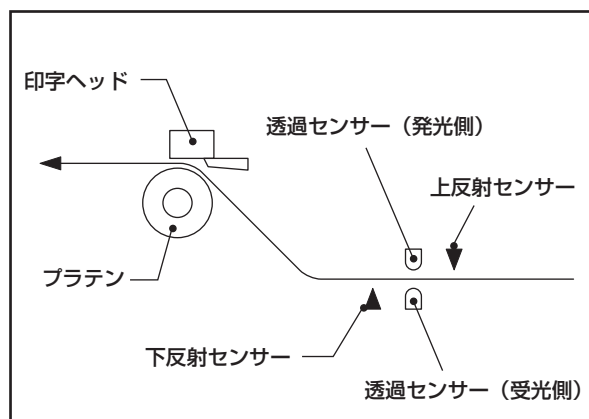


注意

- ・ トップカバーは後方へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくとなしやすに閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

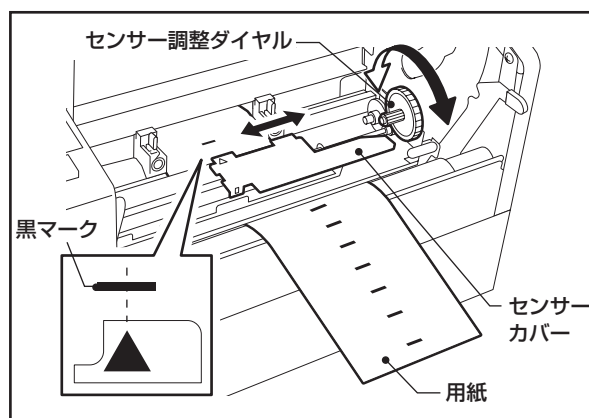
センサーの位置関係と検出方法について

- ・ 用紙検出センサーは、用紙上に印刷された黒マークを検出する反射センサーと、用紙上に開けられた角穴、またはラベルとラベルのすき間（ギャップ）を検出する透過センサーがあります。
- ・ 反射センサーは上下に1つずつ装備されています。
- ・ センサー調整ダイヤルを回してセンサーの位置を調整します。センサー調整ダイヤルを回すと、3種類のセンサーが同時に移動します。



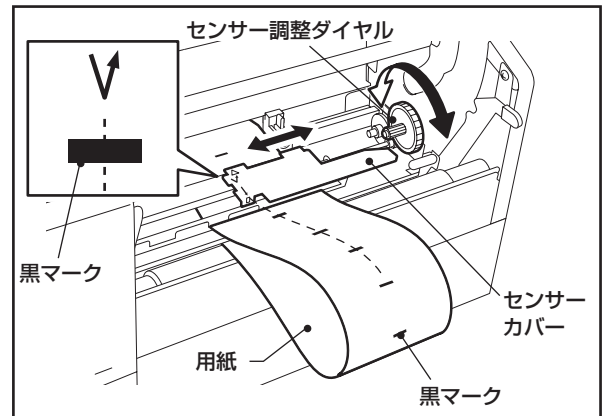
上反射センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 センサー調整ダイヤルを回し、黒マークの中心線上にセンサーカバー上の緑色の▲印を合わせます。



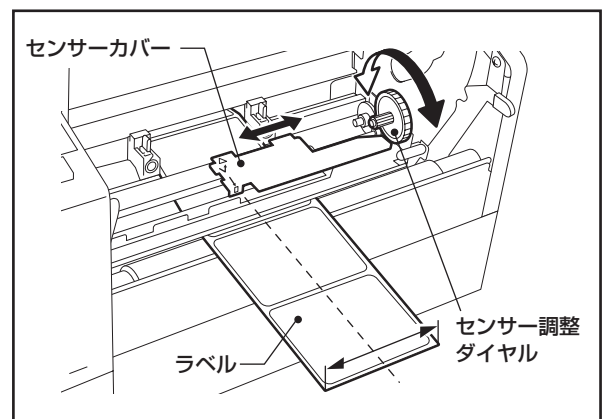
下反射センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 用紙を約50cm程引き出し、黒マークが上を向くように折り返します。
- 4 センサー調整ダイヤルを回し、黒マークの中心線上にセンサーカバー上の(V)印を合わせます。



透過センサーの位置を調整する

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 センサー調整ダイヤルを回し、ラベルの中央にセンサーカバー上の(↓)印を合わせます。



リボンを取り付ける(熱転写方式の場合)

本機は、熱転写／感熱という2種類の印字方式に対応しています。

熱転写方式とは、印字ヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる印字方式です。

感熱方式とは、発色剤を含んだ用紙に印字ヘッドで熱を加え、発色させる印字方式です。

リボンは用紙幅に対応した、当社認定の純正品をお使いください。

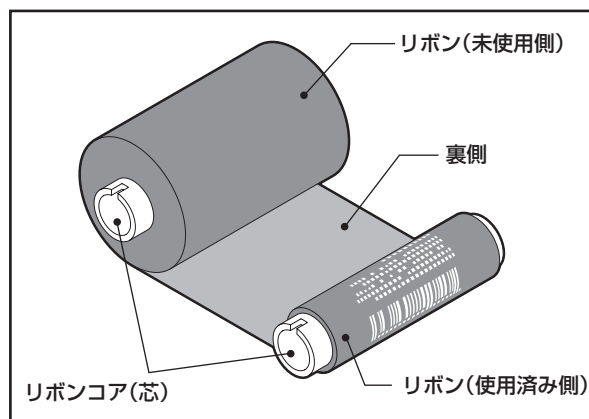
ここでは、初めて本機にリボンを取り付ける手順について説明します。

⚠ 注意

- ・ **トップカバーは後方へ倒すように全開にすること**
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ **印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと**
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・ 感熱方式で印字するときは、リボンを取り付けしないでください。リボンを取り付けて印字した場合、印字ヘッドが破損したり、印字ヘッドに溶けたリボンが付着し、印字ヘッドの交換(有償)が必要になります。
- ・ リボンには裏と表(インク面)がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印字すると、印字できないばかりか、印字ヘッドの交換(有償)が必要になります。
- ・ 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合、径の太い方が未使用側です。



補足

- ・ 当社認定品以外のリボンを取り付けて印字した場合、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 用紙幅に最適な幅のリボンを用意しています。お買い上げの販売店にご注文ください。

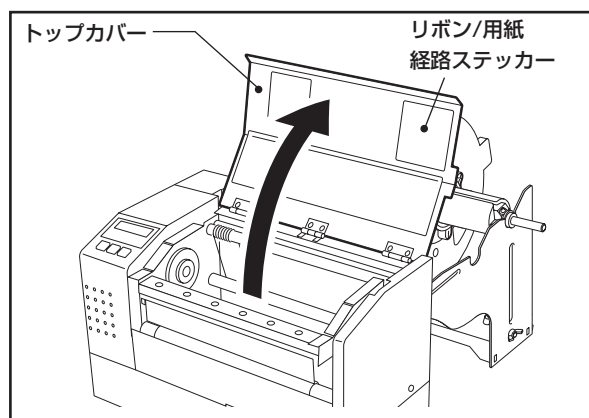
リボン幅	対応可能な用紙幅
120mm	70 ~ 110mm
160mm	110 ~ 150mm
220mm	150 ~ 242mm

取付手順

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。

補足

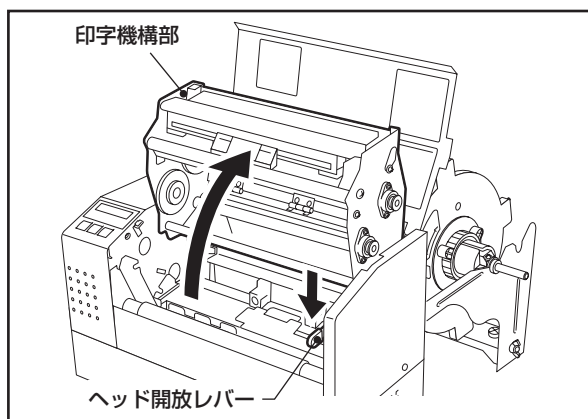
- ・ リボン／用紙経路ステッカーは、トップカバーの内側に貼付されていますので参照してください。



- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。

注意

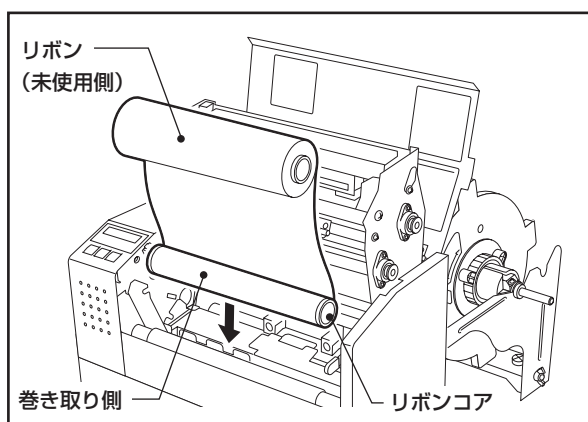
- 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げることで中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。



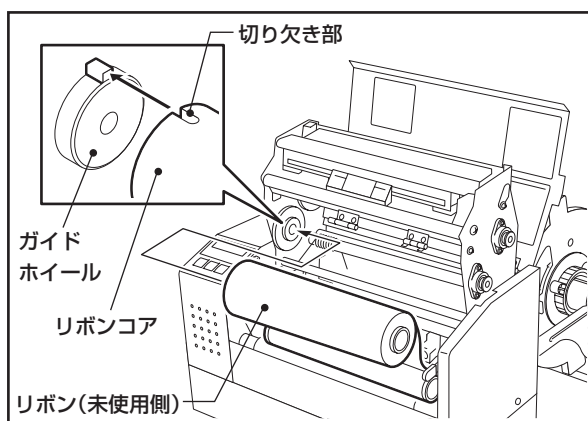
- 3 未使用側(径の太い方)のリボンを持ち、巻き取り側(径の細い方)のリボンコアを用紙検出センサー部の手前に静かに置きます。

お願い

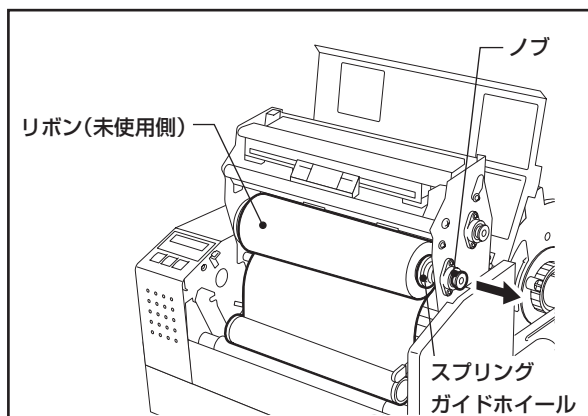
- リボンは巻きが乱れやすく広がりやすいため、取り付けるときは手でしっかり持ってください。
- リボンのインクが手に付着したときは、石鹸等で手を洗ってください。インクには有害物質を含んでいないため、人体には無害です。



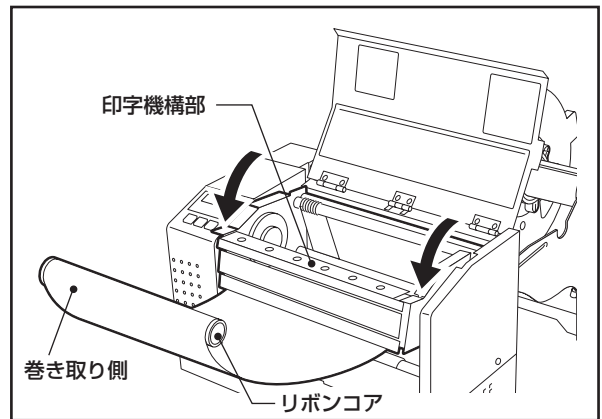
- 4 未使用側(径の太い方)のリボンコアの切り欠き部を、手前(下部)のガイドホイールの突起部に合わせてセットします。



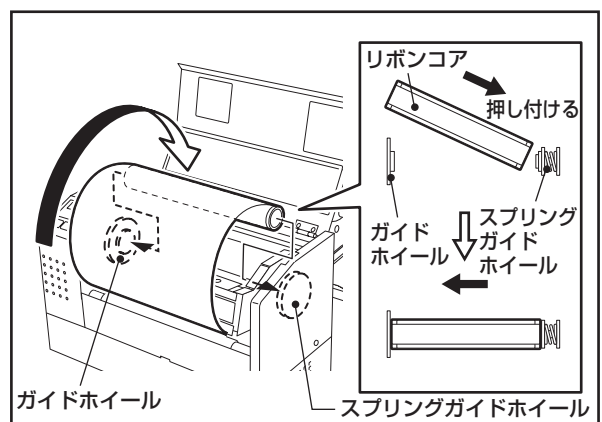
- 5 手前(下部)の springs ガイドホイール右側のノブを引き、リボンコアの右側を springs ガイドホイールに合わせ、ノブをはなしてセットします。



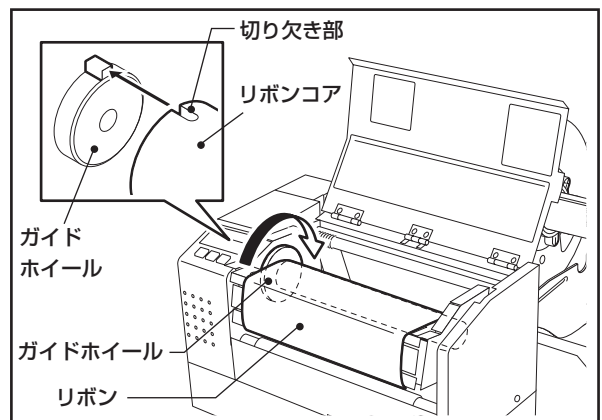
- 6 手順3で用紙検出センサー部の手前に置いた巻き取り側のリボンコアを持ち、印字機構部を静かに降ろします。



- 7 リボンコアの右側を後方(上部)のスプリングガイドホイールに押しつけながら、左側をガイドホイールにセットします。



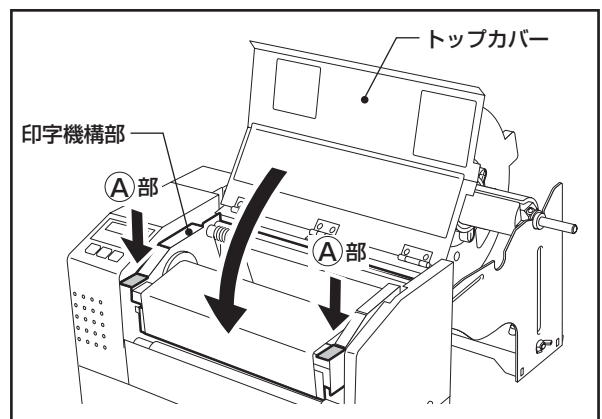
- 8 後方(上部)のガイドホイールを回し、突起部をリボンコアの切り欠き部にかみ合わせます。



- 9 後方(上部)のガイドホイールを後方に回し、リボンのタルミやシワを取り除きます。

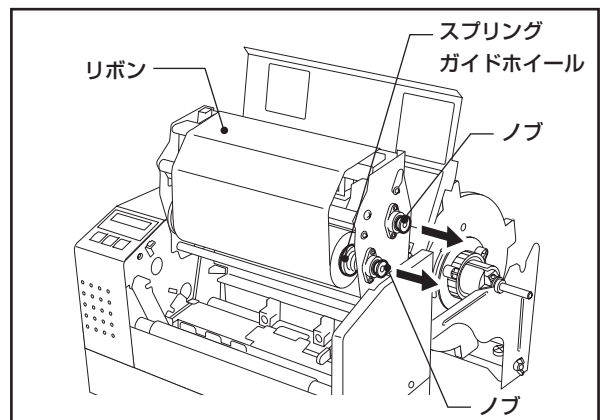
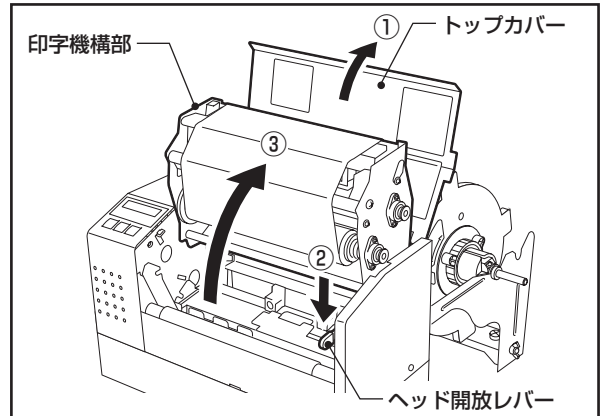
- 10 印字機構部の(A)部を「カチッ」と音がするまで押し、印字機構部をロックします。

- 11 トップカバーを静かに閉めます。



リボンを取り外す

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 未使用側および巻き取り側のリボンとも、スプリングガイドホイール右側のノブを引くと簡単に取り外せます。



お願い

- リボンが広がらないよう、リボンをしっかり持って取り外してください。
- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の条例等に従って処分してください。法律上は「廃プラスチック」に該当します。ただし、リボンコア(芯)は段ボールですので分別処分してください。

キー操作について

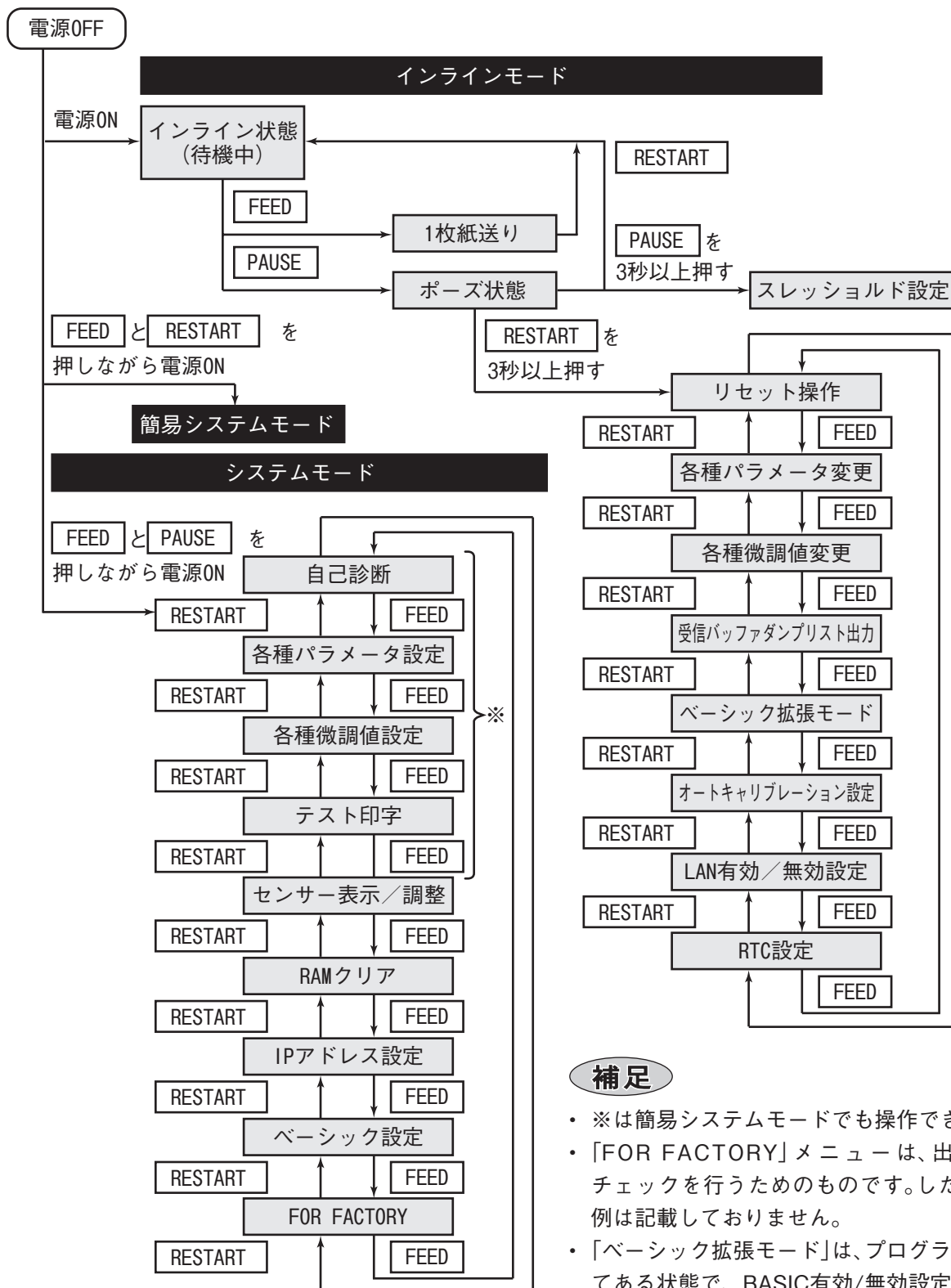
本機には、インラインモード、システムモードおよび簡易システムモードがあります。

- 『インラインモード』 : コンピュータと接続してラベルやタグを発行するモードです。
また、リセット操作、各種パラメータ設定内容や各種微調値設定内容の変更、受信バッファのダンプリスト出力、LAN切り換えなども行えます。
- 『システムモード』 : 本機の自己診断、各種パラメータ設定、各種微調値設定、テスト印字、センサー調整、RAMクリア、IPアドレス設定、ベーシック設定などを行うモードです。
- 『簡易システムモード』 : システムモードの項目の内、自己診断、各種パラメータ設定、各種微調値設定、およびテスト印字を行うモードです。各項目の操作方法は、システムモードまたはインラインモードをご覧ください。

ここでは、各モードにおけるキーの操作方法および表示内容について説明します。

キー操作の流れ.....	39
インラインモードの機能.....	40
インラインモードの操作例.....	40
スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙).....	41
リセット操作.....	43
各種パラメータ設定内容の変更.....	44
各種微調値設定内容の変更.....	54
受信バッファのダンプリスト出力.....	61
オートキャリブレーション設定.....	64
LAN有効/無効設定.....	66
RTC設定.....	67
システムモードの機能.....	69
システムモードの概要.....	69
自己診断.....	70
テスト印字.....	79
センサー表示/調整.....	87
RAMクリア.....	90
IPアドレス設定.....	94
ベーシック設定.....	99

キー操作の流れ



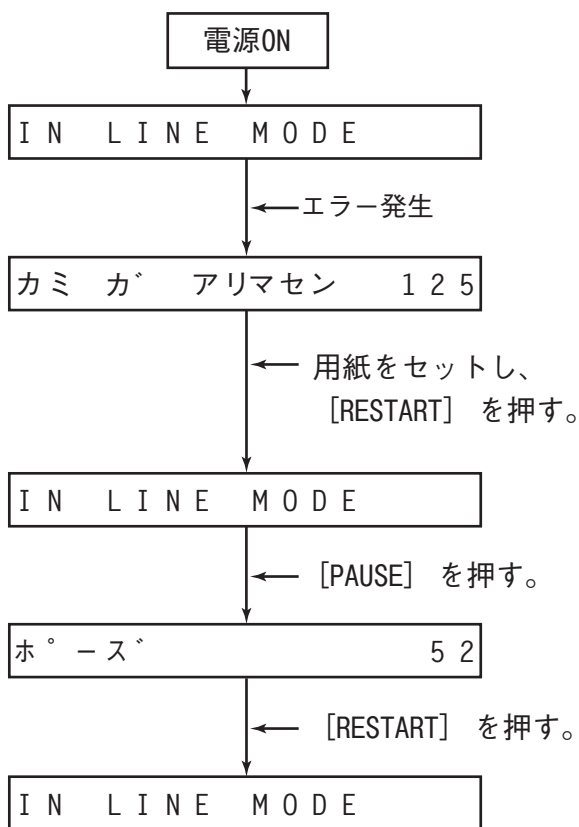
補足

- ※は簡易システムモードでも操作できる項目です。
- 「FOR FACTORY」メニューは、出荷工程時にチェックを行うためのものです。したがって、操作例は記載しておりません。
- 「ベーシック拡張モード」は、プログラムがロードしてある状態で、BASIC有効/無効設定が「有効」の場合、実行が可能です。

インラインモードの機能

インラインモードの機能には、用紙発行のほかに「スレッシュホールドの設定」、「リセット操作」、「各種パラメータの設定内容の変更」、「各種微調値の設定内容の変更」などがあります。

インラインモードの操作例



※ 待機中や通常発行中は、このメッセージが表示されます。

※ 発行中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示し、自動的に発行を停止します。
(メッセージの右側に発行残枚数を表示)

※ このメッセージに変わり、発行が再開します。

※ 発行中に[PAUSE]を押すと、「ポーズ」メッセージが表示し、発行を一時停止します。
(メッセージの右側に発行残枚数を表示)

※ [RESTART]を押すと、発行が再開します。

補足

- [発行残枚数]=[指定枚数] - [エラー発生時または一時発行停止の正常発行終了枚数]

スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)

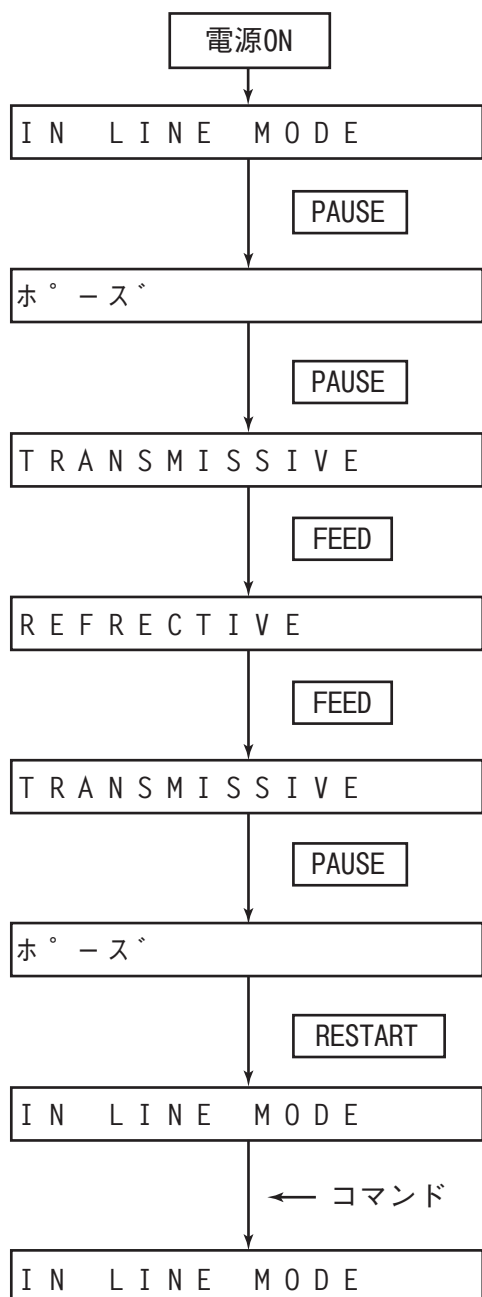
ラベルに印字する場合、印字位置を一定に保つために、本機はラベル間のすき間(ギャップ)を透過センサーで検出し、紙送り方向に対するラベル位置を自動的に補正しています。

しかし、プリ印刷されたラベルを使用する場合、プリ印刷に使用されているインクの種類によってラベル位置が正しく補正されないことがあります。

また、用紙裏面の黒マークを反射センサーで検出して印字する場合、黒マーク以外の場所で反射率が変動し、用紙位置が正しく補正されないこともあります。

このような場合、使用するプリ印刷用紙ごとおよび使用するセンサーごとにスレッシュホールドを設定し、メモリーに記憶しておく必要があります。

ここでは、スレッシュホールドの設定操作について説明します。



- (1) 待機中です。
- (2) プリ印刷されたラベルをセットします。
(特別な位置にセットする必要はありません)
- (3) [PAUSE]を押します。
- (4) ポーズ状態になります。
- (5) ポーズ状態中に[PAUSE]を3秒以上押し続けます。
- (6) スレッシュホールドを設定するセンサーの選択モードとなります。[FEED]でセンサーを選択します。
- (7) [FEED]を押します。
- (8) 下反射センサーが選択されます。
- (9) [FEED]を押します。
- (10) 透過センサーが選択されます。
- (11) 用紙が1.5～2枚分以上紙送りされるまで、[PAUSE]を押し続けます。
(選択したセンサーのスレッシュホールド設定完了)
- (12) [PAUSE]を離すと、ポーズ状態に戻ります。
- (13) [RESTART]を押します。
- (14) 待機中です。
- (15) コンピュータからコマンドを送信し、ラベル発行します。

補足

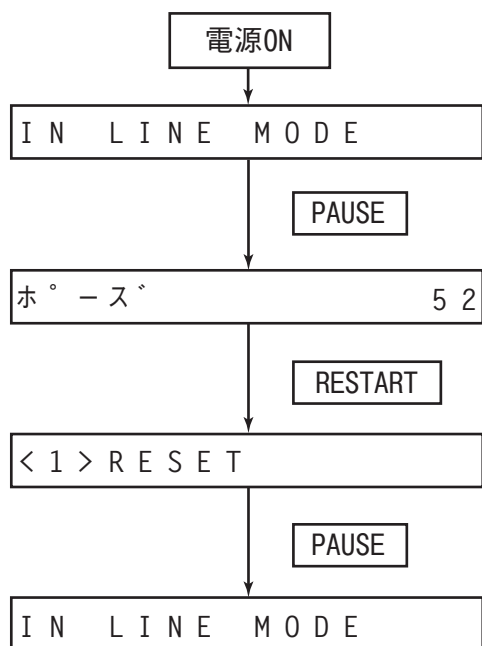
1. ポーズ状態で [PAUSE] を押して3秒以内に離れた場合、紙送りは行われません。
2. スレッシュホールドを設定するときは、1.5～2枚以上のラベルを紙送りしてください。紙送り量が少ないと、正しく設定できない場合があります。
3. 紙送り中はペーパーエンド、カッターエラー等のエラー検出を行いません。
4. 発行コマンドのセンサー種別で『3:透過センサー（プリ印刷ラベル用）』、または『4:下反射センサー（手動スレッシュホールド値使用）』を選択すると、メモリーに記憶したスレッシュホールドでラベル位置を補正するため、プリ印刷ラベルを使用するときでも、ラベル位置を一定に保つことができます。
5. スレッシュホールドを設定しても位置補正が正しく行われなときは、透過センサーを調整してください。システムモードで透過センサーを調整した後、再度スレッシュホールドを設定してください。
また、フィードコマンド、発行コマンドのセンサー種別で『3:透過センサー（プリ印刷ラベル用）』、または『4:下反射センサー（手動スレッシュホールド値使用）』を選択しているか確認してください。

リセット操作

間違えて発行指示を行った場合など、本機に転送したデータをクリアして初期状態にするときに行います。

ここでは、リセット操作について説明します。

●操作例



(1) 待機中または通常発行中です。

(2) [PAUSE]を押します。

※ 発行中[PAUSE]が押されると、このメッセージを表示し、発行を停止します。

(3) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。

(4) リセットのメニューが表示します。

(5) [PAUSE]を押します。

(6) 電源投入後の初期状態に戻ります。

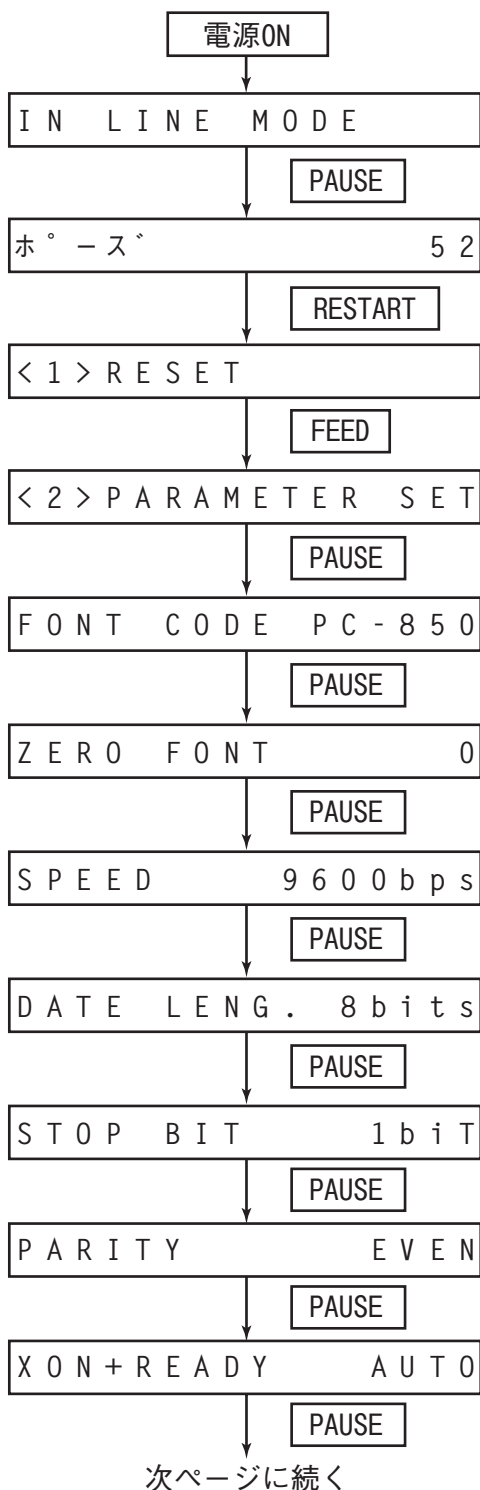
補足

- ・ ポーズ状態で[RESTART]を押して3秒以内に離した場合、リセットのメニューは表示されず、用紙の発行を再開します。
- ・ エラー状態で[RESTART]を押して3秒以内に離した場合は、エラー状態に戻ります。ただし、コミュニケーションエラーやコマンドエラーの場合は、電源投入後の初期状態に戻ります。
- ・ 本機のキーで本機をリセットすると、PCセーブコマンドでセーブしたデータは自動呼び出し無しになります。

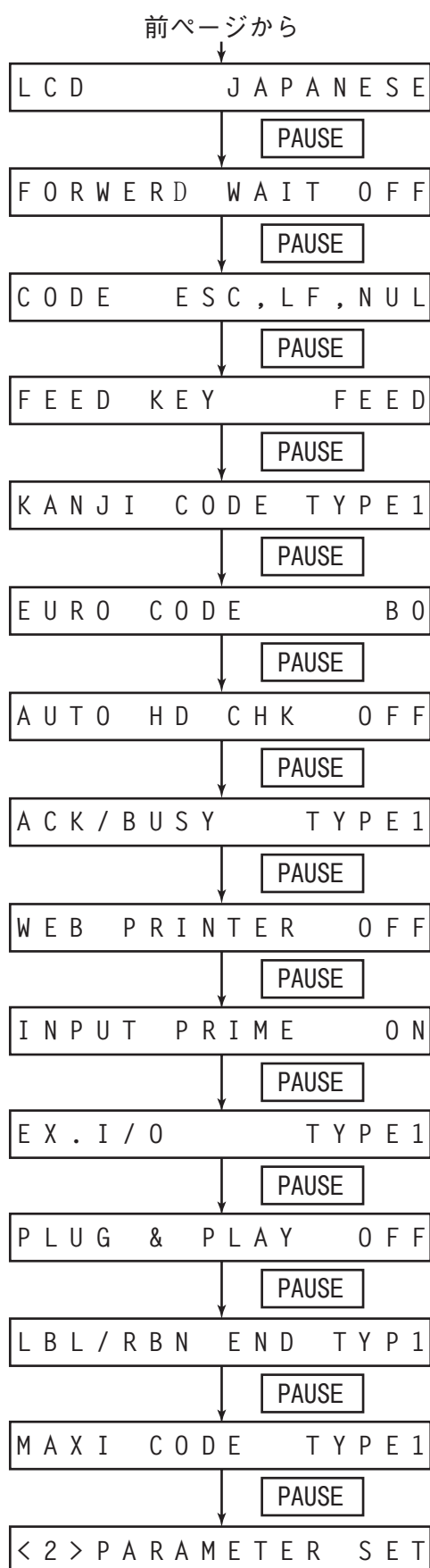
各種パラメータ設定内容の変更

システムモードで設定したパラメータの内容を、インラインモードで変更することができます。ここでは、各種パラメータの設定および変更操作について説明します。

●操作例



- (1) 待機中または通常発行中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を押します。
- (7) パラメータ設定のメニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 文字コード切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11)「0」の字体設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) RS-232C通信速度の切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) RS-232Cデータ長切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) RS-232Cストップビット長切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) RS-232Cパリティビット切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) RS-232C伝送制御方式切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (22) [PAUSE]を押します。



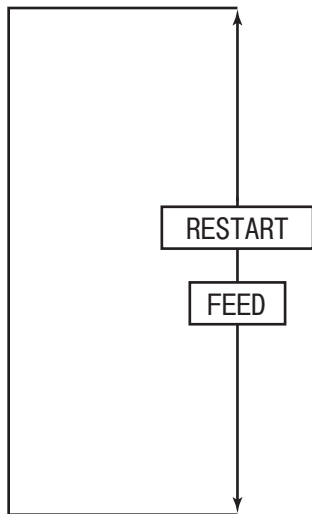
- (23) メッセージ表示言語切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (24) [PAUSE]を押します。
- (25) 自動正転待機切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (26) [PAUSE]を押します。
- (27) 制御コード切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) [FEED]キー機能設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 漢字特殊コードの切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (32) [PAUSE]を押します。
- (33) Euroフォントコード設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (34) [PAUSE]を押します。
- (35) 自動断線チェック設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (36) [PAUSE]を押します。
- (37) セントロACK / BUSYタイミング設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (38) [PAUSE]を押します。
- (39) WEBプリンタ機能設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (40) [PAUSE]を押します。
- (41) nInit信号ON時のリセット処理切り換え
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (42) [PAUSE]を押します。
- (43) 拡張I / O動作モード設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (44) [PAUSE]を押します。
- (45) プラグ&プレイ動作設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (46) [PAUSE]を押します。
- (47) ラベルエンド/リボンエラー処理設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (48) [PAUSE]を押します。
- (49) Maxi Code 仕様設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (50) [PAUSE]を押します。
- (51) パラメータ設定のメニューに戻ります。

補足

- パラメータ設定時に[FEED]と[RESTART]を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- パラメータ設定時に、[FEED]または[RESTART]を0.5秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したものと判断します。
- パラメータの変更は、設定後の[PAUSE]を押すことで有効となり、メモリーに登録されます。

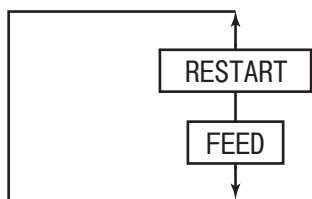
●設定内容の詳細

(1)文字コード切り換え(FONT CODE)



- PC-8
- PC-857
- PC-852
- PC-850
- Arabic
- LATIN9
- PC-1257
- PC-1254
- PC-1253
- PC-1252
- PC-1251
- PC-1250
- PC-855
- PC-851
- PC-866
- UTF-8

(2) 0の字体切り換え(ZERO FONT)



- 0 (スラッシュ無し)
- Ø (スラッシュ有り)

※下記フォントはスラッシュ有りØをサポートしていないため、設定してもスラッシュ無し0となります。

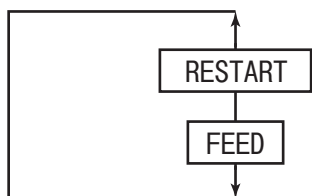
【ビットマップ】

OCR-A、OCR-B、GOTHIC725ブラック、漢字

【アウトラインフォント】

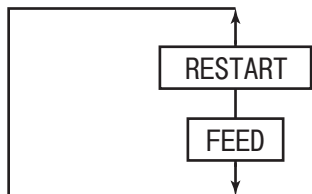
価格フォント1、価格フォント2、価格フォント3、DUTCH801ポールド、BRUSH738レギュラー、GOTHIC725ブラック、True Type Font

(3) RS-232C通信速度切り換え(SPEED)



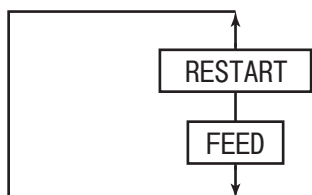
- 115200bps
- 38400bps
- 19200bps
- 9600bps
- 4800bps
- 2400bps

(4) RS-232Cデータ長切り換え(DATA LENG.)



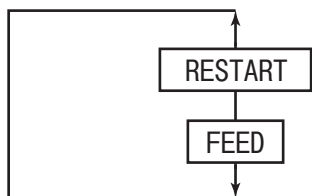
- 8bits
- 7bits

(5) RS-232Cストップビット長切り換え(STOP BIT)



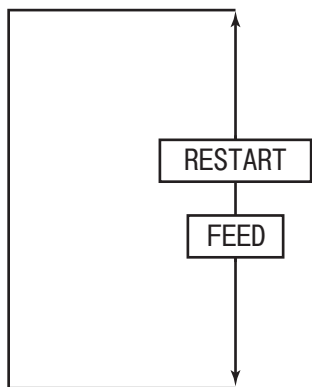
- 2ビット
- 1ビット

(6) RS-232Cパリティ切り換え(PARITY)



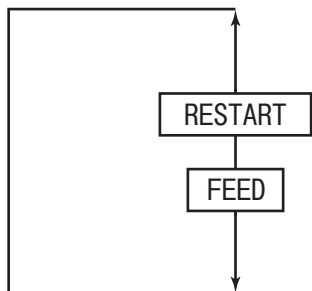
- EVEN
- ODD
- NONE (無し)

(7) RS-232C伝送制御方式(XON/XOFF+READY/BUSY)



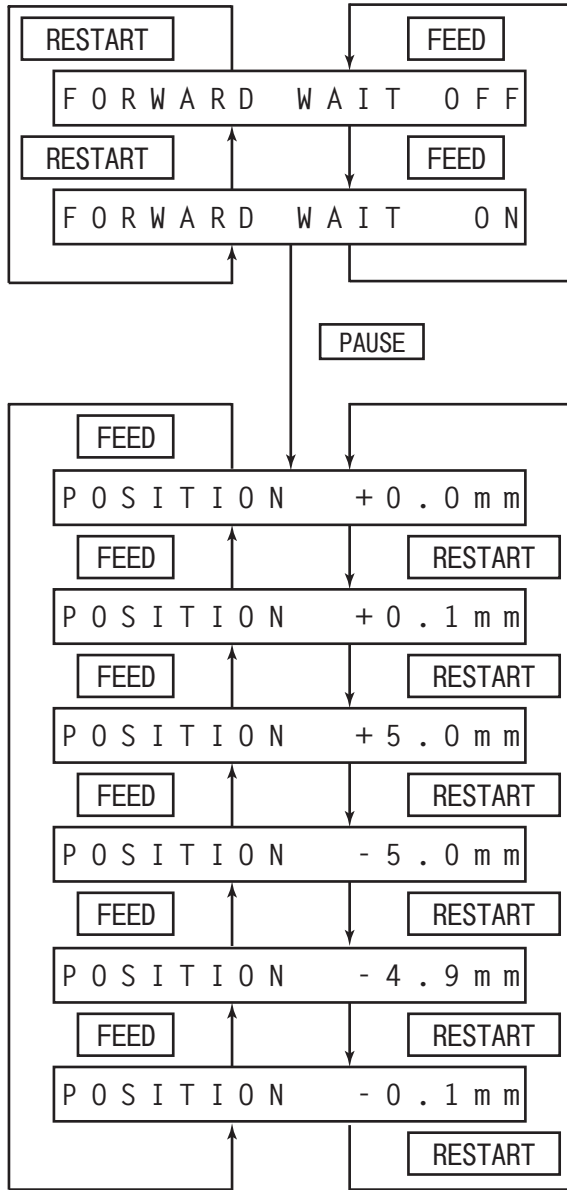
- XON/XOFF AUTO : XON/XOFF方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
- XON+READY AUTO : XON/XOFF+READY/BUSY(DTR)方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
- READY/BUSY : READY/BUSY(DTR)方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力無し)
- XON/XOFF : XON/XOFF方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
- READY/BUSY RTS : READY/BUSY(RTS)方式
(電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力無し)

(8)メッセージ表示言語切り換え(LCD)



- ENGLISH : 英語
- ITALIAN : イタリア語
- JAPANESE : 日本語
- SPANISH : スペイン語
- DUTCH : オランダ語
- FRANCH : フランス語
- GERMAN : ドイツ語

(9)自動正転待機切り換え(FOWARD WAIT)



•OFF :正転待機なし

•ON :正転待機あり

注) ラベルピッチが20mm未満の場合、正転待機ありに設定しても正転待機動作は行われません。この場合は、プリンタコマンドの正転/逆転フィードコマンドで制御してください。

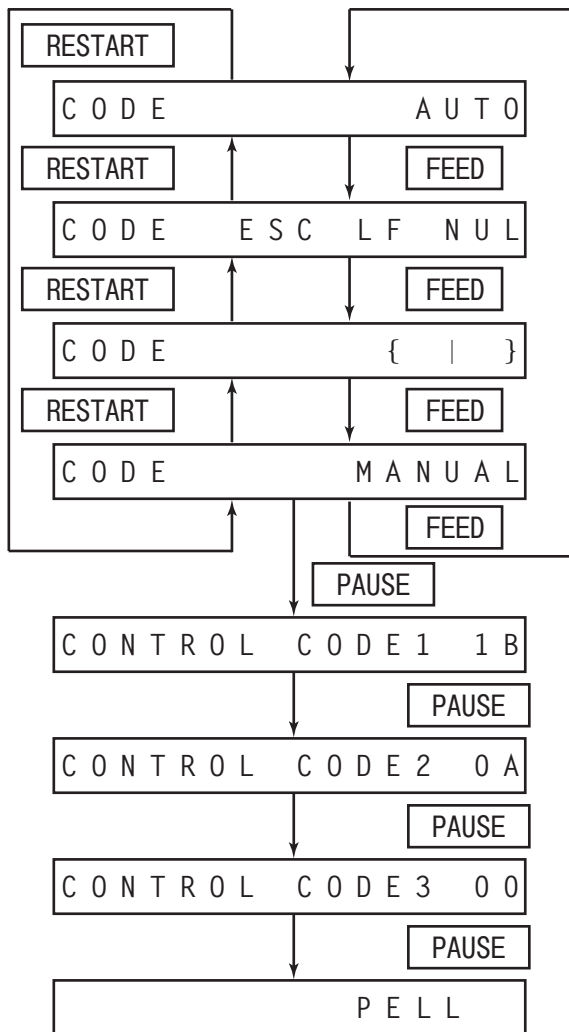
正転待機時の停止位置調整値設定

-5.0mm ~ +5.0mm (0.1mm単位)

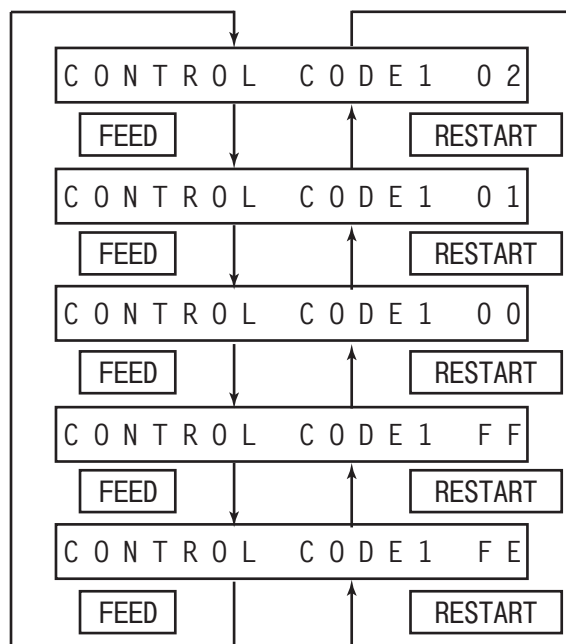
+方向 :より多く正転して停止する

-方向 :より少なく正転して停止する

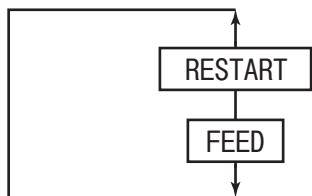
(10)制御コード切り換え(CODE)



- AUTO :自動切り換え
- ECS, LF, NUL :手動切り換え(ECS, LF, NULモード)
- {, |, } :手動切り換え({, |, }モード)
- MANUAL :コード指定(MANUALモード)

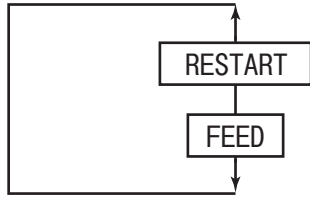


(11) [FEED]キー機能設定(FEED KEY)



- FEED:1枚紙送り
- PRINT:イメージバッファの内容を1枚印字

(12) 漢字特殊コード切り換え(KANJI CODE)



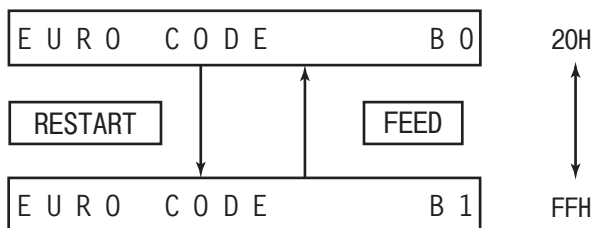
- TYPE 1:Windowsコード対応
 - TYPE 2:オリジナルコード対応
- 注) Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

※各タイプ指定時の印字文字とコードの対応表

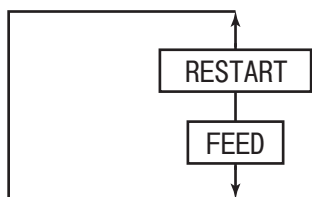
印字文字	TYPE1	TYPE2
①	2D21	2C44
②	2D22	2C45
③	2D23	2C46
④	2D24	2C47
⑤	2D25	2C48
⑥	2D26	2C49
⑦	2D27	2C4A
⑧	2D28	2C4B
⑨	2D29	2C4C
⑩	2D2A	2C4D
I	2D35	2231
II	2D36	2232
III	2D37	2233
IV	2D38	2234
V	2D39	2235
VI	2D3A	2236
VII	2D3B	2237

印字文字	TYPE1	TYPE2
VIII	2D3C	2238
IX	2D3D	2239
X	2D3E	2C34
mm	2D50	2C66
cm	2D51	2C67
km	2D52	2C69
mg	2D53	2243
kg	2D54	2244
cc	2D55	2C70
m ³	2D56	2C6B
"	2D60	2A22
No.	2D62	2249
TEL	2D64	2248
(株)	2D6A	222F
(代)	2D6C	2246
J	2D72	2841

(13) Euroフォントコード設定(EURO CODE)

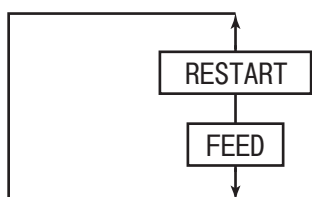


(14)自動断線チェック(AUTO HD CHK)



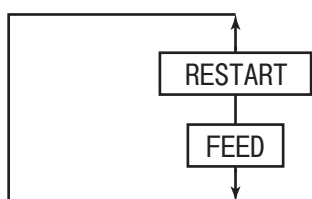
- OFF:自動断線チェック無し
- ON:自動断線チェック有り

(15)セントロACK/BUSYタイミング設定(ACK/BUSY)



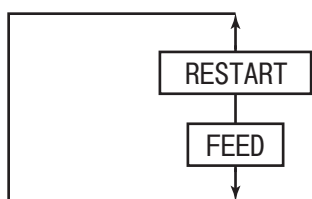
- TYPE1:ACK立ち上がりとBUSY解除が一致
- TYPE2:ACK立ち下がりとBUSY解除が一致

(16) WEBプリンタ設定(WEB PRINTER)



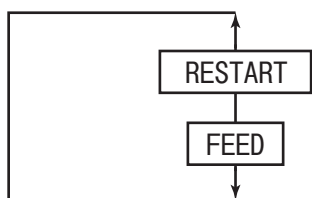
- OFF :WEBプリンタ機能無し
- ON :WEBプリンタ機能有り

(17) nInit信号ON時のリセット処理切り換え(INPUT PRIME)



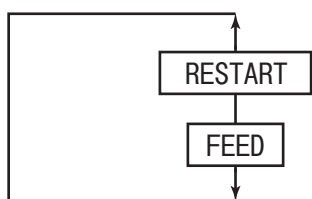
- OFF :リセット処理無し
- ON :リセット処理有り

(18)拡張I/O動作モード設定 (EX.I/O)



- TYPE1:標準仕様
- TYPE2:インライン仕様

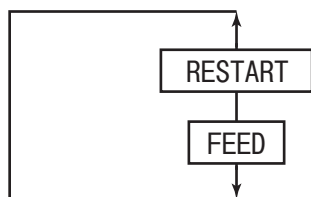
(19)プラグ&プレイ動作設定(PLUG & PLAY)



- OFF :プラグ&プレイ動作無し
- ON :プラグ&プレイ動作有り

注) USB接続した場合は、この設定に関係なくプラグ&プレイ動作有りとなります。

(20)ラベルエンド/リボンエラー処理設定(LBL/RBN END)



- TYP1: ラベルエンド/リボンエラー検出時、発行途中で停止
- TYP2: ラベルエンド/リボンエラー検出時、可能な限り印字終了後に停止

●TYP1:

ラベルエンドまたはリボンエラー検出時は、発行途中で即座にエラー停止します。
[RESTART]を押すと初期フィード後、エラーラベルの再発行から再開します。

●TYP2:

ラベルエンドを検出した場合、その1枚を最後まで印字し、ホームポジションでエラー停止して“か が リボン****”を表示します。残枚数表示は、[指定枚数]－[エラー停止時の発行終了枚数(エラー発生
のラベルを含む)]となります。最終枚目でラベルエンドとなった場合は、スペースを表示しま
す。

[RESTART]を押すと初期フィード後、エラー対象の次のラベルから発行します。最終枚目でラ
ベルエンドとなった場合は、[RESTART]を押すと初期フィードのみを行い、ステータス応答有
り的时候は、初期フィードのフィード終了ステータスの送信に続き、発行終了ステータスを送信しま
す。

リボンエラー検出時においては:

・ 残りのラベル長が30mm以上の場合、20mm印字してエラー停止します。停止時は、“リボッ エラ
****”を表示します。残枚数表示は、[指定枚数]－[エラー停止時の発行終了枚数]－1 となりま
す。最終枚目でリボンエラーになった場合は、スペースを表示します。

[RESTART]を押すと初期フィード後、エラー対象の次のラベルから発行します。最終枚目でリ
ボンエラーになった場合は、[RESTART]を押すと初期フィードのみを行います。

・ リボンエラー検出時、残りのラベル長が30mm未満の場合、その1枚は最後まで印字し、ホームポ
ジションでエラー停止します。停止時は、“リボッ エラ****”を表示します。残枚数表示は、[指定枚数]
－[エラー停止時の発行終了枚数(エラー発生
のラベルを含む)]となります。最終枚目でリボンエ
ラーになった場合は、スペースを表示します。

[RESTART]を押すと初期フィード後、エラー対象の次のラベルから発行します。最終枚目でリ
ボンエラーになった場合は、[RESTART]を押すと初期フィードのみを行い、ステータス応答有
り的时候は、初期フィードのフィード終了ステータスの送信に続き、発行終了ステータスを送信
します。

【TYP2の例】

《ケース1》

発行枚数 = 5枚で、3枚目の発行中にラベルエンドを検出した場合：

①②③

↑

③を発行終了後、エラー停止(表示： 加工リマセ 2)
[RESTART]を押すと初期フィード後、④、⑤を発行する。
発行完成品は①～⑤

《ケース2》

発行枚数 = 5枚で、3枚目の発行中にリボンエラーを検出し、残りのラベル長が30mm以上の場合：

①②③

↑

20mm印字後、エラー停止(表示： リボンエラー 2)
[RESTART]を押すと初期フィード後、④、⑤を発行する。
発行完成品は①、②、④、⑤

《ケース3》

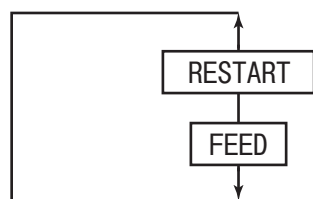
発行枚数 = 5枚で、3枚目の発行中にリボンエラーを検出し、残りのラベル長が30mm未満の場合：

①②③

↑

③を発行終了後、エラー停止(表示： リボンエラー 2)
[RESTART]を押すと初期フィード後、④、⑤を発行する。
発行完成品は①～⑤

(21)Max i Code仕様設定 (MAX I CODE)



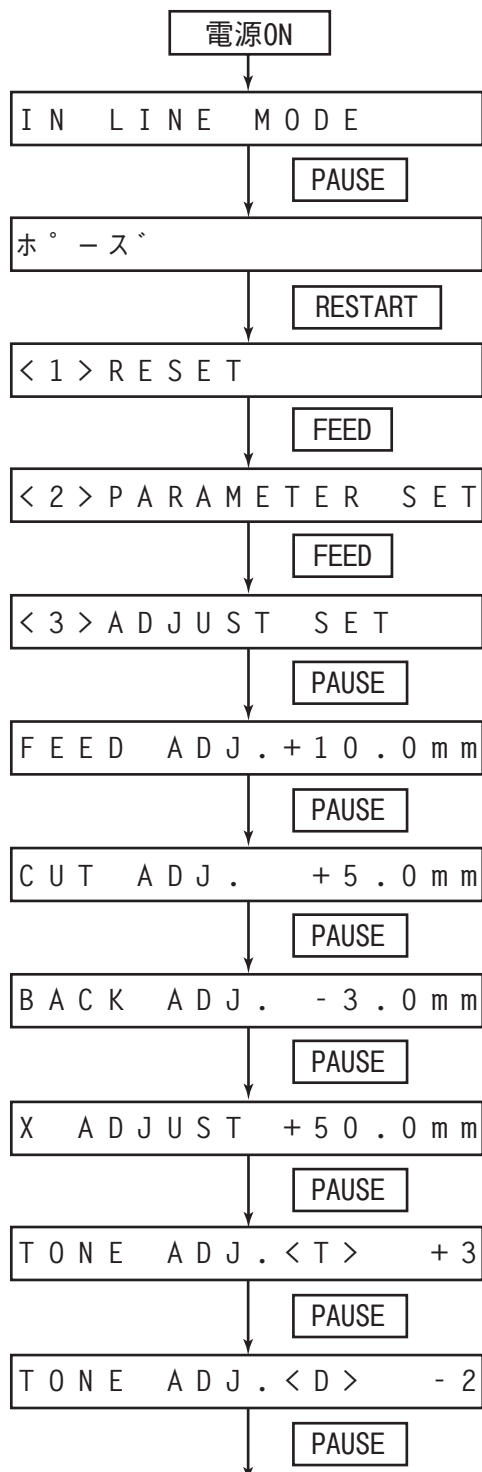
- TYPE1:既存バージョンとの互換仕様
- TYPE2:特殊仕様

注) このパラメータの設定内容により、コマンドで指定するモードと実際に処理されるモードの関係が異なります。また、一部データの送り方も異なります。

各種微調値設定内容の変更

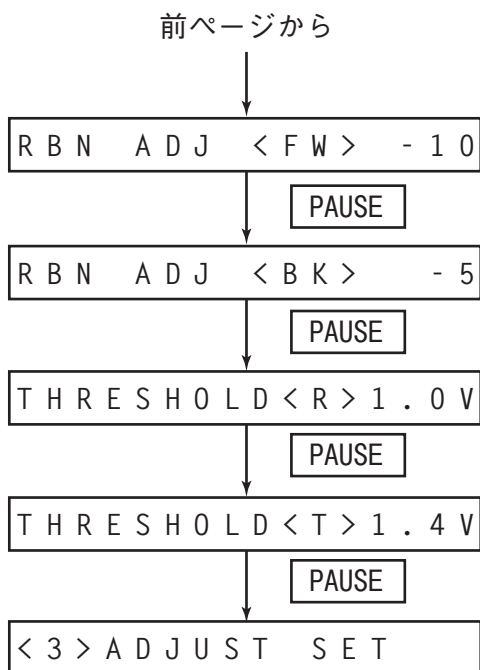
システムモードで設定した各種微調値の内容を、インラインモードで変更することができます。ここでは、各種微調値の設定および変更操作について説明します。

●操作例



次ページに続く

- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を押します。
- (7) パラメータ設定のメニューが表示します。
- (8) [FEED]を押します。
- (9) 微調値設定のメニューが表示します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) フィード量微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) カット位置(またはハクリ位置)微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) バックフィード量微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) X方向座標微調設定
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 印字濃度微調設定(転写モード)
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 印字濃度微調設定(直接発色モード)
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (22) [PAUSE]を押します。



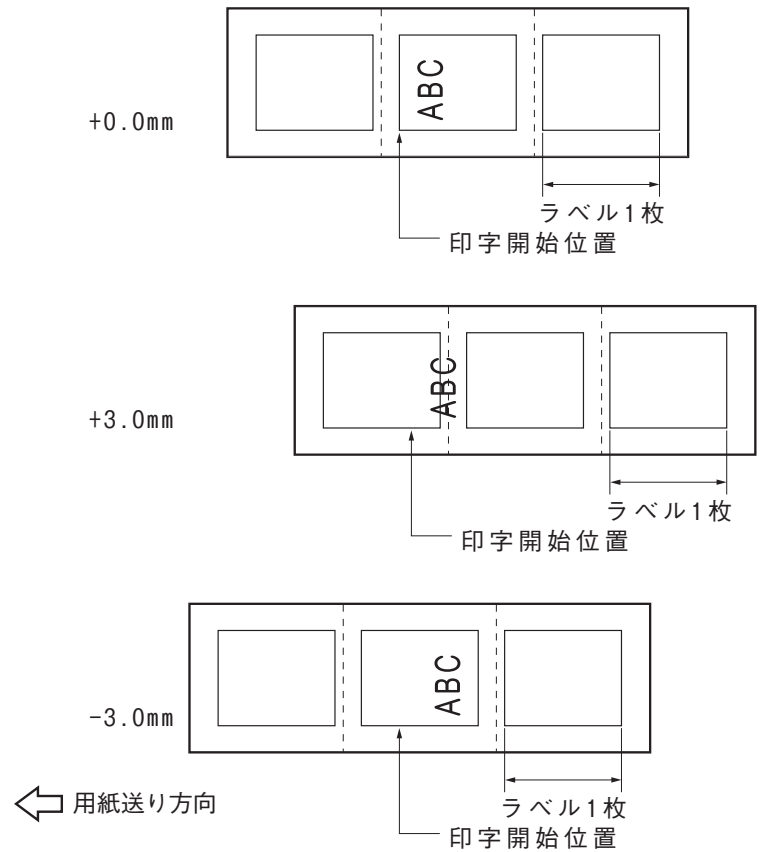
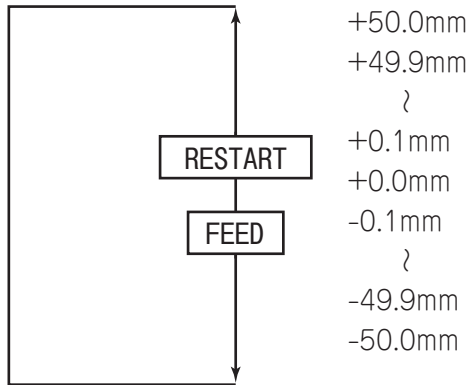
- (23) リボンモーター（巻き取り側）電圧微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (24) [PAUSE]を押します。
- (25) リボンモーター（バックテンション側）電圧微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (26) [PAUSE]を押します。
- (27) 下反射センサー手動スレッシュホールド値微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) 透過センサー手動スレッシュホールド値微調設定 [FEED]または[RESTART]で設定します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 微調値設定のメニューに戻ります。

補足

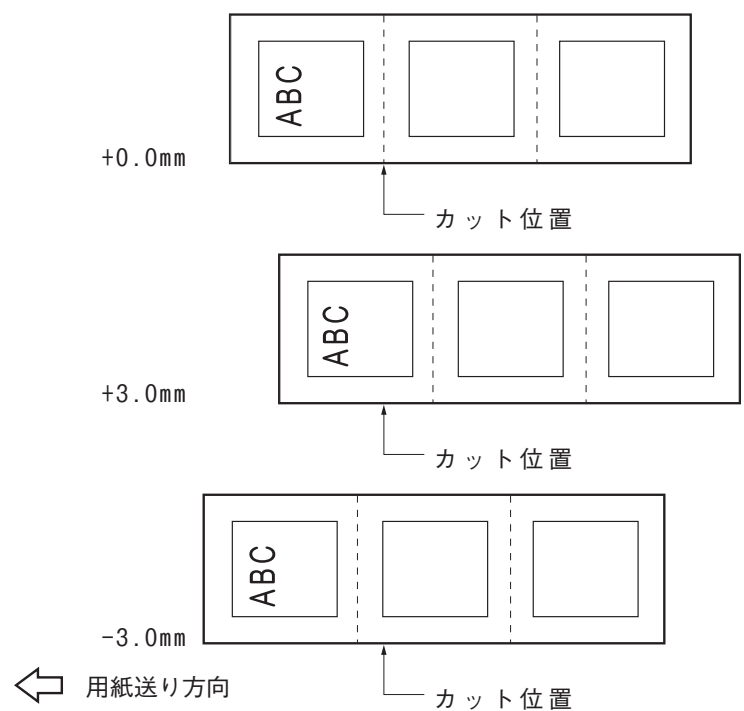
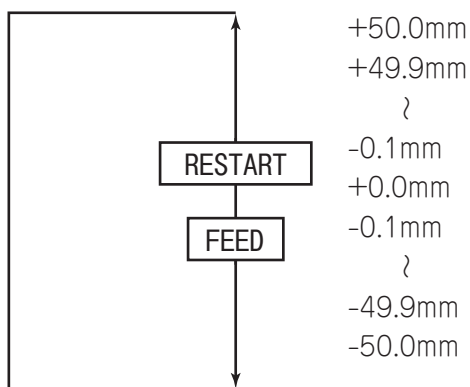
- 微調値を設定するときに [FEED] と [RESTART] を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- 微調値を設定するとき、[FEED] または [RESTART] を0.5秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したものと判断します。
- 微調値の変更は、設定後の [PAUSE] を押すことで有効となり、メモリーに登録されます。
- キー操作による各微調値は、コンピュータからの各微調値に加算され、本機を制御します。ただし、各微調値の最大値は以下のとおりです。
 - * フィード量微調値 ±50.0mm
 - * カット（またはハクリ）位置微調値 ±50.0mm
 - * バックフィード量微調値 ±9.9mm
 - * 印字濃度微調値（転写モード） ±10step
 - * 印字濃度微調値（直接発色モード） 2ips: -10step ~ +6step
4ips: ±10step
 - * X方向座標微調値 ±99.9mm
 - * リボンモーター駆動電圧微調値（巻き取り側） -15step ~ +6step
 - * リボンモーター駆動電圧微調値（バックテンション側） -15step ~ +10step
 - * 下反射センサー手動スレッシュホールド微調値 0.0 ~ 4.0V
 - * 透過センサー手動スレッシュホールド微調値 0.0 ~ 4.0V
- X方向座標微調とは、描画のX座標を右方向、または左方向へ調整することです。微調整は有効印字幅の範囲内で行ってください。（マイナス方向に微調を行って座標0に到達したフィールドは、それ以上マイナス方向に調整しても0のままとなります）
- 自己診断結果印字およびテスト印字のときは、X方向座標の微調値を無視します。
- 印字濃度の初期微調値は「0」です。
- リボンモーター駆動電圧微調値は、PCの微調コマンドとシステムモード（本体キー操作）の設定値の和となります。（巻き取り側、バックテンション側ともに）
ただし、微調値の最大値は、巻き取り側が+6、-15、バックテンション側が+10、-15です。
- 印字濃度微調値は、PCの微調コマンドとシステムモード（本体キー操作）の設定値の和となります。ただし、微調値の最大値は転写が±10、発色が+6、-10です。

●設定内容の詳細

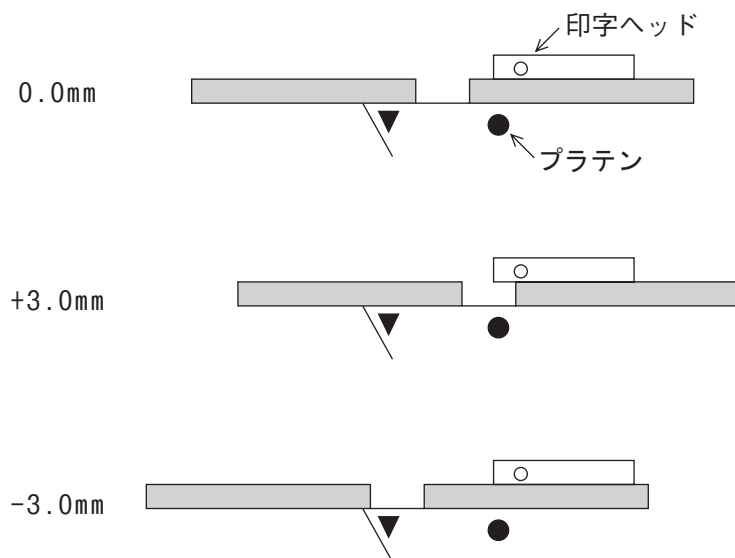
(1)フィード量微調(FEED ADJ.)



(2)カット位置(またはハクリ停止位置)微調(CUT ADJ.)

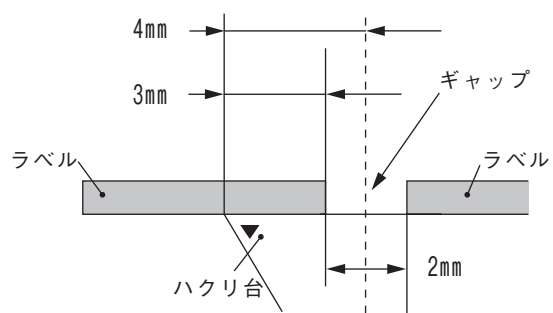


【ハクリ停止位置微調】

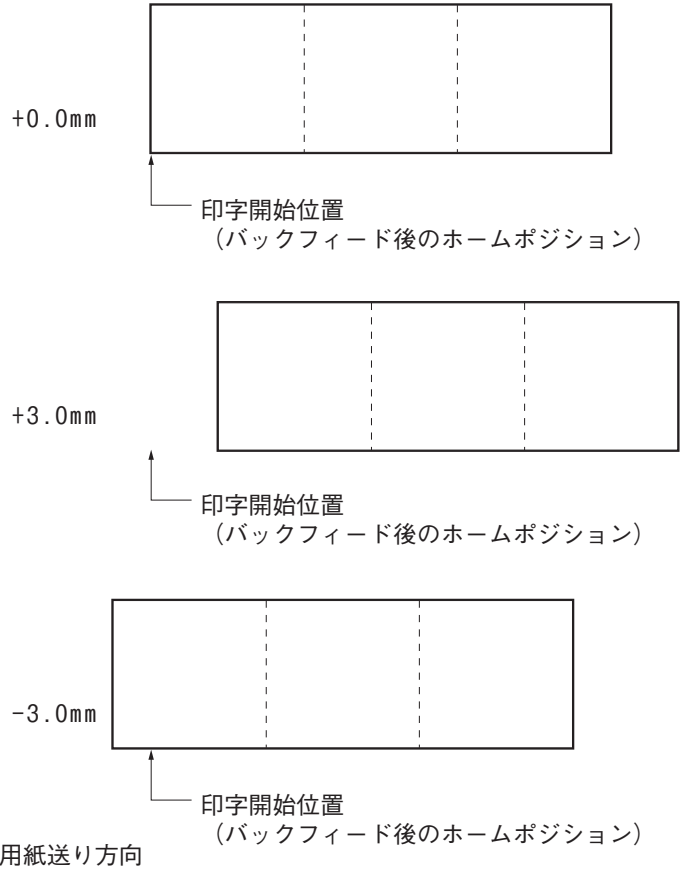
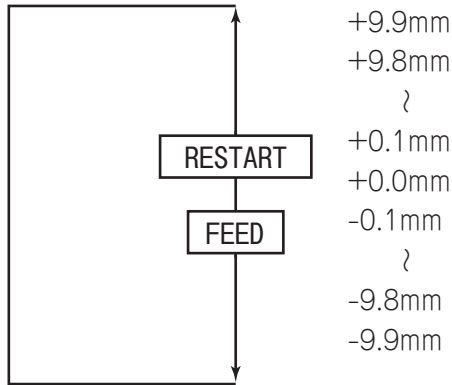


補足

- ハクリ発行時の印字停止位置は、ラベル間ギャップの中心からハクリ台先端までの距離が、4mmになるように停止します。
これは、ラベル間ギャップ2mmを想定して設計しているためです。
- ラベル間ギャップが大きい場合など、停止位置が適切でないときは、ハクリ停止位置微調で印字停止位置を変更してください。



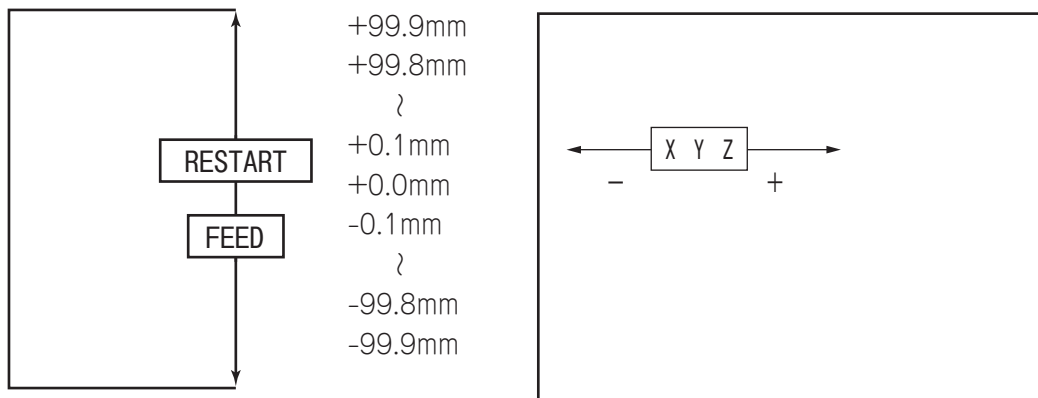
(3)バックフィード量微調(BACK ADJ.)



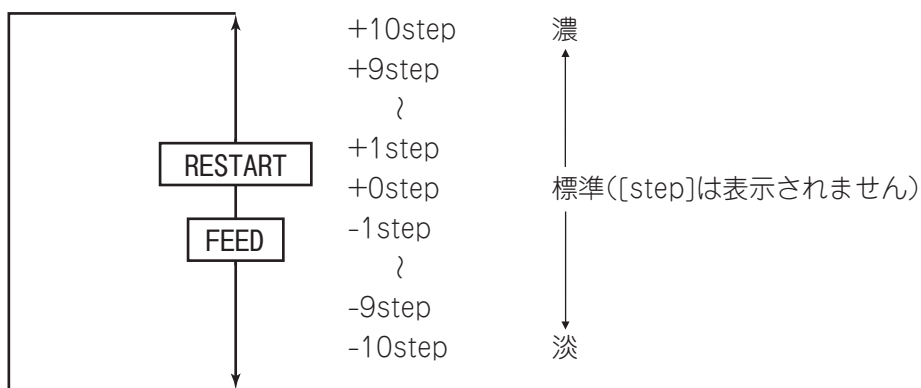
補足

- バックフィード動作時は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。
用紙検出センサーを使用して発行する場合、印字ヘッド～用紙センサー間の距離(67.9mm)とほぼ同じサイズのラベルピッチ(またはタグピッチ)の用紙を使用してバックフィードを伴う動作(カット発行、ハクリ発行、自動正転待機)をする場合、バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーが発生することがあります。このようなときは、+方向(バックフィード量を多くする)のバックフィード量微調を設定し、エラーが発生しないようにしてください。

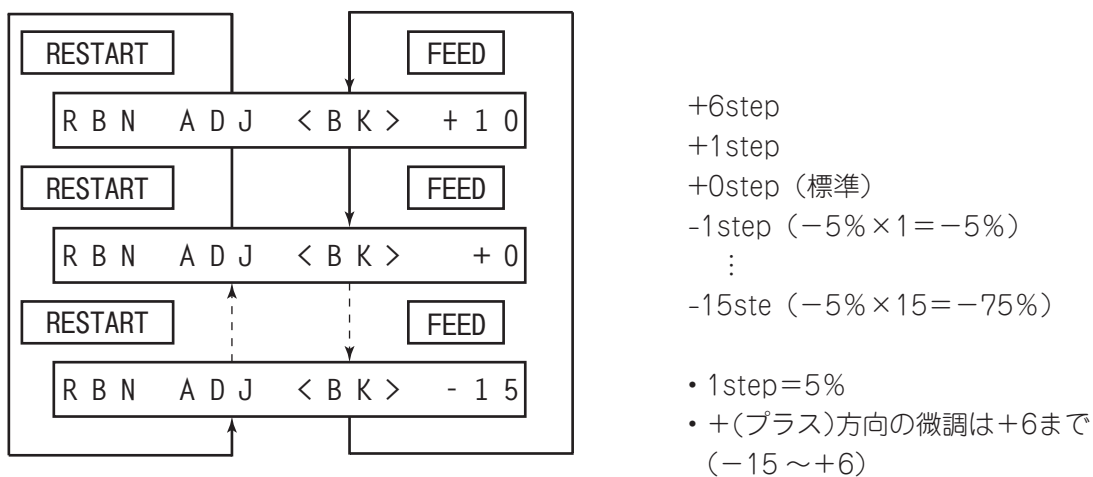
(4) X方向座標微調(X ADJUST)



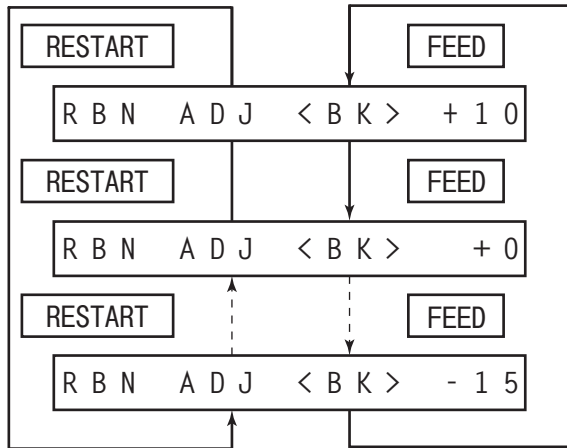
(5) 印字濃度微調(直接発色)(TONE ADJ.)



(6) リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(RBN ADJ <FW>)



(7)リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(RBN ADJ <FW>)



+10step (+5% × 10 = +50%)

⋮

+0step (標準)

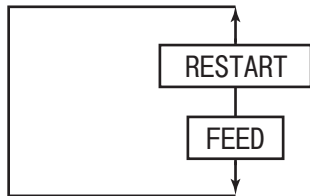
⋮

-15step (-5% × 15 = -75%)

• 1step=5%

• +(プラス)方向の微調は+10まで
(-15 ~ +10)

(8)下反射センサー手動スレッシュヨルド微調(THRESHOLD <R>)

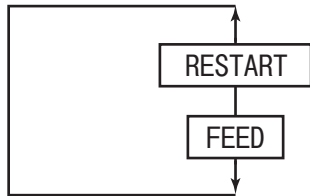


• 4.0V
 } (0.1V単位)

• 0.0V

注) 微調設定で0.0Vを設定した場合、電源OFF→ONで初期値の1.4Vに補正されます。

(9)透過センサー手動スレッシュヨルド微調(THRESHOLD <T>)



• 4.0V
 } (0.1V単位)

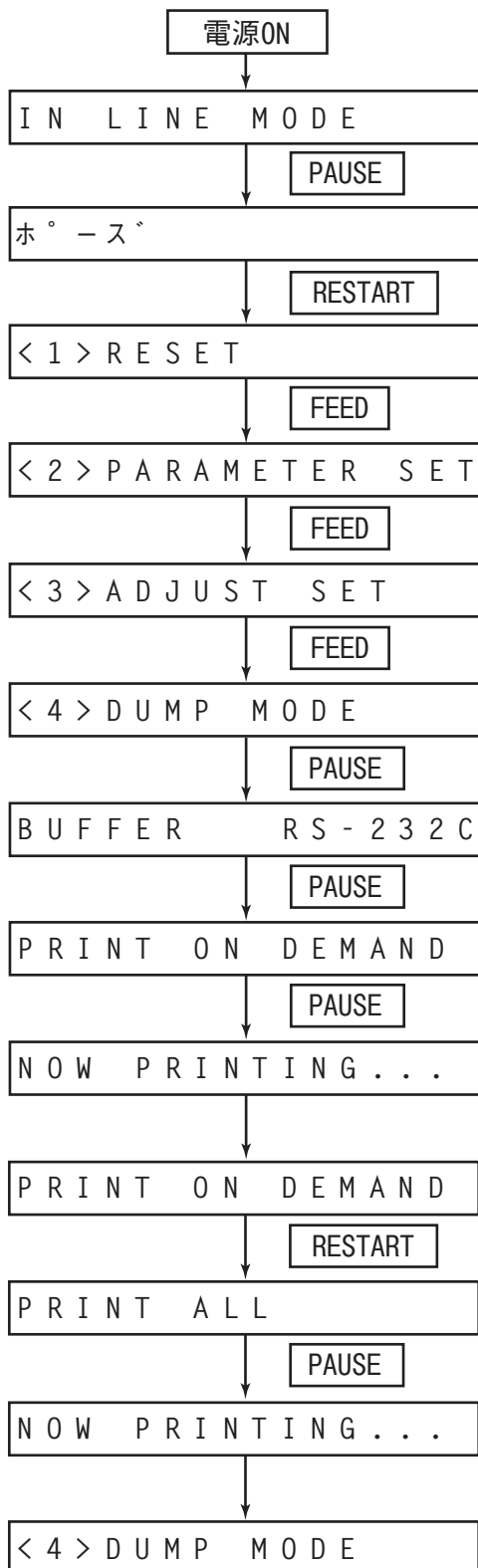
• 0.0V

注) 微調設定で0.0Vを設定した場合、電源OFF→ONで初期値の1.0Vに補正されます。

受信バッファのダンプリスト出力

受信バッファのダンプリスト出力操作について説明します。

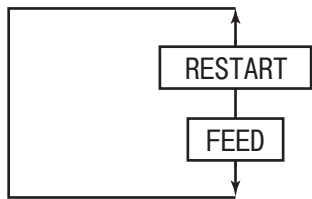
●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を押します。
- (7) パラメータ設定のメニューが表示します。
- (8) [FEED]を押します。
- (9) 微調値設定のメニューが表示します。
- (10) [FEED]を押します。
- (11) ダンプリスト出力モードのメニューが表示します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) 出力する受信バッファを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 印字方法を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) 受信バッファデータの印字が開始します。
- (18) 用紙サイズの行数分印字します。
- (19) 印字方法を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (20) [RESTART]で選択します。
- (21) 印字方法を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) 受信バッファデータの印字が開始します。
- (24) 残りをすべて印字します。
- (25) 印字終了後、ダンプリスト出力モードのメニューに戻ります。

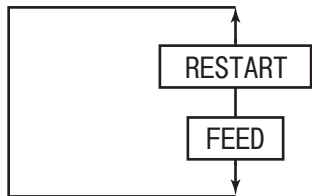
●設定内容の詳細

(1)受信バッファ選択(BUFFER)



- RS-232C :RS-232C受信バッファ
- CENTRO. : セントロニクス受信バッファ
- NETWORK : ネットワークI/F受信バッファ
- BASIC1 : ベーシックインタプリタ
I/F → インタプリタ間バッファ
- BASIC2 : ベーシックインタプリタ
インタプリタ → プリンタ間バッファ
- USB : USB受信バッファ

(2)印字方式選択(PRINT)



- ON DEMAND : 166行分(約50cm)を印字後、一旦停止する。
- ALL : バッファデータをすべて印字するまで止まらない。

●ダンプリスト出力イメージ

```

:
:
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
7B 41 58 3B 2B 30 30 30 2C 2B 30 30 30 2C 2B 30 {AX;+000,+000,+0
30 7C 7D 7B 44 30 37 37 30 2C 31 31 30 30 2C 30 0|}{D0760,1100,0
37 34 30 7C 7D 7B 43 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 33 740|}{C|}{LC;003
30 2C 30 30 32 30 2C 30 30 33 30 2C 30 36 36 30 0,0020,0030,0660
2C 30 2C 32 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 37 30 2C 30 ,0,2|}{LC;0070,0
30 32 30 2C 30 30 37 30 2C 30 36 36 30 2C 30 2C 020,0070,0660,0,
39 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 35 30 2C 30 30 32 30 9|}{LC;0050,0020
:
:
44 45 46 47 48 49 4A 7C 7D 7B 50 43 31 30 3B 30 DEFGHIJ|}{PC10;0
33 35 30 2C 30 34 30 30 2C 31 2C 31 2C 4B 2C 30 350,0400,1,1,K,0
30 2C 42 3D 41 42 43 44 65 66 67 68 69 6A 6B 6C 0,B=ABCDefghijkl
:
6D 6E 6F 70 7C 7D 7B 50 56 30 32 3B 30 33 33 30 mnop|}{PV02;0330
2C 30 36 36 30 2C 30 32 37 30 2C 30 32 35 30 2C ,0660,0270,0250,
41 2C 30 30 2C 42 3D 42 7C 7D 7B 50 56 30 33 3B A,00,B=B|}{PV03;
:
:
3B 30 39 30 30 2C 30 31 38 30 2C 54 2C 48 2C 30 ;0900,0180,T,H,0
35 2C 41 2C 30 3D 31 32 33 34 35 36 37 38 39 30 5,A,0=1234567890
41 42 43 44 45 7C 7D 00 00 00 00 00 00 00 00 00 ABCDE|}.....
    
```

発行方向

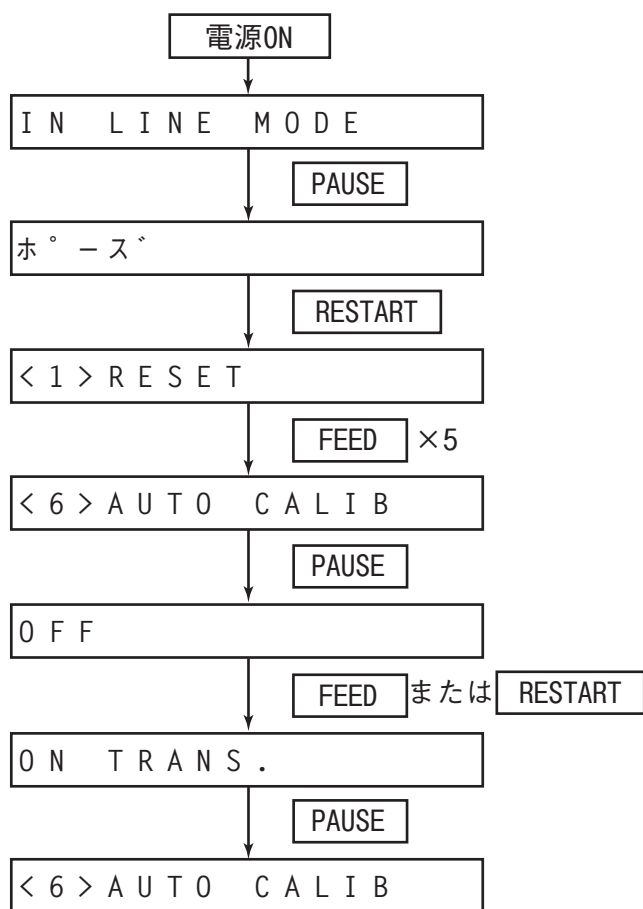
補足

- 印字条件
 - * 印字幅 : 約100mm
 - * センサー指定 : なし
 - * 印字速度 : 4インチ/秒
 - * 1行に16バイト分を印字します。
 - * 新しいデータから古いデータに向かって印字します。
 - * 受信バッファライトポインタが指しているデータは肉太文字で印字します。
- 受信バッファサイズ
 - RS-232C : 1MB (65536行印字)
 - セントロニクス : 1MB (65536行印字)
 - ネットワークI/F : 1MB (65536行印字)
 - ベーシック1 : 8KB (512行印字)
 - ベーシック2 : 8KB (512行印字)
 - USB : 1MB (65536行印字)
- すべての受信データを印字するためには、以下に示す用紙枚数が必要となります。
 - RS-232C : 198.2m
 - セントロニクス : 198.2m
 - ネットワークI/F : 198.2m
 - ベーシック1 : 2m
 - ベーシック2 : 2m
 - USB : 198.2m
- 受信データダンプ印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。
また、エラーは[PAUSE]を押すと解除され、受信データダンプモード表示 (<4> DUMP MODE) に戻ります。
エラー復帰後の自動再発行は行いません。

オートキャリブレーション設定

本機の電源ON時に、手動スレッシュホールド値を自動的に校正させる設定です。
 この設定が「有効」の場合、電源投入時またはヘッド開閉時に自動的に用紙をフィードして黒マークまたはギャップを探し、センサー手動スレッシュホールド、ラベルピッチを算出して印字開始位置で停止します。
 なお、コマンド指定された用紙長、有効印字長、およびセンサー種は無視されます。

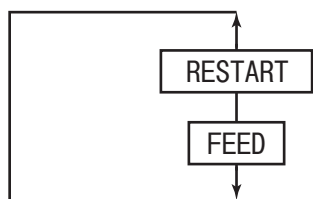
●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を5回押します。
- (7) オートキャリブレーションのメニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) オートキャリブレーションを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (10) 設定内容が表示します。
- (11) [PAUSE]を押すと設定内容が確定します。
- (12) オートキャリブレーションのメニューに戻ります。

●設定内容の詳細

●オートキャリブレーション設定(AUTO CALIB)



- OFF : 無効
- ON TRANS.. : 透過センサー有効
- ON REFLECT : 下反射センサー有効

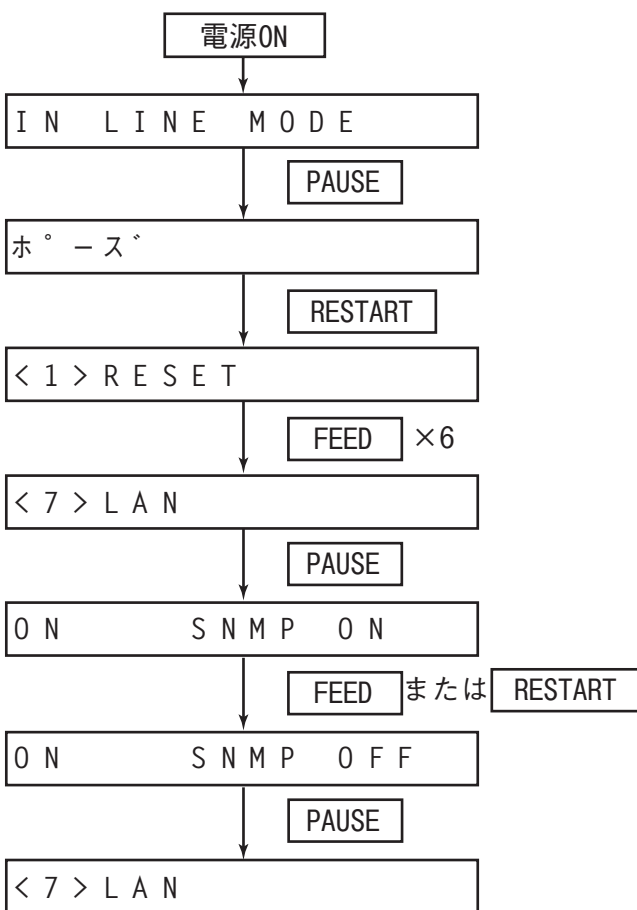
補足

- この設定が「有効」の場合、電源投入時またはヘッド開閉時にオートキャリブレーション動作を開始します。
- この設定が「有効」の場合、コマンド指定された用紙長、有効印字長、およびセンサー種は無視されます。
- 下反射センサーが「有効」の場合、下反射センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけて黒マークと見なし、下反射センサー手動スレッシュールド微調値を加えて黒マークのスレッシュールドとします。
- 透過センサーが「有効」の場合、透過センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけてギャップと見なし、透過センサー手動スレッシュールド微調値を引いてギャップのスレッシュールドとします。
- 動作開始から160.0mmまでセンサー入力値をサンプリングし、スレッシュールドを決定します。
すでに2個以上の黒マークまたはギャップが存在しているときは、用紙長も算出して実測黒マークまたはギャップの終端1mm前で停止します。
- 上記条件の下で2個目の黒マークまたはギャップを認識できない場合は、検出動作を延長して黒マークまたはギャップを探し、最大500.0mmまで延長して見つけれないときは、フィードジャムとして停止します。
- オートキャリブレーション動作が可能な用紙ピッチは、10.0mm～150.0mmまでです。
- カッターモジュールを装着している場合で、前回の発行がカット発行のときは、停止後に排出カットを行います。
- ハクリ停止位置発行時にオートキャリブレーションは機能しません。
- オートキャリブレーション動作中にラベルエンド、ヘッドオープンエラーはエラー停止します。ヘッドクローズによってエラーが解除されると、動作を再開します。
- オートキャリブレーション動作中は、必ずリボン駆動を行ってください。リボンが無い場合はエラーにはなりませんが、動作終了後に動作条件がリボン無しに設定されます。

LAN有効／無効設定

本機をコンピュータにLAN接続する場合は「有効」に設定します。LAN接続しないときは、必ず「無効(OFF)」に設定してください。

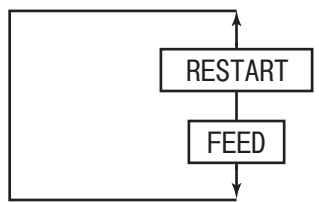
●操作例



- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を6回押します。
- (7) LAN有効／無効設定のメニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) LANの有効／無効を設定します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (10) 設定内容が表示します。
- (11) [PAUSE]を押すと設定内容が確定します。
- (12) LAN有効／無効設定のメニューに戻ります。

●設定内容の詳細

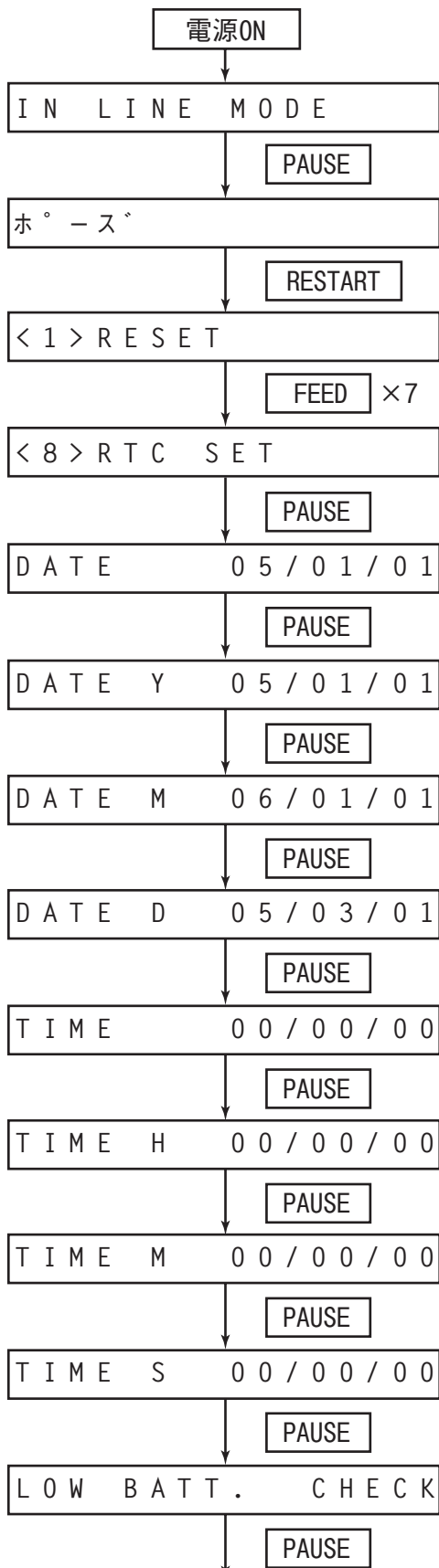
•LAN有効／無効設定(LAN)



- OFF :無効
- ON SNMP ON. :LAN有効 SNMP有効
- ON SNMP OFF :LAN有効 SNMP無効

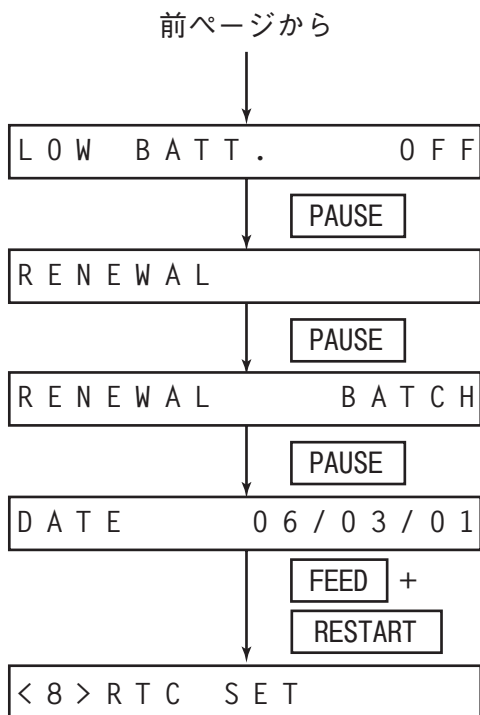
RTC設定

●操作例



次ページに続く

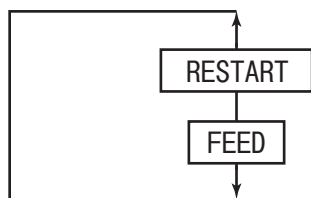
- (1) 待機中です。
- (2) [PAUSE]を押します。
- (3) ポーズ状態になります。
- (4) ポーズ状態中に[RESTART]を3秒以上押し続けます。
- (5) リセットのメニューが表示します。
- (6) [FEED]を7回押します。
- (7) RTC設定メニューが表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 現在の年月日が表示します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) 年を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) 月を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 日を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。(日付確定)
- (17) 現在の時分秒が表示します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 時を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 分を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) 秒を変更します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (24) [PAUSE]を押します。(時刻確定)
- (25) ローバッテリーチェックの有効/無効を設定します。
- (26) [PAUSE]を押します。



- (27) 現在の設定内容が表示しますので、[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) RTCデータ更新タイミングを設定します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 現在の設定内容が表示しますので、[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (32) [PAUSE]を押します。
- (33) 現在の年月日表示に戻ります。
- (34) [FEED]と[RESTART]を同時に押します。
- (35) RTC設定メニューに戻ります。

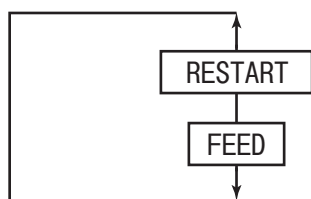
●設定内容の詳細

•RTCローバッテリーチェック設定(LOW BATT. CHECK)



- OFF :無効
- ON :有効

•RTCデータ更新タイミング設定(RENEWAL)



- BATCH:バッチ毎
- PAGE :ページ毎

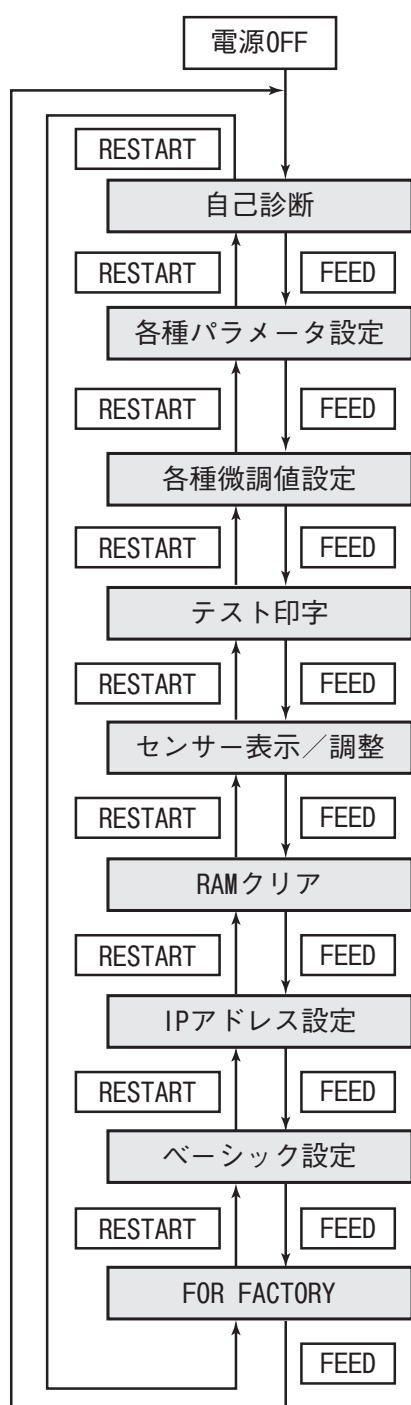
補足

- RTCデータ利用時は必ず電池を装着してください。
- 電池未装着時およびローバッテリー状態では、本機の電源OFF時にRTCデータは維持されません。
- ローバッテリーチェックがONになっている場合、バッテリー電圧が2.4V以下であれば電源投入時にエラー停止します。[RESTART]は効きませんが、[RESTART]を長押しすると簡易システムモードへ移行できます。
- 工場出荷時はローバッテリーチェックは「OFF」になってます。
- RTC機能を使用する場合は、ローバッテリーチェックを「ON」にしてください。
- ローバッテリーチェックをOFFにすると、ローバッテリー状態でもRTC機能は利用可能です。ただし、電波投入後にRTCの設定／確認が必要です。

システムモードの機能

システムモードの機能には、「自己診断」、「各種パラメータ設定」、「各種微調値設定」、「テスト印字」、「センサー調整」、「RAMクリア」、「IPアドレス設定」、「ベーシック設定」などがあります。

システムモードの概要

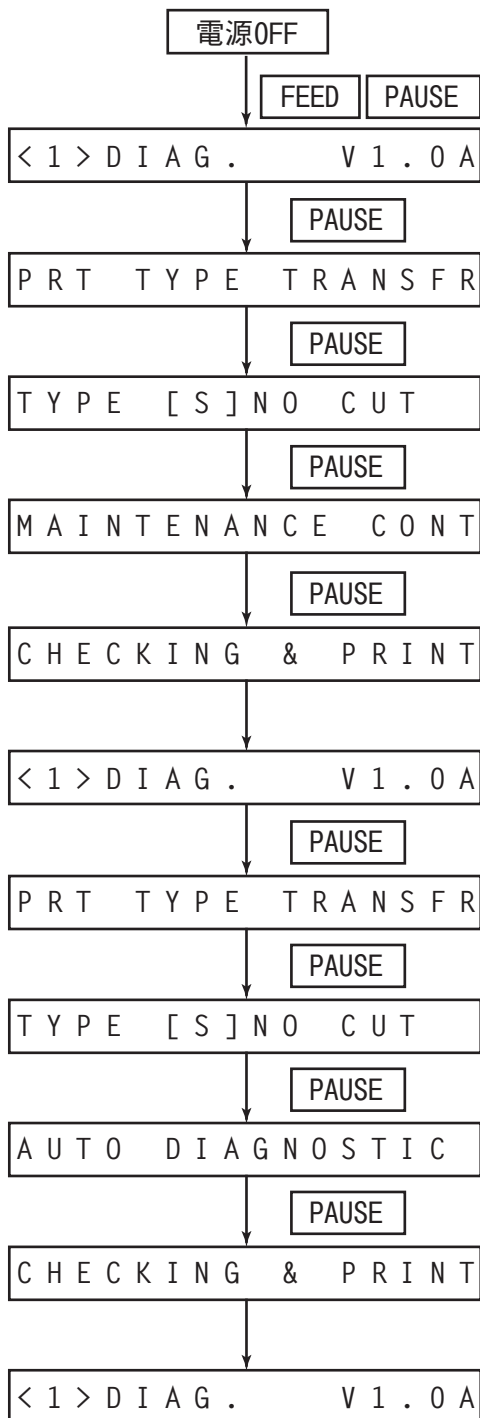


[FEED]と[PAUSE]を押しながら電源ON

- <1> 発行中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示し、自動的に発行を停止します。
本機の自己診断および結果印字
印字ヘッド断線チェック
- <2> 各種パラメータ設定
※ 設定操作は「各種パラメータ設定内容の変更」を参照してください。(→P.44)
- <3> 各種微調値設定
※ 設定操作は「各種微調値設定内容の変更」を参照してください。(→P.54)
- <4> パラメータ設定・斜線1ドット印字・斜線3ドット印字・キャラクター印字・バーコード印字・白紙印字・組立工程用自動印字
- <5> 印字ヘッド温度センサー表示・外気温センサー表示・反射セ
本機の自己診断および結果印字センサー表示/調整・紙なし判定
レベル登録・透過センサー表示/調整
- <6> メンテナンスカウンタークリア
各種パラメータクリア
- <7> IPアドレス設定
- <8> ベーシック設定
- <9> 工程用オプションチェック
※ 出荷工程時に行うチェックです。
したがって、操作例は記載しておりません。

自己診断

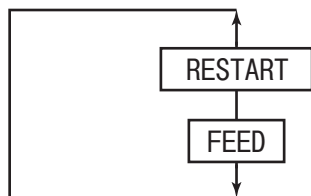
(1) メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字・自動自己診断印字



- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [PAUSE]を押します。
- (5) 印字方式を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) 発行タイプを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) メンテナンスカウンターおよび各種パラメータの印字モードが表示します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) メンテナンスカウンターおよび各種パラメータのチェックが開始します。
- (12) 結果が印字されます。
- (13) 自己診断メニューに戻ります。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 印字方式を選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) 発行タイプを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 自動自己診断モードが表示します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 自動自己診断チェックが開始します。
- (22) 結果が印字されます。
- (23) 自己診断メニューに戻ります。

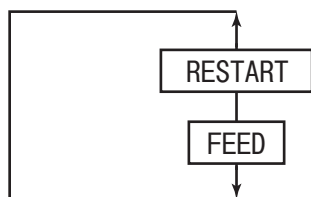
●設定内容の詳細

●印字方式選択(PRT TYPE)



- TRANSFR (熱転写方式)
- DIRECT (感熱方式)

●発行タイプ設定(TYPE)

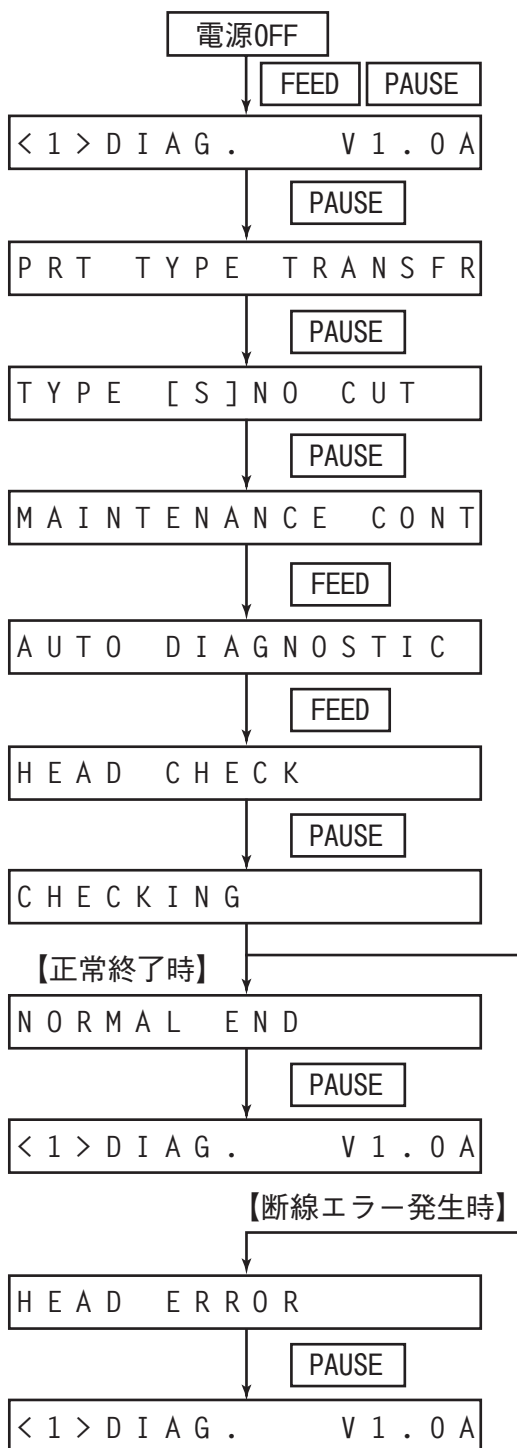


- [S]NO CUT (連続発行)
- [C]WITH CUT (カット発行)

補足

- 自己診断結果の印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。また、[PAUSE]を押してエラーを解除すると、システムモードメニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再発行は行いません。

(2)ヘッド断線チェック



- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [PAUSE]を押します。
- (5) 印字方式を選択します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) 発行タイプを選択します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) メンテナンスカウンタおよび各種パラメータの印字モードが表示します。
- (10) [FEED]を押します。
- (11) 自動自己診断モードが表示します。
- (12) [FEED]を押します。
- (13) ヘッド断線チェックモードが表示します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) ヘッド断線チェックが開始します。
- (16) 結果が表示されます(正常終了)。
- (17) [PAUSE]を押します。
- (18) 自己診断メニューに戻ります。
- (16) 結果が表示されます(エラー終了)。
- (17) [PAUSE]を押します。
- (18) 自己診断メニューに戻ります。

(3)自己診断項目

●メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字

①メンテナンスカウンター

- 総ラベル走行距離(クリアできません)
- ラベル走行距離
- RS-232Cハードエラー発生回数
- システムエラー発生回数
- リボンモーター駆動時間
- 印字距離
- カット回数
- 瞬時停電発生回数

②各種パラメータ

[コンピュータでの微調設定値]

- フィード量微調値
- カット位置(またはハクリ停止位置)微調値
- バックフィード量微調値
- 印字濃度微調値[転写]
- 印字濃度微調値[直接発色]
- リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)
- リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)

[プリンタでの設定値]

- フィード量微調値
- カット位置(またはハクリ停止位置)微調値
- バックフィード量微調値
- 印字濃度微調値[転写]
- 印字濃度微調値[直接発色]
- リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)
- リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)
- X方向座標微調値
- 下反射センサー手動スレッシュホールド微調
- 透過センサー手動スレッシュホールド微調
- 文字コード種別
- キャラクター「0」の字体
- 通信速度
- データ長
- ストップビット長
- パリティ
- 伝送制御方式
- メッセージ表示言語
- カット発行時の正転待機
- 制御コード種別
- [FEED]キー機能
- 漢字特殊コード種別
- Euroフォントコード設定値
- 自動断線チェック設定
- セントロACK/BUSYタイミング設定
- WEBプリンタ機能設定
- nInit信号ON時のリセット切り換え
- 拡張I/O動作モード設定
- プラグ&プレイ設定
- ラベルエンド/リボンエンド処理設定
- MaxiCode仕様設定
- オートキャリブレーション設定
- LAN有効/無効設定
- 各種IPアドレス設定
- MACアドレス
- 登録エリア設定
- ソケット通信設定
- ベーシックインタプリタ設定
- DHCP設定
- RTCバッテリーチェック設定
- RTCデータ更新タイミング設定

●自動自己診断

①メモリーチェック

- プログラムエリア(機種・作成日・バージョン・チェックサム)
- ブートエリア(機種・作成日・バージョン・チェックサム)
- フォントエリアチェックサム
- ビットマップ漢字ROMチェックサム
- EEPROMチェック
- RAMチェック

②センサーチェック

- 印字ヘッドオープンセンサー
- 上反射センサー
- 下反射センサー
- カッターホームポジションセンサー
- 印字ヘッド温度センサー
- 紙なしレベル設定値
- 手動スレッシュホールド設定値
- 外気温センサー
- 透過センサー
- リボン巻き取りモーターセンサー
- リボンバックテンションモーターセンサー

③拡張I/Oループバックチェック

④内部シリアルI/Fループバックチェック

⑤SIOループバックチェック

(4)自己診断結果印字例

●メンテナンスカウンター・各種パラメータ印字

TOTAL FEED	1.1km	[JA]
FEED	1.1km	
PRINT	0.5km	
CUT	96	
RIBBON	3h	
232C ERR	255	
SYSTEM ERR	0	
POWER FAIL	0	
[PC]		[KEY]
FEED	+2.0mm	FEED +0.0mm
CUT	+0.0mm	CUT +0.0mm
BACK	+0.0mm	BACK +0.0mm
TONE(T)	+0step	TONE(T) +0step
TONE(D)	+0step	TONE(D) +0step
RBN(FW)	-10	RBN(FW) -8
RBN(BK)	+0	RBN(BK) +0
X ADJ.	+0.0mm	
THRESHOLD(R)	1.0V	
THRESHOLD(T)	1.4V	
FONT	[PC-850]	[0]
SPEED	[9600]	
DATA LENG.	[8]	
STOP BIT	[1]	
PARITY	[EVEN]	
CONTROL	[XON+READY AUTO]	
MESSAGE	[JAPANESE]	
FORWARD WAIT	[ON] +0.0mm	
CODE	[AUTO]	
FEED KEY	[FEED]	
KANJI	[TYPE1]	
EURO CODE	[B0]	
AUTO HD CHK	[OFF]	
ACK/BUSY	[TYPE1]	
WEB PRINTER	[OFF]	
INPUT PRIME	[ON]	
EX.I/O MODE	[TYPE1]	
PLUG & PLAY	[OFF]	
LBL/RBN END	[TYPE1]	
MAXI CODE SPEC.	[TYPE1]	
AUTO CALIB	[OFF]	
LAN	[ON] SNMP ON]	
PRTR IP ADDRESS	[192.168.010.020]	
GATE IP ADDRESS	[000.000.000.000]	
SUBNET MASK	[255.255.255.000]	
MAC ADDRESS	[00-80-91-34-00-CC]	
TTF AREA	[640KB]	
EXT CHR AREA	[128KB]	
BASIC AREA	[64KB]	
PC SAVE AREA	[64KB]	
SOCKET PORT	[OFF] [08000]	
BASIC	[OFF]	
BASIC TRACE	[OFF]	
DHCP	[OFF]	
DHCP ID	[FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF]	
	[FFFFFFFFFFFFFF]	
DHCP HOST NAME	[]	
RTC BATT. CHK	[ON]	
RTC RENEW	[BATCH]	

補足

- ・ 診断結果の印字内容は説明のためのものであり、実際の印字内容と異なることがあります。

[印字条件]

ラベル長220mm、転写／発色(*）、センサー無し、4インチ／秒、1枚発行、連続発行
 (*):印字方式選択の内容による。

●自動自己診断印字

```
PROGRAM B-850-R
  MAIN 15MAR2006 V1.0A:1A00
  BOOT 20MAR2006 V1.0 :8500
FONT      AD00
KANJI     GOTHIC :9F00
           MINCHO :7400
EEPROM    OK
SDRAM     16MB
SENSOR1   00000000.00000111
SENSOR2   [H]23°C [A]180°C
           [R(U)]4.2V [R(L)]4.0V
           [T]2.5V
PE LV.    [R(U)]1.2V [R(L)]1.3V
           [T]4.3V
M THRE.   [R]5.0V [T]5.0V
EXP.I/O   NG
EX.232C   NG
SIO       NG NG
```

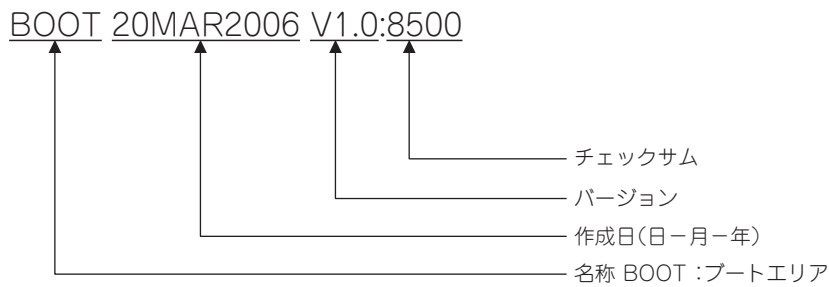
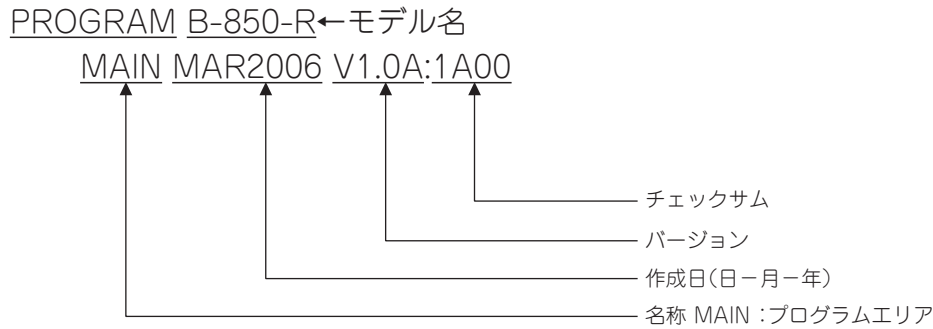
補足

- ・ 文字コード切り換えの設定内容により、「°C」の「°」(度)の文字が正しく印字されないことがあります。

[印字条件]

ラベル長92mm、転写／発色(*）、センサー無し、4インチ／秒、1枚発行、連続発行
 (*):印字方式選択の内容による。

(5)メモリーチェック内容



FONT AD00 フォントエリアのチェックサム

KANJI NONE :0000 —ゴシック体ビットマップ漢字エリアのチェックサム

 ↑
 NONE :漢字ROMなし
 GOTHIC :ゴシック体ビットマップ漢字ROM有り

NONE :0000 明朝体(または中国語)ビットマップ漢字エリアのチェックサム

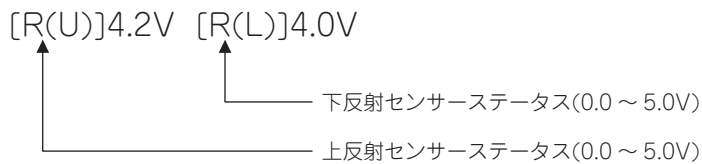
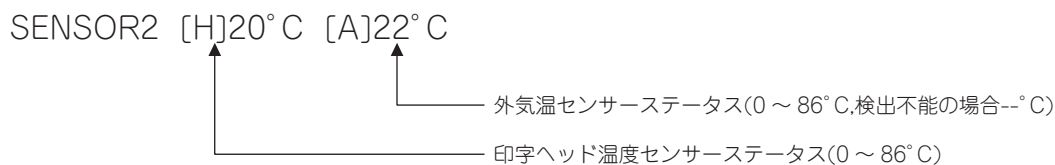
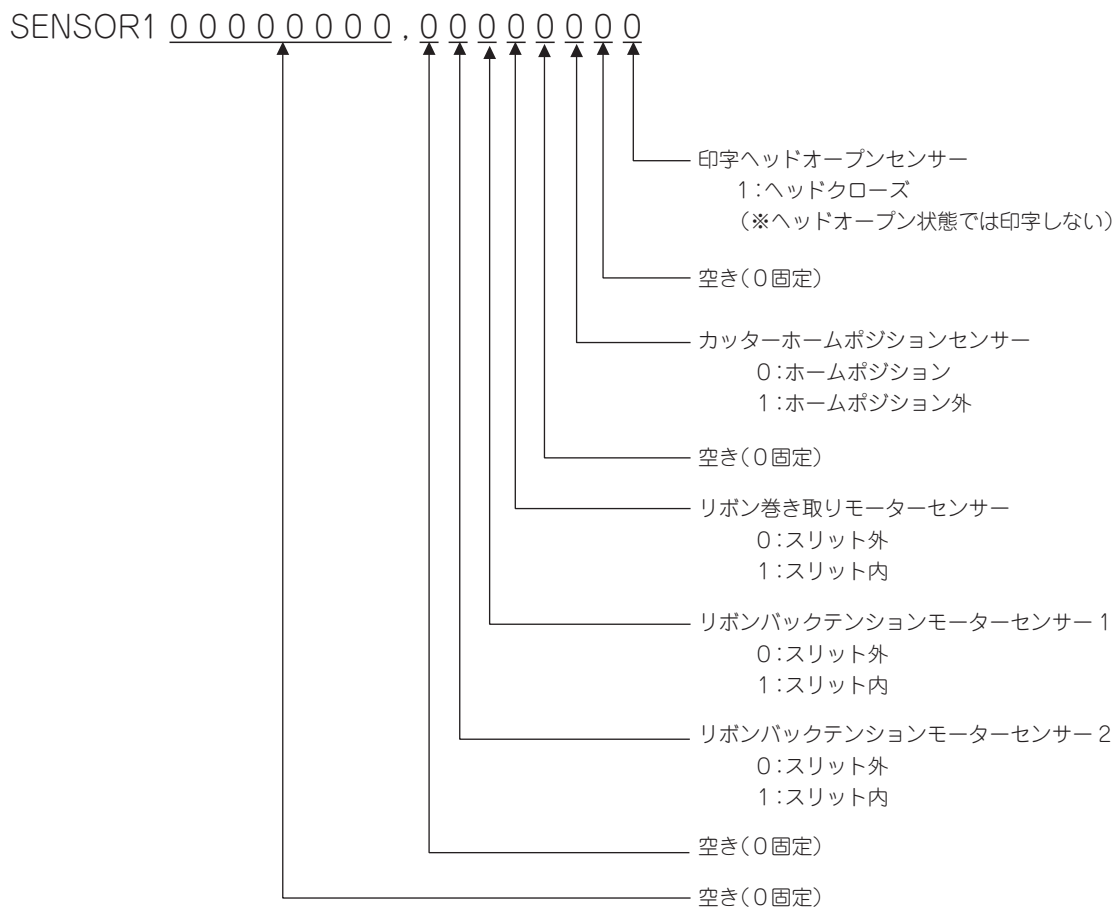
 ↑
 NONE :漢字ROMなし
 MINCHO :明朝体ビットマップ漢字ROM有り
 CHINESE :中国語ビットマップ漢字ROM有り

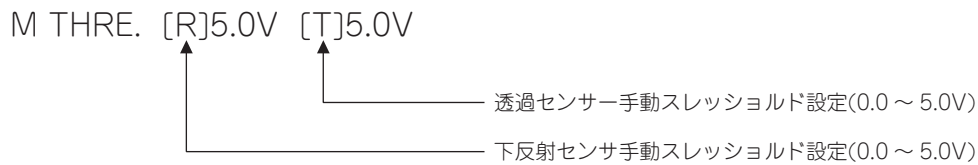
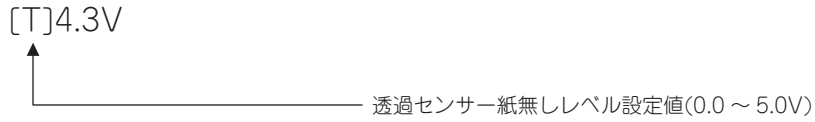
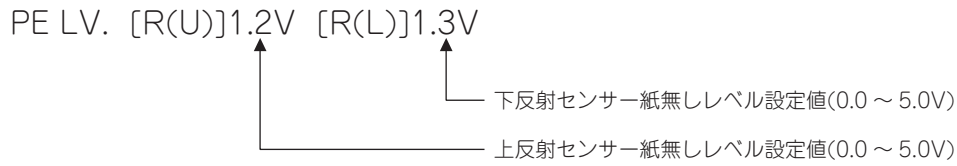
EEPROM OK — OK:チェック用エリアのデータが正しくリード/ライト可能。
 NG:チェック用エリアのデータが正しくリード/ライトできない。
 ↑
 バックアップ用メモリー (EEPROM)

SDRAM 16MB SDRAMの容量

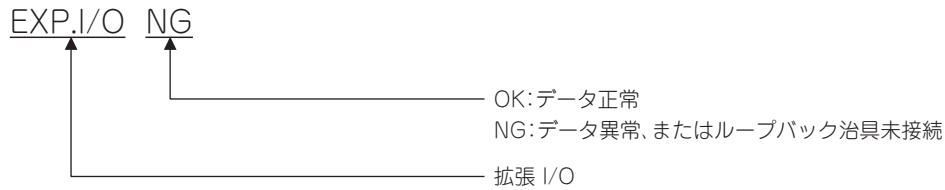
 ↑
 システム用・描画用メモリー

(6) センサーチェック内容

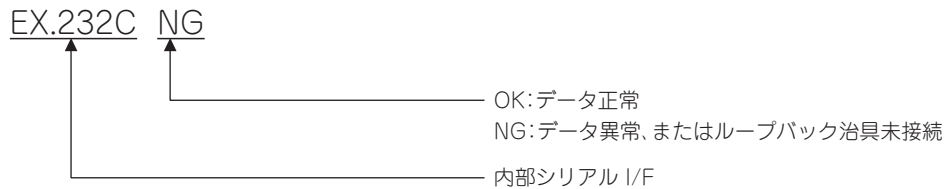




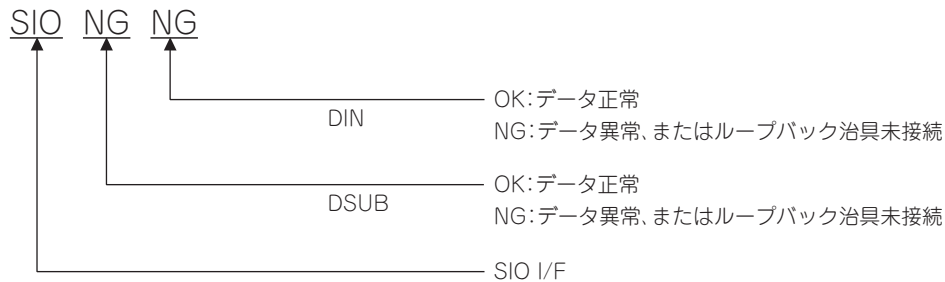
(7) 拡張 I/O チェック内容



(8) 内部シリアル I/F チェック内容

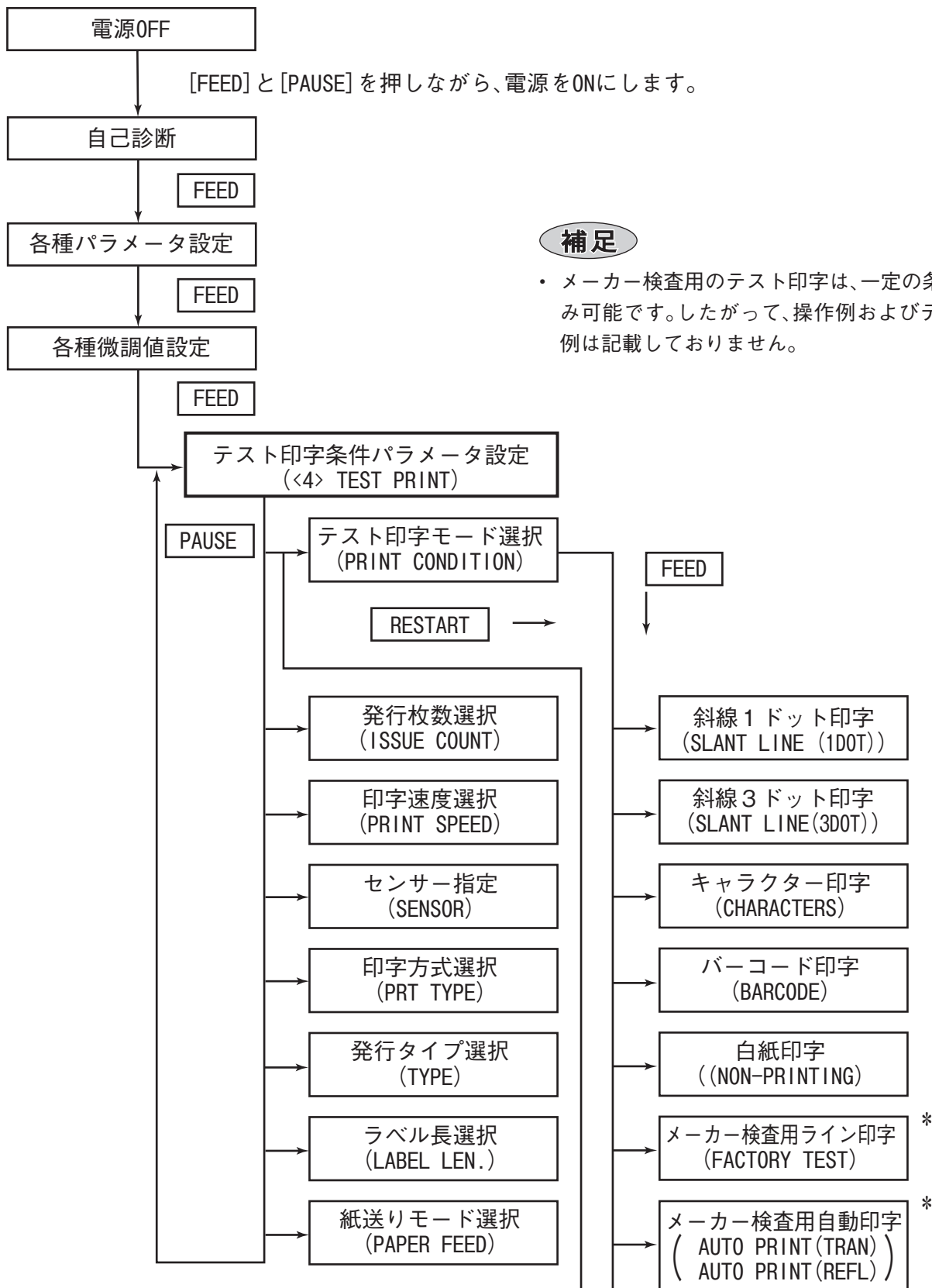


(9) SIO I/F チェック内容



テスト印字

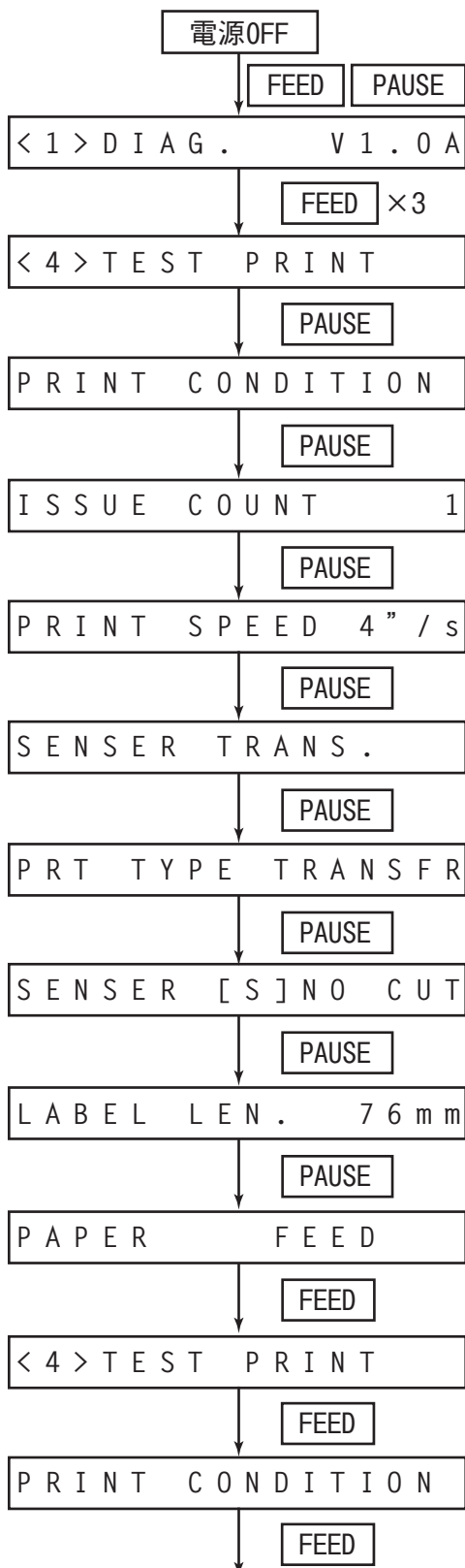
●テスト印字操作の概要



補足

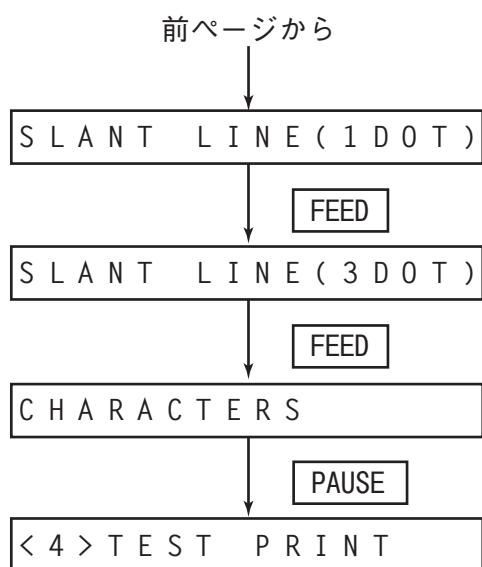
- メーカー検査用のテスト印字は、一定の条件下でのみ可能です。したがって、操作例およびテスト印字例は記載しておりません。

●操作例



次ページへ続く

- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を3回押します。
- (5) テスト印字メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) テスト印字モードを選択します。
[FEED]または[RESTART]で選択します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 発行枚数を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (10) [PAUSE]を押します。
- (11) 印字速度を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) センサー指定を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (14) [PAUSE]を押します。
- (15) 印字方式を選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) 発行タイプを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) ラベルサイズを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) 1枚紙送りするかしないかを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) テスト印字メニューに戻ります。
- (24) [PAUSE]を押します。
- (25) テスト印字モードを選択します。
[FEED]または[RESTART]で設定します。
- (26) [FEED]を押します。



(27) 斜線1ドット印字モードを選択します。

(28) [FEED]を押します。

(29) 斜線3ドット印字モードを選択します。

(30) [FEED]を押します。

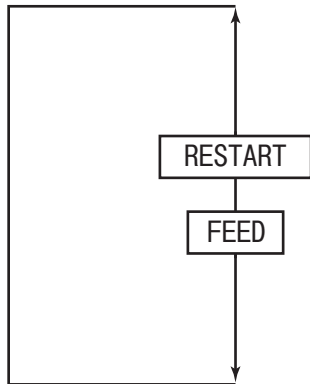
(31) キャラクター印字モードを選択します。

(32) [PAUSE]を押すと「キャラクター印字」を確定し、テスト印字を開始します。

(33) テスト印字が終わると、テスト印字メニューに戻ります。

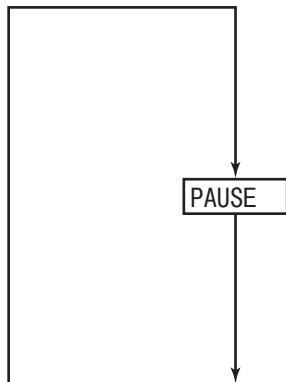
●設定内容の詳細

(1)テスト印字モード選択



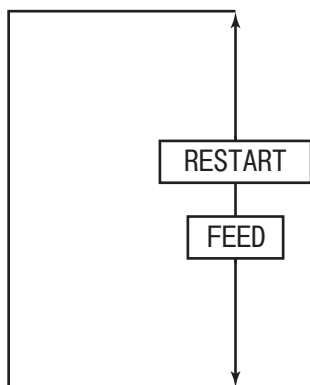
- PRINT CONDITION (テスト印字条件パラメータ設定)
- SLANT LINE (1DOT) (斜線1ドット印字)
- SLANT LINE (3DOT) (斜線3ドット印字)
- CHARACTERS (キャラクター印字)
- BARCODE (バーコード印字)
- NON-PRINTING (白紙印字)
- FACTORY TEST (本モードは選択しないでください)
- AUTO PRINT (TRAN) (本モードは選択しないでください)
- AUTO PRINT (REFL) (本モードは選択しないでください)

(2)テスト印字条件パラメータ設定(PRINT CONDITION)



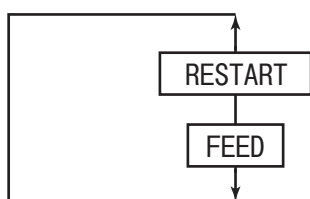
- ISSUE COUNT (枚数設定)
- PRINT SPEED (印字速度)
- SENSOR (センサー指定)
- PRT TYPE (印字方式)
- TYPE (発行タイプ)
- LABEL LEN. (ラベルサイズ)
- PAPER FEED (紙送りモード)
- <4>TEST PRINT (テスト印字メニュー)
- PRINT CONDITION (テスト印字条件パラメータ設定)

(3)枚数設定(ISSUE COUNT)



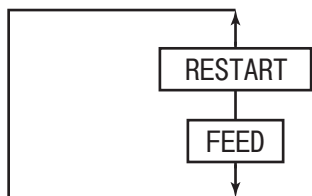
- 5000 (発行枚数5000枚)
- 1000 (発行枚数1000枚)
- 500 (発行枚数500枚)
- 100 (発行枚数100枚)
- 50 (発行枚数50枚)
- 10 (発行枚数10枚)
- 5 (発行枚数5枚)
- 3 (発行枚数3枚)
- 1 (発行枚数1枚)

(4)印字速度(PRINT SPEED)



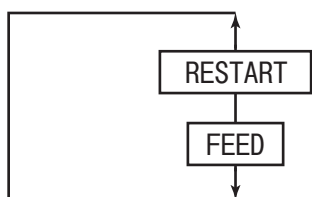
- 4" /sec (4インチ/秒)
- 2" /sec (2インチ/秒)

(5) センサー指定 (SENSOR)



- NONE (位置検出無し)
- REFLECT. (下反射センサー)
- TRANS. (透過センサー)

(6) 印字方式 (PRT TYPE)



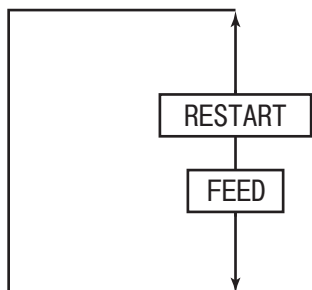
- TRANSFR (熱転写方式)
- DIRECT (感熱方式)

(7) 用紙サイズ (PAPER TYPE)



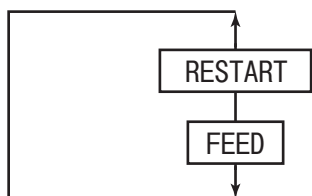
- [S] NO CUT (連続発行)
- [C] WITH CUT (カット発行)

(8) ラベルサイズ (LABEL LEN.)



- 999 (ラベル長999mm)
- 998 (ラベル長998mm)
- 997 (ラベル長997mm)
- }
- 7 (ラベル長7mm)
- 6 (ラベル長6mm)
- 5 (ラベル長5mm)

(9) 紙送り (PAPER)



- FEED (紙送り有り)
- NO FEED (紙送り無し)

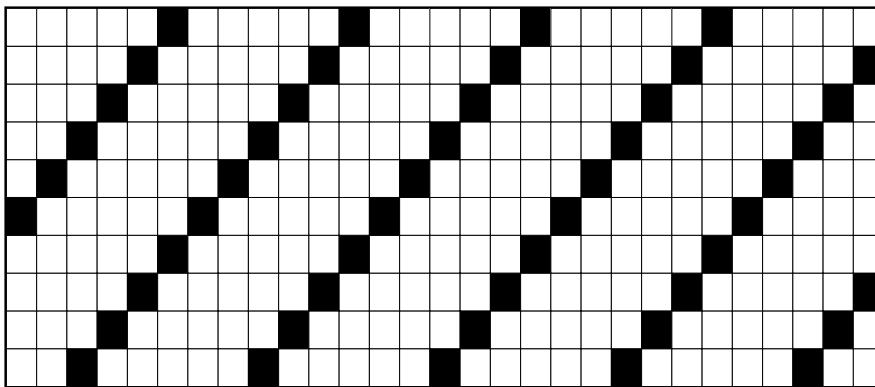
(10) 電源投入時の各パラメータの初期値

- メニュー選択 : テスト印字条件パラメータ設定
- 発行枚数 (ISSUE COUNT) : 1枚
- 印字速度 (PRINT SPEED) : 4インチ/秒
- センサー指定 (SENSOR) : 透過センサー
- 印字方式 (PRT TYPE) : 転写方式
- 発行タイプ (TYPE) : 連続発行 (カット無し)
- ラベルサイズ (LABEL LEN.) : 76mm
- 紙送り (PAPER) : 有り

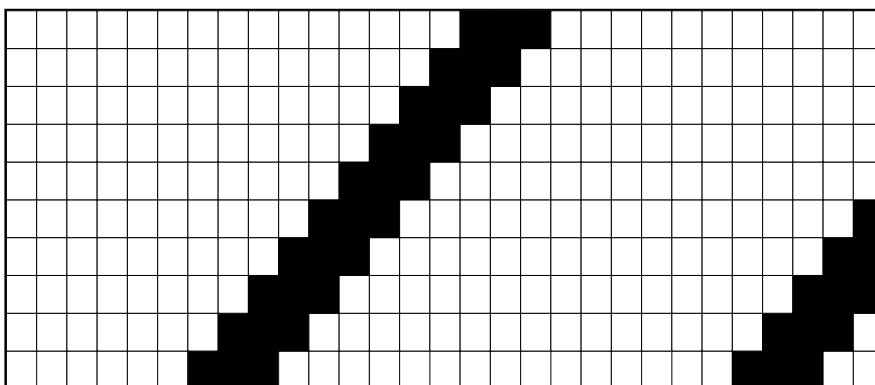
補足

- 選択するときに [FEED] と [RESTART] を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- メニュー選択またはパラメータ設定時に、[FEED] または [RESTART] を 0.5 秒以上押し続けた場合は、そのキーを連続して押したものと判断します。
- X 方向座標微調を除く各種微調パラメータは、テスト印字でも有効です。
- テスト印字中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して発行を停止します。
また、[PAUSE] を押してエラーを解除すると、システムモードメニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再発行は行いません。
- メニュー選択またはパラメータ設定後に、[PAUSE] を押すことでパラメータは有効となり、電源を切るまでパラメータの設定内容を保持します。
- イメージバッファ長より大きなラベルサイズは指定できません。イメージバッファ長より大きな値を指定した場合は、イメージバッファ長分を印字して停止するか、エラーが発生して停止します。
- 透過センサーを指定した場合、ラベル間ギャップは 3mm とします。
- 斜線は拡大すると以下のとおりです。

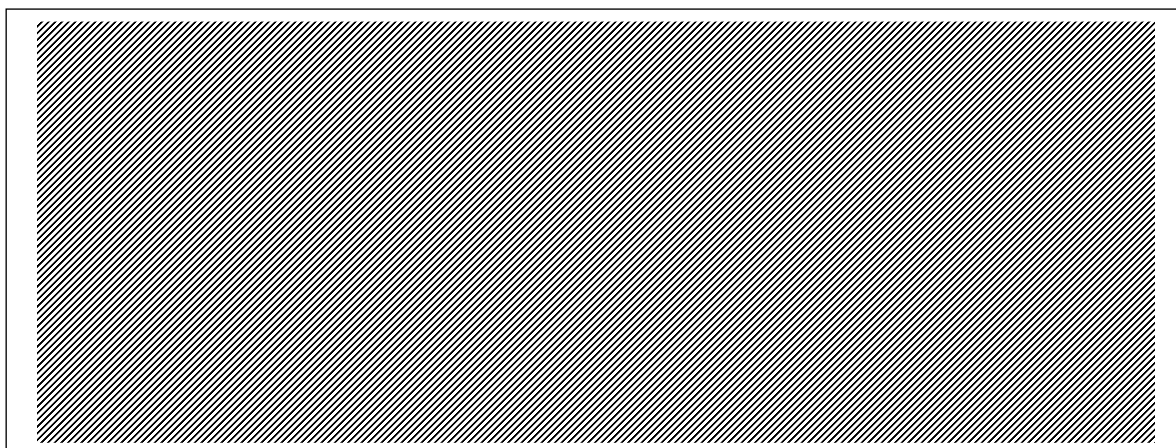
《斜線1ドット印字(黒率:16.7%)》



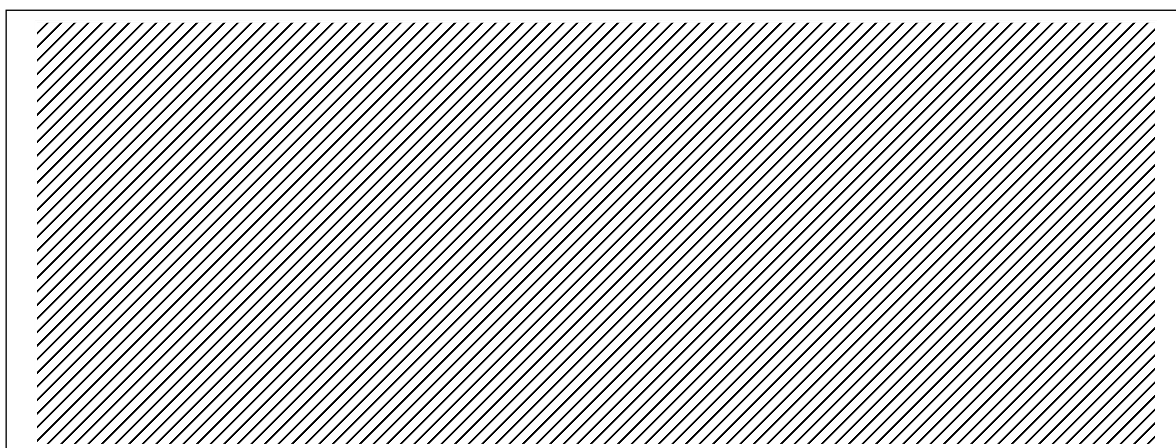
《斜線3ドット印字(黒率:16.7%)》



●テスト印字例(70%縮小)



[斜線印字1ドット]



[斜線印字3ドット]

A /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ	G /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ!#\$%&()*+,-
B /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZa	H /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ!#\$%&()*+,-
C /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZa	I /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ
D /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ	J /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ
E /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRST	K /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRST
F /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ	L /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ
M /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
N /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
O /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
P /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ		
Q /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQ		
R /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
S /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		
T /0123456789@ABCDEFGHIJKLMN	OPQRSTUVWXYZ		

01234567
 01234567
 01234567
 ABCDEFG
 ABCDEFGHJ

漢字 漢字 漢字

ABC

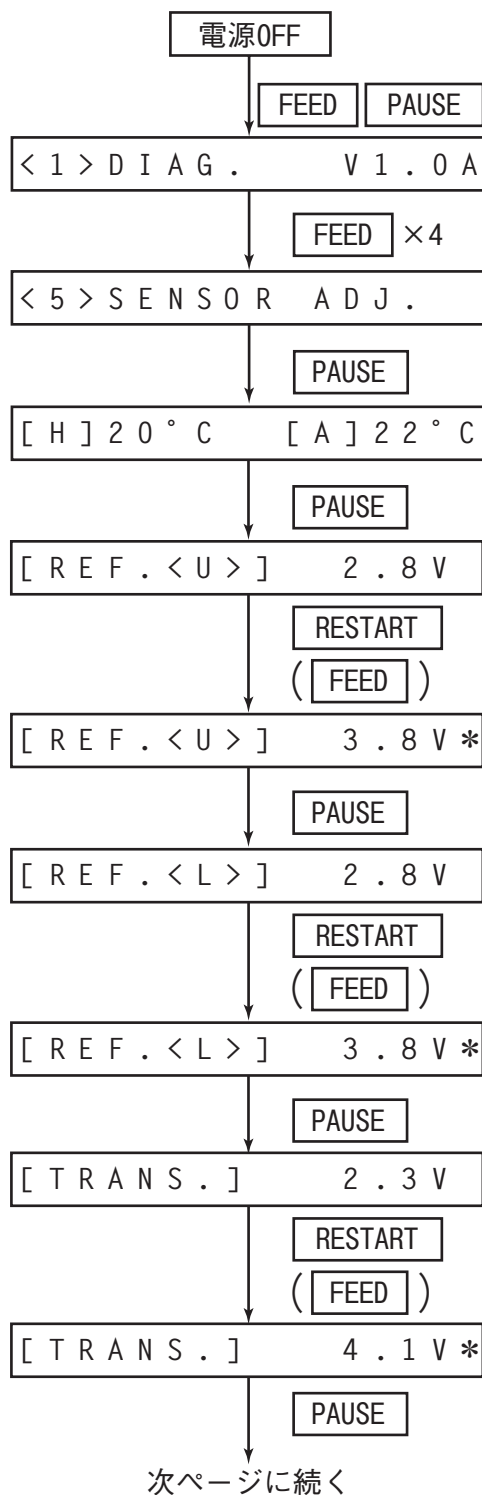
[キャラクター印字]

0: JAN8, EAN8 	3: CODE39 (Standard) 	6: UPC-E
1: MSI 	4: NW7 	9, A: CODE128
2: Interleaved 2 of 5 	5: JAN13, EAN13 	C: CODE93

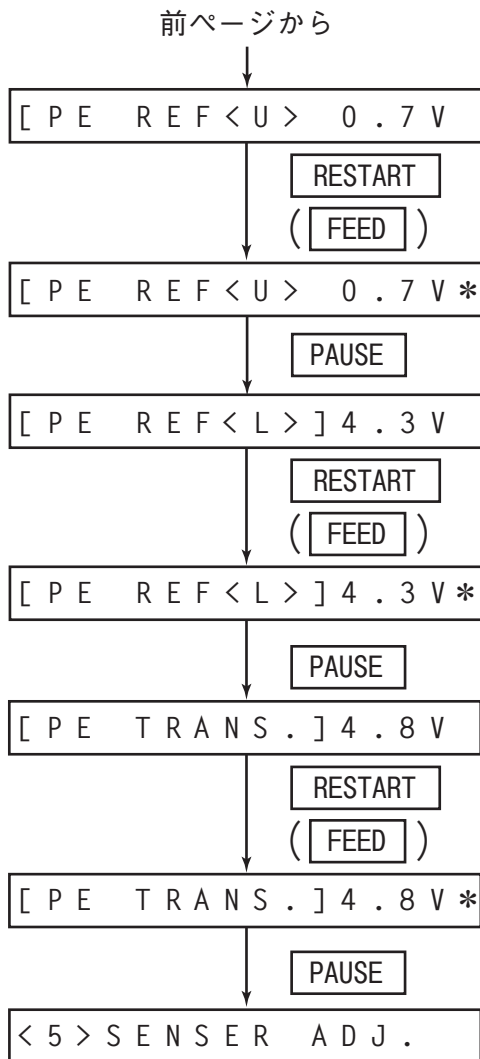
[バーコード印字]

センサー表示／調整

●操作例

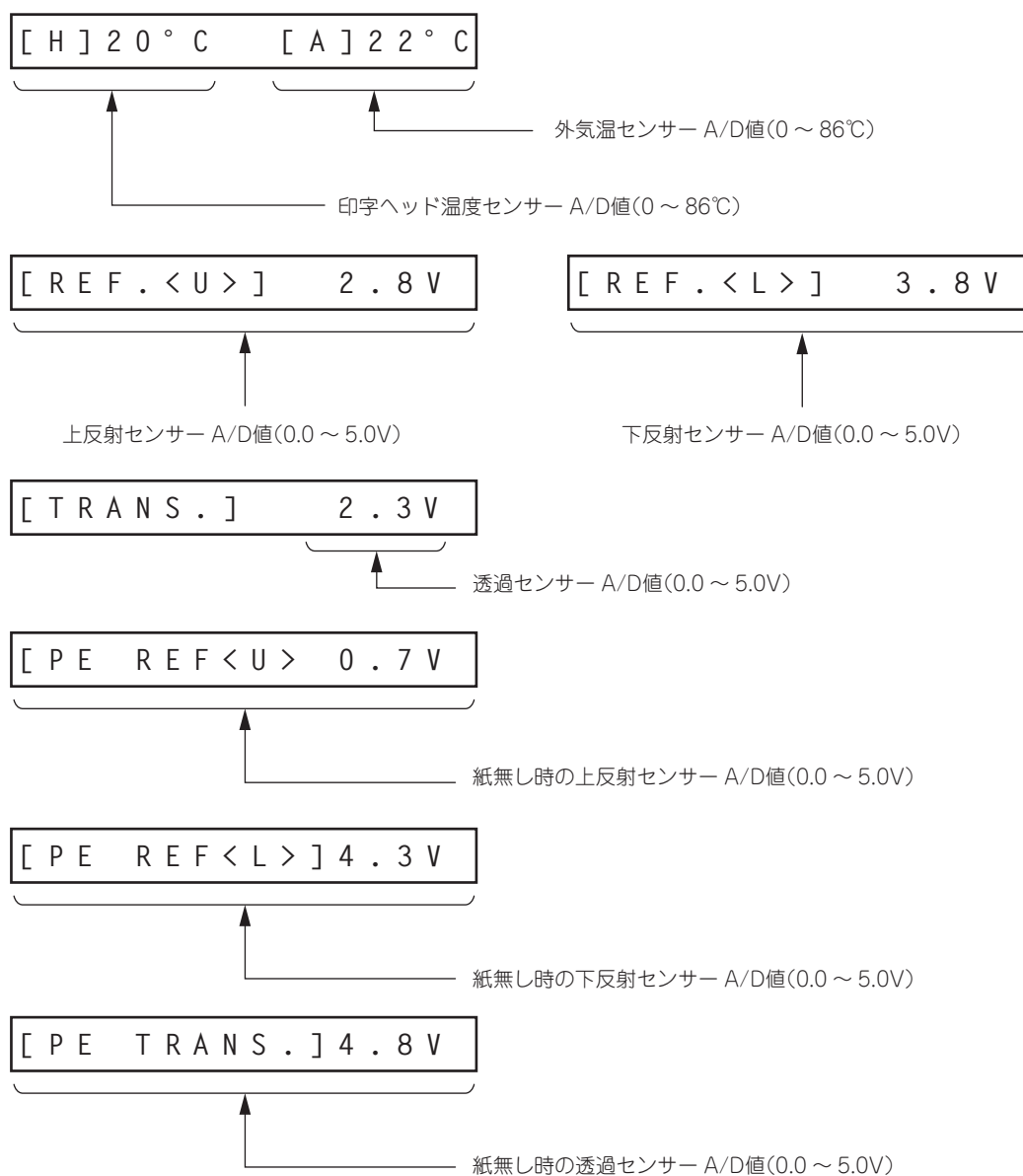


- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) システムモードメニューを表示します。(自己診断)
- (4) [FEED]を4回押します。
- (5) センサー表示／調整メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) 印字ヘッド温度センサーおよび外気温センサーのA/D値が表示します。
- (8) [PAUSE]を押します。
- (9) 上反射センサーのA/D値を表示します。
- (10) タグ紙の白い部分が上反射センサーの上になるように、タグ紙をセットします。
- (11) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。(上反射センサーの調整)
- (12) 上反射センサーの調整後のA/D値と右端に「*」印を表示します。
- (13) [PAUSE]を押します。
- (14) 下反射センサーのA/D値を表示します。
- (15) 下反射センサーの上にタグ紙の白い部分をセットします。
- (16) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。(下反射センサーの調整)
- (17) 下反射センサーの調整後のA/D値と右端に「*」印を表示します。
- (18) [PAUSE]を押します。
- (19) 透過センサーのA/D値を表示します。
- (20) ラベル紙からラベルをはがした台紙を、透過センサーを遮る位置にセットします。
- (21) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。(透過センサーの調整)
- (22) 透過センサーの調整後の紙無しA/D値と、右側に「*」印を表示します。
- (23) [PAUSE]を押します。



- (24) 上反射センサーの紙無しA/D値を表示します。
センサー下にセットされている紙を取り除きます。
- (25) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。
(上反射センサーの紙無し調整)
- (26) 上反射センサーの調整後のA/D値と、右端に「*」印を表示します。
- (27) [PAUSE]を押します。
- (28) 下反射センサーの紙無しA/D値を表示します。
センサー上にセットされている紙を取り除きます。
- (29) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。
(下反射センサーの紙無し調整)
- (30) 下反射センサーの調整後のA/D値と、右端に「*」印を表示します。
- (31) [PAUSE]を押します。
- (32) 透過センサーの紙無しA/D値を表示します。
センサー上にセットされている紙を取り除きます。
- (33) [RESTART]または[FEED]を3秒以上押し続けます。
(透過センサーの紙無し調整)
- (34) 透過センサーの調整後のA/D値と、右端に「*」印を表示します。
- (35) [PAUSE]を押します。
- (36) センサー表示／調整メニューに戻ります。

●各センサーのA/D値表示内容

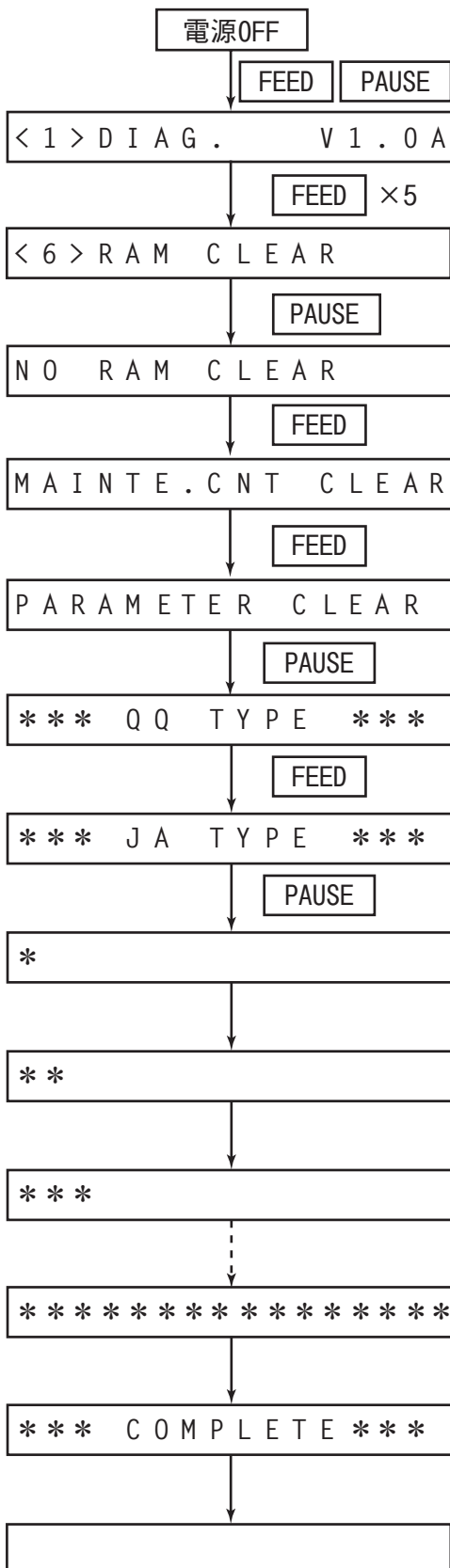


補足

- センサーの調整開始時に [RESTART] と [FEED] を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- センサー調整中は、各センサーの状態を0.2秒毎に監視して表示します。したがって、センサーの状態が変化すると表示も変わります。

RAMクリア

●操作例



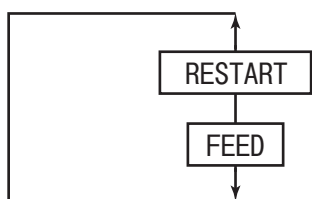
- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を5回押します。
- (5) RAMクリアメニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) RAMクリア未実行モードが表示します。
* 誤ってRAMクリアするのを防ぐためのモードです。
- (8) [FEED]を押します。
- (9) メンテナンスカウンタークリアモードを選択します。
- (10) [FEED]を押します。
- (11) パラメータクリアモードを選択します。
- (12) [PAUSE]を押します。
- (13) QQタイプ用RAMクリアが表示します。
- (14) [FEED]を押します。
- (15) JAタイプ用RAMクリアが実行開始します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) パラメータクリアが実行開始します。
- (18) プロGRESSが表示します。
- (19) パラメータクリアを終了します。
- (20) 電源をOFFにしてください。

補足

- クリアモードのメニューの切り換え時に[RESTART]と[FEED]を同時に押すと、システムモードメニューの表示に戻ります。
- RAMクリアを実施しても総ラベル走行距離、センサー調整値、IPアドレス設定内容、メッセージ表示言語、およびフラッシュメモリーの内容は保護されます。

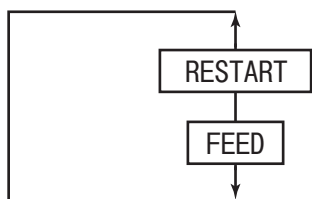
●設定内容の詳細

(1) RAMクリアモード選択



- NO RAM CLEAR (RAMクリア未実行モード)
- MANTE.CNT CLEAR (メンテナンスカウンタークリアモード)
- PARAMETER CLEAR (パラメータクリアモード)

(2)仕向地選択



- QP TYPE (欧州/アジア向け)
- JA TYPE (日本向け)
- QQ TYPE (北中南米向け)

お願い

- JA TYPE (日本向け)以外は選択しないでください。
JA以外の仕向地を選択してRAMクリアを実行すると、パラメータなどの初期値が選択した仕向地に設定され、JA TYPEとして使用できなくなります。

(3)メンテナンスカウンタークリア後の初期値

項目	初期値
ラベル走行距離	0 km
印字距離	0 km
カット回数	0 回
リボンモーター駆動時間	0 時間
RS-232Cハードエラー発生回数	0 回
システムエラー発生回数	0 回
瞬時停電発生回数	0 回

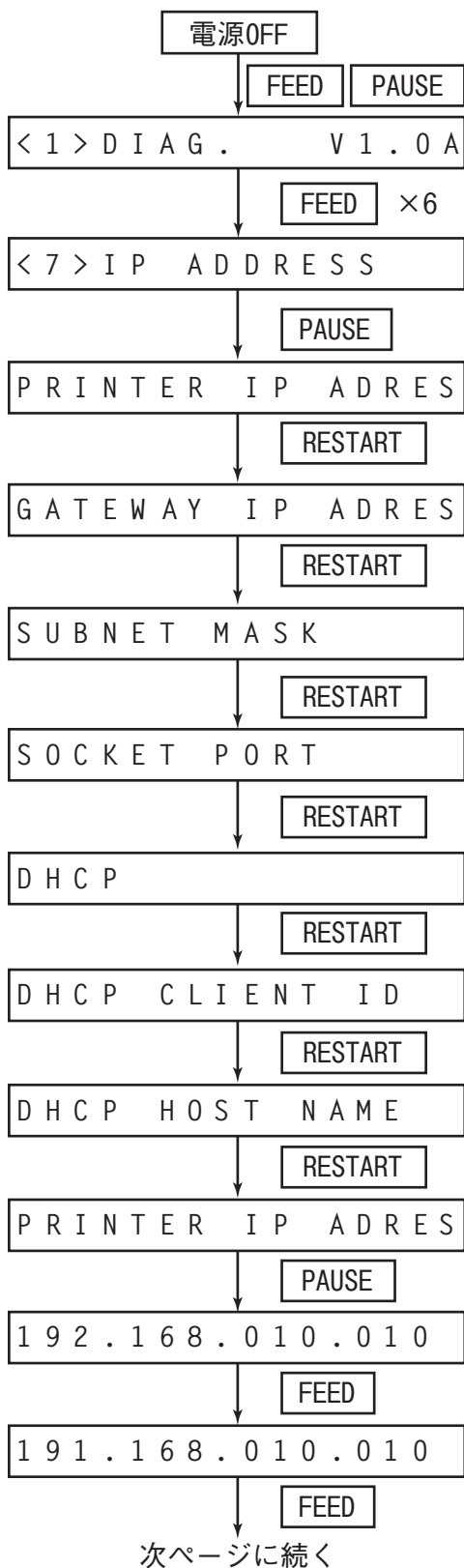
(4)パラメータクリア後の初期値

項 目	初 期 値
フィード量微調(PC)	0mm
カット位置(またはハクリ停止位置)微調(PC)	0mm
バックフィード量微調(PC)	0mm
印字濃度微調(転写)(PC)	0
印字濃度微調(直接発色)(PC)	0
リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(PC)	0
リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)(PC)	0
フィード量微調(キー)	0mm
カット位置(またはハクリ停止位置)微調(キー)	0mm
バックフィード量微調(キー)	0mm
印字濃度微調(転写)(キー)	0
印字濃度微調(直接発色)(キー)	0
リボンモーター駆動電圧微調(巻き取り側)(キー)	0
リボンモーター駆動電圧微調(バックテンション側)(キー)	0
X方向座標微調(キー)	0mm
透過センサー手動スレッシュールド微調	1.4V
下反射センサー手動スレッシュールド微調	1.0V
文字コード種別	PC-850
0の字体	"0"スラッシュ無し
通信速度	9600bps
データ長	8ビット
ストップビット長	1ビット
パリティ	EVEN
伝送制御	XON/XOFF+READY/BUSY方式(DTR方式) (電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り)
メッセージ表示言語	日本語
自動正転待機	正転待機無し (カッター装着時でのパラメータクリアでは、 正転待機有りとなる)
制御コード種別	自動切り換え
[FEED]キー機能	1枚紙送り
漢字特殊コード	TYPE1
Euroフォントコード	B0H
自動断線チェック	自動断線チェック無し
ACK/BUSYタイミング	TYPE1
WEBプリンタ機能	無し
nInit信号ON時のリセット処理	無し

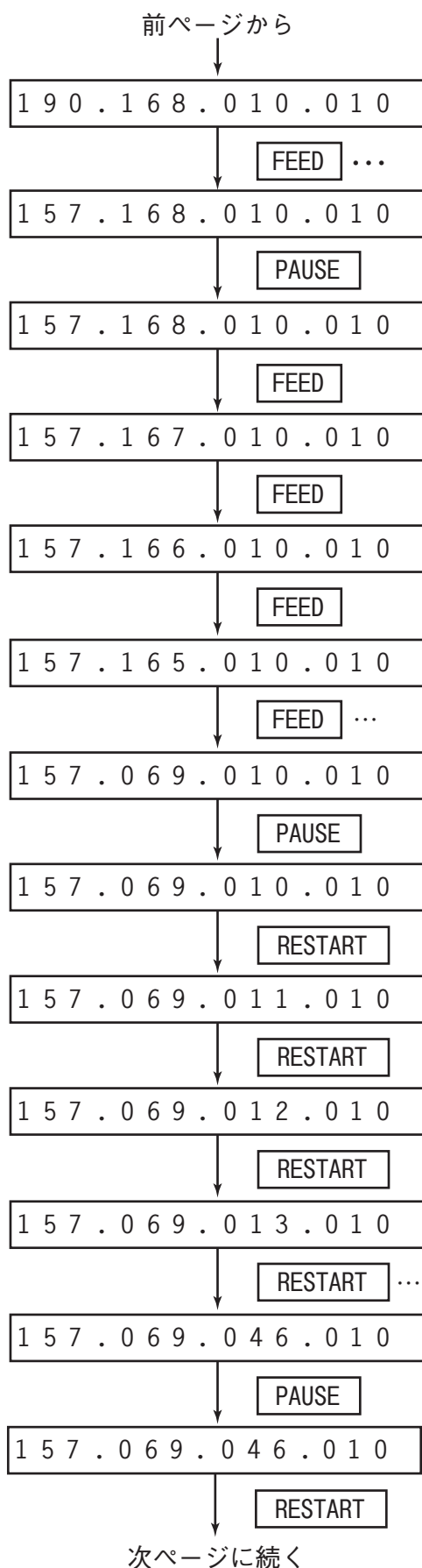
項 目	初 期 値
拡張I/O動作モード	標準モード
プラグ&プレイ設定	無し
ラベルエンド/リボンエンド処理設定	ラベル/リボンエンド検出時、発行途中で停止
MaxiCode仕様設定	既存バージョンとの互換仕様
オートキャリブレーション設定	OFF
LAN 有効/無効設定	ON (有効)
ステータス応答	有り
ラベルピッチ	76.2mm
有効印字長	74.2mm
有効印字幅	105.7mm
印字方式	転写
センサー種別	透過センサー
フィード速度	4インチ/秒
発行モード	連続発行
PCセーブ自動呼び出し	有り
ベーシックインタプリタ設定	ベーシックインタプリタ機能無効
ベーシックインタプリタトレース設定	トレース機能無効
DHCP設定	DHCP機能無効
RTCローバッテリーチェック	OFF
RTCデータ更新タイミング	BATCH

IPアドレス設定

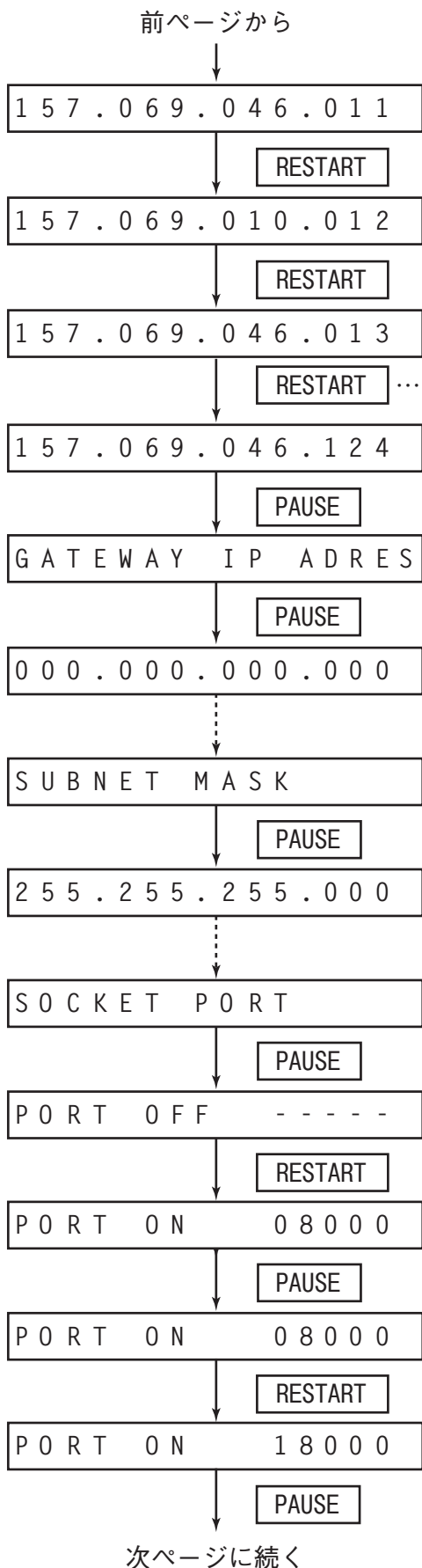
●操作例



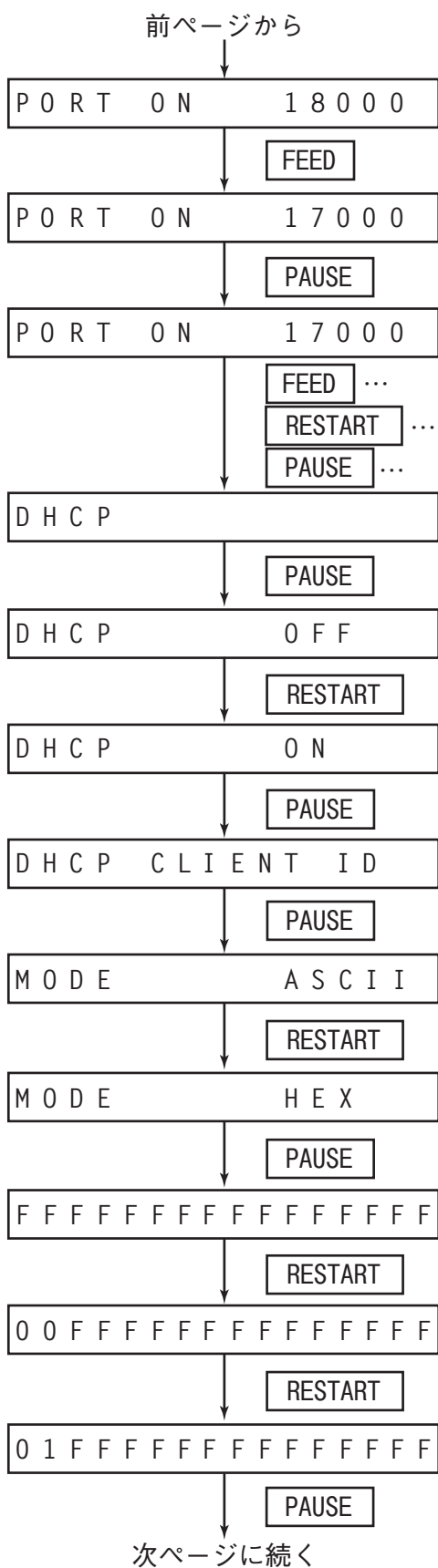
- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を6回押します。
- (5) IPアドレス設定メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) プリンタIPアドレス設定モードを選択します。
- (8) [RESTART]を押します。
- (9) ゲートウェイIPアドレス設定モードを選択します。
- (10) [RESTART]を押します。
- (11) サブネットマスク設定モードを選択します。
- (12) [RESTART]を押します。
- (13) ソケットポート番号設定モードを選択します。
- (14) [RESTART]を押します。
- (15) DHCP機能設定モードを選択します。
- (16) [RESTART]を押します。
- (17) DHCP IP設定モードを選択します。
- (18) [RESTART]を押します。
- (19) DHCP HOST NAME設定モードを選択します。
- (20) [RESTART]を押します。
- (21) プリンタIPアドレス設定モードを選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) プリンタIPアドレスが表示します。
- (24) [FEED]を押します。
- (25) 最初の8ビット設定を選択します。
- (26) [FEED]を押します。



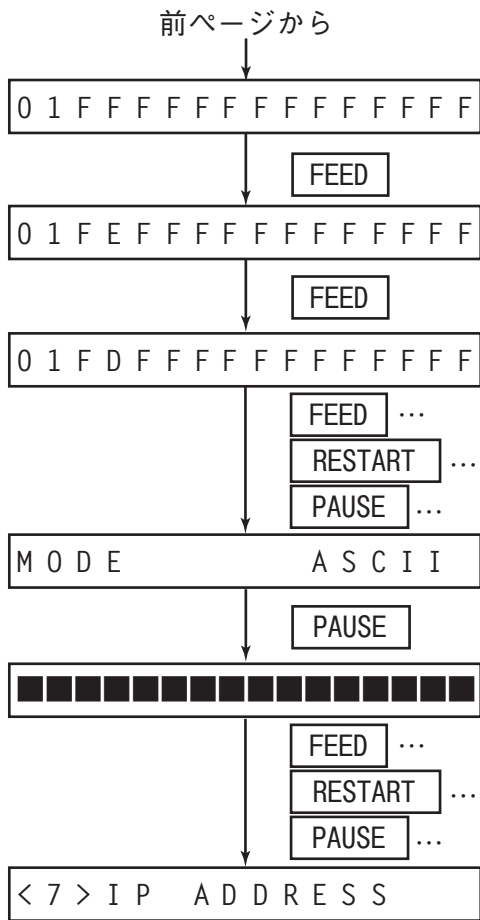
- (27) 最初の8ビット設定を選択します。
- (28) [FEED]を押します。
- (29) 最初の8ビット設定を選択します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) 最初の8ビットを確定し、次の8ビット設定を選択します。
- (32) [FEED]を押します。
- (33) 次の8ビット設定を選択します。
- (34) [FEED]を押します。
- (35) 次の8ビット設定を選択します。
- (36) [FEED]を押します。
- (37) 次の8ビット設定を選択します。
- (38) [FEED]を押します。
- (39) 次の8ビット設定を選択します。
- (40) [PAUSE]を押します。
- (41) 8ビットを確定し、次の8ビット設定を選択します。
- (42) [RESTART]を押します。
- (43) 次の8ビット設定を選択します。
- (44) [RESTART]を押します。
- (45) 次の8ビット設定を選択します。
- (46) [RESTART]を押します。
- (47) 次の8ビット設定を選択します。
- (48) [RESTART]を押します。
- (49) 次の8ビット設定を選択します。
- (50) [PAUSE]を押します。
- (51) 8ビットを確定し、次の8ビット設定を選択します。
- (52) [RESTART]を押します。



- (53) 次の8ビット設定を選択します。
- (54) [RESTART]を押します。
- (55) 次の8ビット設定を選択します。
- (56) [RESTART]を押します。
- (57) 次の8ビット設定を選択します。
- (58) [RESTART]を押します。
- (59) 次の8ビット設定を選択します。
- (60) [PAUSE]を押します。
- (61) ゲートウェイIPアドレス設定モードを選択します。
- (62) [PAUSE]を押します。
- (63) ゲートウェイIPアドレスが表示します。
- (64) ゲートウェイIPアドレスを設定します。
- (65) サブネットマスク設定モードを選択します。
- (66) [PAUSE]を押します。
- (67) サブネットマスクが表示します。
- (68) サブネットマスクを設定します。
- (69) ソケット通信ポート設定モードを選択します。
- (70) [PAUSE]を押します。
- (71) ソケット通信有効／無効を設定する。(無効)
- (72) [RESTART]を押します。
- (73) ソケット通信有効／無効を設定する。(有効)
- (74) [PAUSE]を押します。
- (75) 万の位を入力します。
- (76) [RESTART]を押します。
- (77) 万の位を設定します。
- (78) [PAUSE]を押します。



- (79) 千の位を入力します。
- (80) [FEED]を押します。
- (81) 千の位を設定します。
- (82) [PAUSE]を押します。
- (83) 百～一の位を入力します。
- (84) 百～一の位を設定します。
- (85) DHCP設定を選択します。
- (86) [PAUSE]を押します。
- (87) DHCP有効/無効を設定します。(無効)
- (88) [RESTART]を押します。
- (89) DHCP有効/無効を設定します。(有効)
- (90) [PAUSE]を押します。
- (91) DHCP IDを設定します。
- (92) [PAUSE]を押します。
- (93) DHCP ID入力モードを設定します。(ASCII) *
- (94) [RESTART]を押します。
- (95) DHCP ID入力モードを設定します。(HEX)
- (96) [PAUSE]を押します。
- (97) DHCP IDをします。(HEX)
- (98) [RESTART]を押します。
- (99) DHCP IDを入力します。(HEX:1バイト目)
- (100) [RESTART]を押します。
- (101) DHCP IDを入力します。(HEX:1バイト目)
- (102) [PAUSE]を押します。

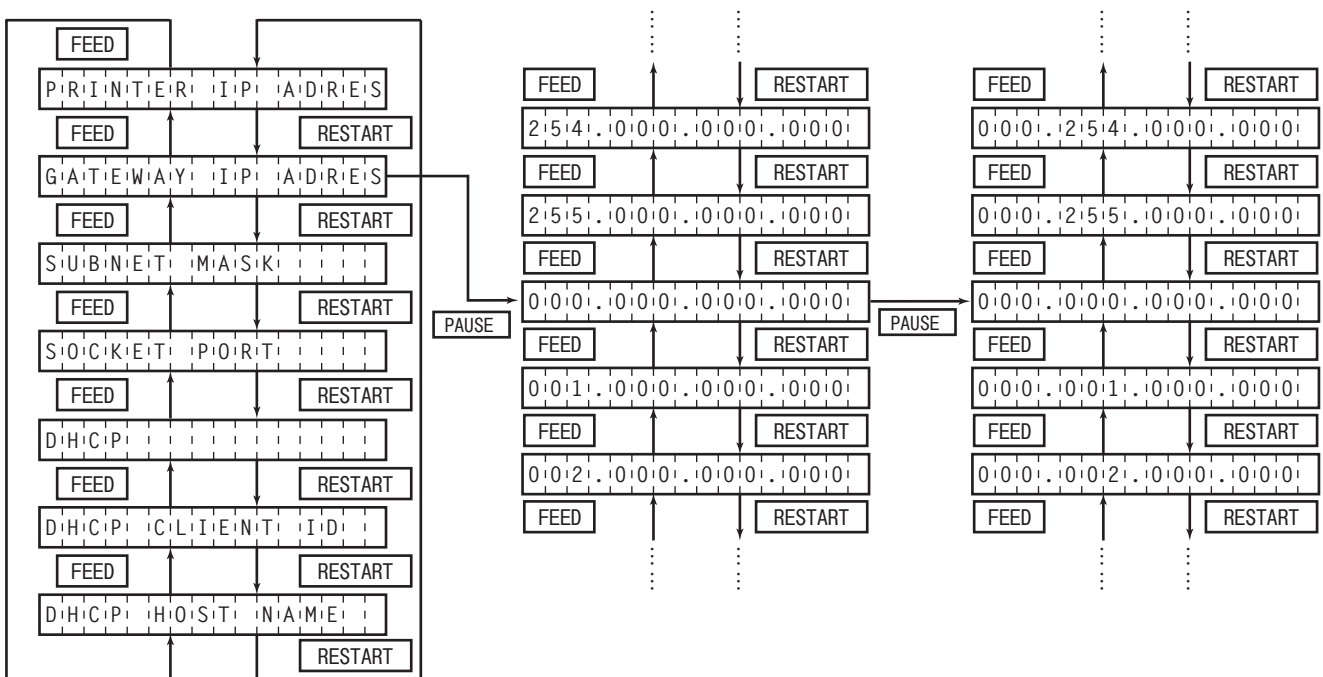


- (103)DHCP IDを入力します。(HEX:2バイト目)
- (104)[FEED]を押します。
- (105)DHCP IDを入力します。(HEX:2バイト目)
- (106)[FEED]キーを押します。
- (107)DHCP IDを入力します。(HEX:2バイト目)
- (108)2バイト目～ 16バイト目を入力します。
- (109)DHCP HOST NAMEを設定します。
- (110)[PAUSE]を押します。
- (111)DHCP HOST NAME入力モードを設定します。
(ASCII) *
- (112)[RESTART]を押します。
- (113)IPアドレスの設定が終了します。

補足

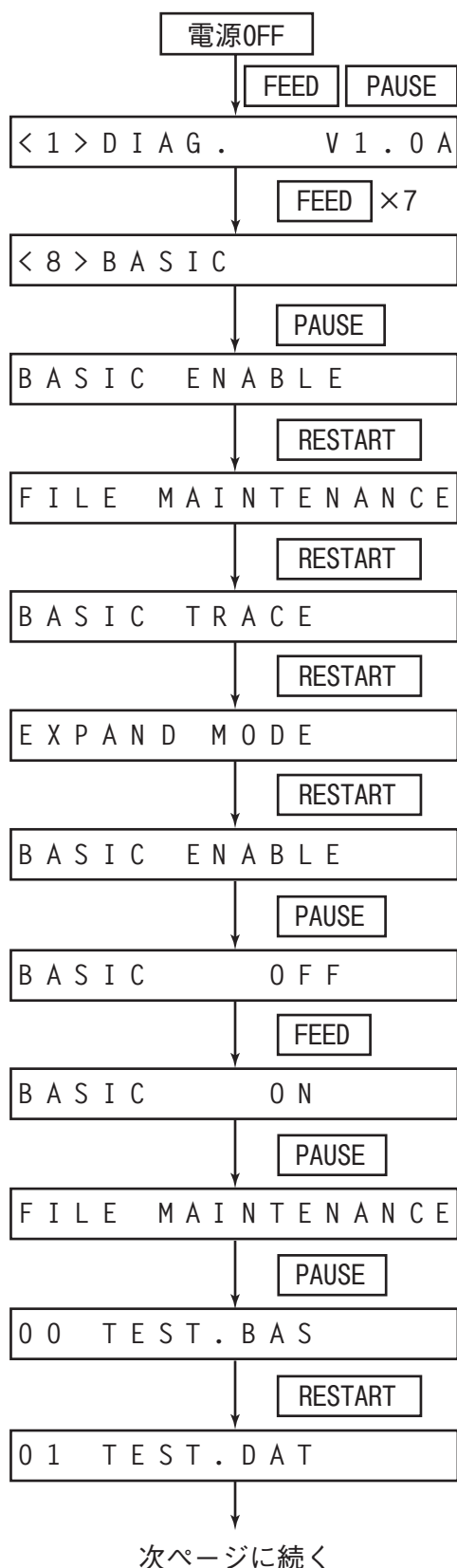
- DHCP ID入力ASCIIおよびDHCP HOST NAMEの場合、各バイトのデータがASCII文字で表示されます。

●設定内容の詳細

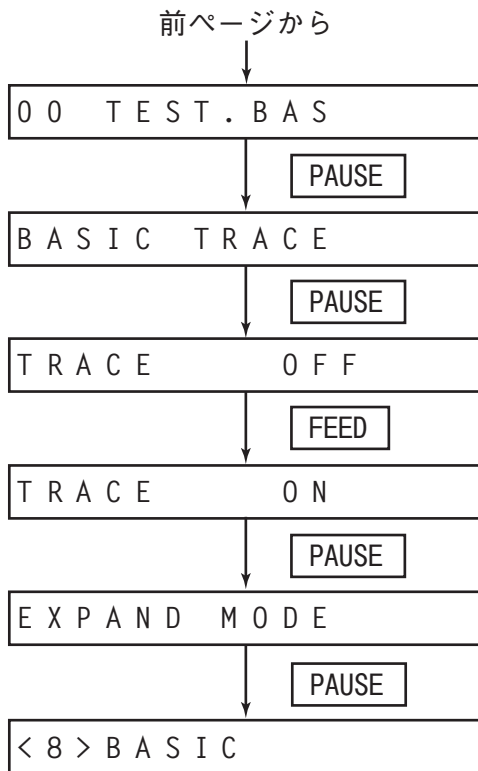


ベーシック設定

●操作例



- (1) 電源OFF状態です。
- (2) [FEED]と[PAUSE]を押しながら、電源をONにします。
- (3) 自己診断メニューが表示します。
- (4) [FEED]を7回押します。
- (5) ベーシック設定メニューが表示します。
- (6) [PAUSE]を押します。
- (7) ベーシック有効/無効モードを選択します。
- (8) [RESTART]を押します。
- (9) ベーシックファイルブラウザが表示します。
- (10) [RESTART]を押します。
- (11) ベーシクトレース設定を選択します。
- (12) [RESTART]を押します。
- (13) ベーシック拡張モードを選択します。
- (14) [RESTART]を押します。
- (15) ベーシック有効/無効設定モードを選択します。
- (16) [PAUSE]を押します。
- (17) ベーシック無効を選択します。
- (18) [FEED]を押します。
- (19) ベーシック有効を選択します。
- (20) [PAUSE]を押します。
- (21) ベーシックファイルブラウザを選択します。
- (22) [PAUSE]を押します。
- (23) プログラムファイルが表示します。
- (24) [RESTART]を押します。
- (25) データファイルが表示します。
- (26) ベーシックファイルエリアで確保した数のデータファイルが表示します。



- (27) プログラムファイルが表示します。
- (28) [PAUSE]を押します。
- (29) ベーシックトレース設定が表示します。
- (30) [PAUSE]を押します。
- (31) ベーシックトレースを無効にします。
- (32) [FEED]を押します。
- (33) ベーシックトレースを有効にします。
- (34) [PAUSE]を押します。
- (35) ベーシック拡張モードに戻ります。
- (36) ベーシック拡張モード用プログラムがロードされているときは、[PAUSE]を押すと実行されます。終了方法はベーシック拡張モード用プログラムによります。
- (37) ベーシック設定メニューに戻ります。

日常のお手入れ

いつもきれいな印字が得られるように、定期的(用紙交換ごと)に本機の清掃を行ってください。特に印字ヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。



警告

- ・ 水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと
内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。



注意

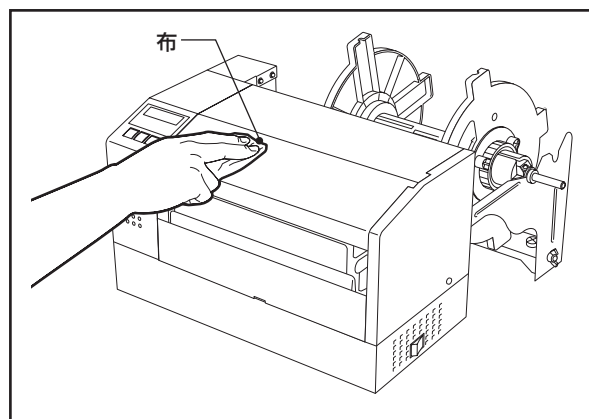
- ・ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ・ シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで清掃しないこと
火災の原因となることがあります。
- ・ トップカバーは後方へ倒すよう全開にすること
中途半端な状態で開けておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。

カバーを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 カバーの汚れは、乾いた布で拭き取ります。特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。

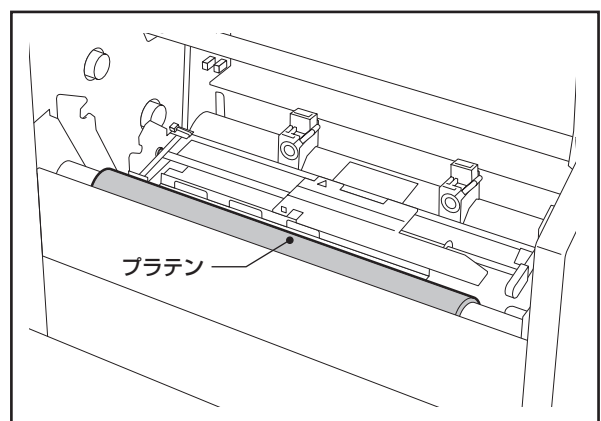
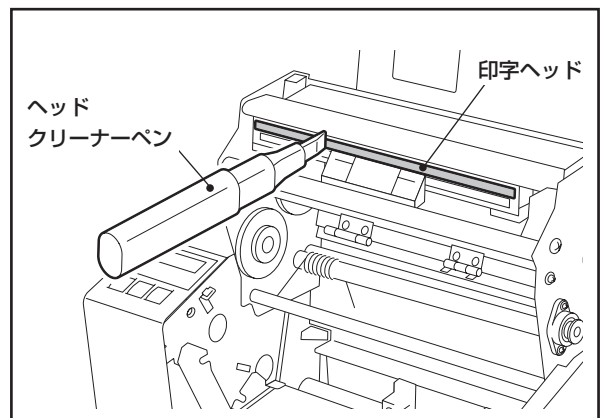
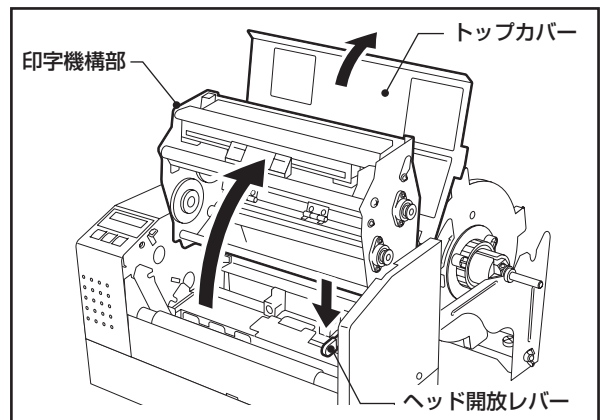
お願い

- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。



印字ヘッド／プラテンを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
リボンをセットしているときは取り外してください。
- 4 印字ヘッドの発熱部（網掛け部分）の汚れは、付属のヘッドクリーナーペンで拭き取ります。
- 5 プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

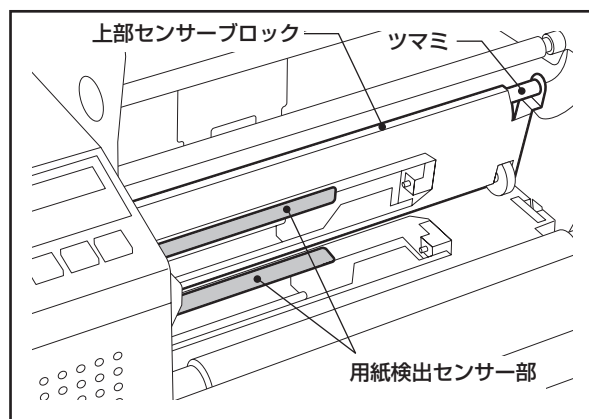
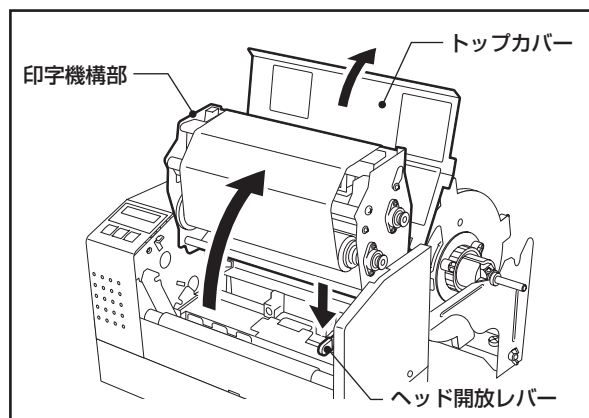


お願い

- 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。
- 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

用紙検出センサー部を清掃する

- 1 ガイドローラーの汚れは、少量の消毒用エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。用紙は取り外してください。
- 4 センサー調整ダイヤル手前のツマミを持ち上げ、上部センサーブロックを全開にしておきます。
- 5 用紙検出センサー部の紙粉や糊は、乾いた布で拭き取ります。



お願い

- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。変色や紙送り不良などの原因となります。
- 上部センサーブロックを全開にしたまま清掃してください。
- 上下の透明窓に貼付されている黒テープ部を、強い力で拭かないでください。

カッター（オプション）を清掃する

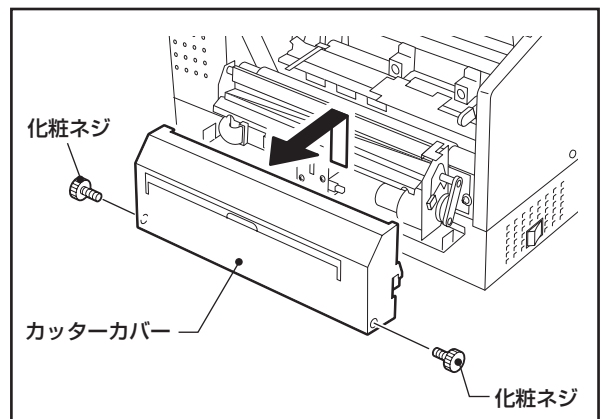
別売のカッターモジュールを本機に装着したときは、次の手順でカッターの刃や用紙ガイドを清掃してください。

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。

- 4 白色の化粧ネジを外し、カッターカバーを取り外します。

⚠ 接触注意

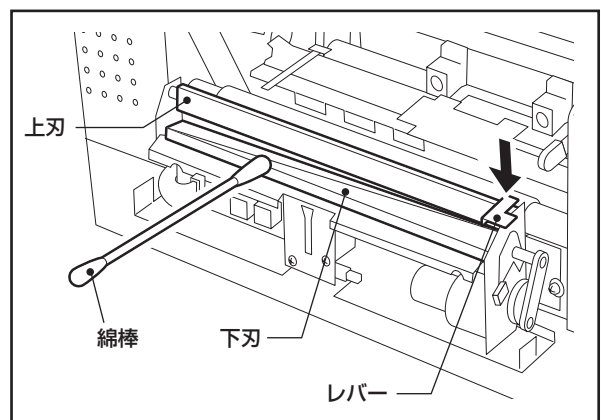
- カッターの刃に手を触れないこと
けがの原因となることがあります。



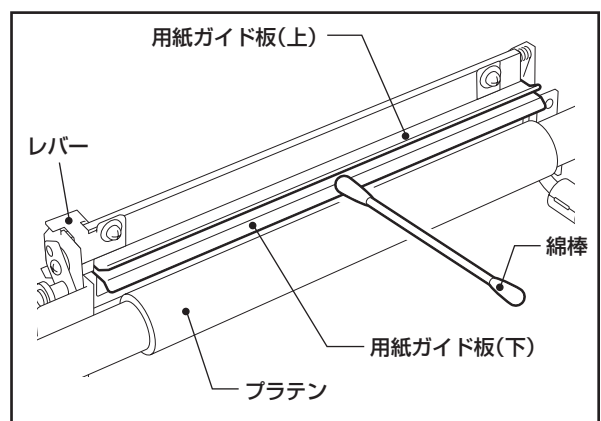
- 5 上下のカッターの刃に付着した糊や紙粉は、少量の消毒用アルコールをしみ込ませた綿棒で拭き取ります。

補足

- 上刃の右側のレバーを押し下げると、下刃の右端が清掃しやすくなります。



- 6 プラテンの手前の用紙ガイド板(上・下)に付着した糊や紙粉は、少量の消毒用アルコールをしみ込ませた綿棒で拭き取ります。
用紙ガイド板は、上刃の右側のレバーを押し下げると開きます。



お願い

- カッターの刃を金属などの堅いもので傷つけないでください。カット不良や故障の原因となります。
- シナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カット不良や故障の原因となります。

困ったときは

ご使用中に不具合が生じたときは、次の点を調べてください。

万一、本機の機能が回復しない場合は、すべての電源スイッチをOFFにしてコンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはサービス担当にご相談ください。

エラーメッセージについて

エラーメッセージが表示したときは、その内容に従って処置してください。

エラー原因に対する処置を行って[RESTART]を押すと、エラーは解除されます。

メッセージ表示	原因	処置
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カッター エラー ****</div> (カッターモジュール装着時)	カッター内部で紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.109)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がおり エラー ****</div>	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→P.26 ~ 31)
	発行中に紙詰まりが発生した。	詰まっている用紙を取り除き、用紙をセットし直して[RESTART]を押してください。(→P.108)
	用紙が正しく紙送りされていない。	用紙をセットし直し、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.26 ~ 31)
	プログラムで指定している用紙と違うサイズの用紙をセットしている。	指定しているサイズの用紙をセットし、[RESTART]を押してください。
	反射センサーが黒マークを検出していない。	上または下反射センサーの位置調整を行ってください。(→P.32,33) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
	透過センサーがラベル間のすき間を検出していない。	透過センサーの位置調整を行ってください。(→P.33) 位置調整が正しいときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→P.41,42) 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かみが アリマセン ****</div>	用紙が終了した。	新しい用紙をセットし、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.26 ~ 31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サーマルヘッド エラー</div>	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ツウシンエラー ハッセイ</div>	パラレルインターフェースを使って通信しているとき、何らかのエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONするか、[RESTART]を押してください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">フラッシュメモリ カギコミエラー</div>	フラッシュメモリーへの書き込みエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度書き込みを行ってください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

****:残枚数1 ~ 9999 (1枚単位)

メッセージ表示	原因	処置
フラッシュフォーマットエラー	フラッシュメモリーでフォーマットエラーが発生した。	電源スイッチをOFF/ONし、再度フォーマットを行ってください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
フラッシュメモリーオーバー	フラッシュメモリーの空き容量が足りなくて登録できない。	電源スイッチをOFF/ONしてください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
ヘッドインジョウカネツ	印字ヘッドの温度が使用範囲の上限に達した。	用紙の発行をやめて電源をOFFにし、しばらくお待ちいただいてから再度用紙を発行してください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
ヘッドオープン	印字機構部が正しくロックされていない。	印字機構部を正しくロックしてください。 (→P.30,36)
ヘッドセットエラー ****	印字機構部が正しくロックされていない状態で、用紙を発行または紙送りしようとした。	印字機構部を正しくロックし、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.30)
リボンエラー ****	リボンが終了した。	新しいリボンをセットし、[RESTART]を押すと続きが印字されます。 (→P.34～37)
	リボンが途中で切れた。	切れたリボンを貼り合わせてセットし直し、[RESTART]を押すと続きが印字されます。(→P.110)
	リボンモーター用のセンサーに故障が発生した。	電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。
例 PC001:0A00,0300,	最大16文字の英・数・記号が表示したときは、コマンドエラーが発生している。	正しいコマンドを送り直してください。
その他のエラーメッセージ	ハードウェアまたはソフトウェアに不具合が発生している。	電源スイッチをOFF/ONしてください。 再発する場合は電源をOFFにし、サービス担当にご連絡ください。

****:残枚数1～9999(1枚単位)

正しく動作しないとき

現象	原因	処置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(→P.23)
	停電またはコンセントまで電気が来ていない。	他の電気器具で電気が来ているか確認してください。電気が来ていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。
	本機が故障している。	電源をOFFにしてサービス担当にご連絡ください。
用紙が発行されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。(→P.26～31)
	印字機構部が正しくロックされていない。	印字機構部を正しくロックしてください。(→P.30,36)
	通信ケーブルが抜けている。	通信ケーブルをしっかりと接続してください。(→P.19～21)
	用紙検出センサーが汚れている。	用紙検出センサー部を清掃してください。(→P.103)
	用紙検出センサーが壊れている。	電源をOFFにしてサービス担当にご連絡ください。
用紙に印字されない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。(→P.26～31)
	コンピュータから印字データが送られていない。	印字データを送信してください。
印字がかすれる。	当社認定の用紙を使用していない。	当社認定の用紙に交換してください。(→P.26～31,113)
	印字ヘッドの押し圧が使用している用紙に合っていない。	用紙に合った押し圧に切り換えてください。(→P.31)
ドット抜けする。	印字ヘッドが汚れている。	印字ヘッドを清掃してください。(→P.102)
	印字ヘッドの発熱体の一部が断線している。	電源をOFFにしてサービス担当にご連絡ください。
きれいにカットされない。 (カッターモジュール装着時)	カッターの刃が汚れている。	カッターの刃を清掃してください。(→P.103,104)

用紙が詰まったとき

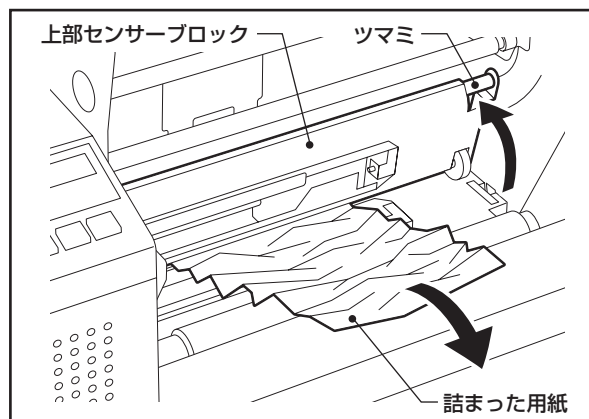
用紙が詰まったときは、次の手順に従って取り除いてください。



- ・ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源がON状態で操作すると、感電・けがの原因となることがあります。
- ・ 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げること
中途半端な状態にしておくとう勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。

本機内部で詰まった場合

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 4 センサー調整ダイヤル手前のツマミを持ち上げ、上部センサーブロックを全開にしておきます。
- 5 詰まっている用紙を取り除きます。
- 6 用紙を正しくセットし直します。
(→『用紙を取り付ける』)
- 7 印字機構部を静かに降ろしてロックし、トップカバーを静かに閉めます。



お願い

- ・ 印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因になります。
- ・ 印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

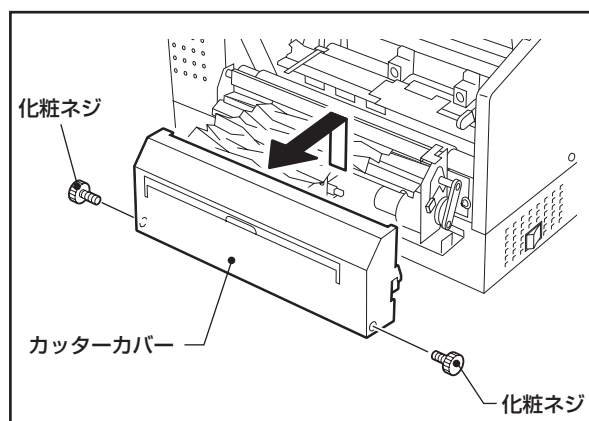
カッター内部で詰まった場合(オプション)

別売のカッターモジュール内部で用紙が詰まったときは、次の手順で詰まっている用紙を取り除いてください。

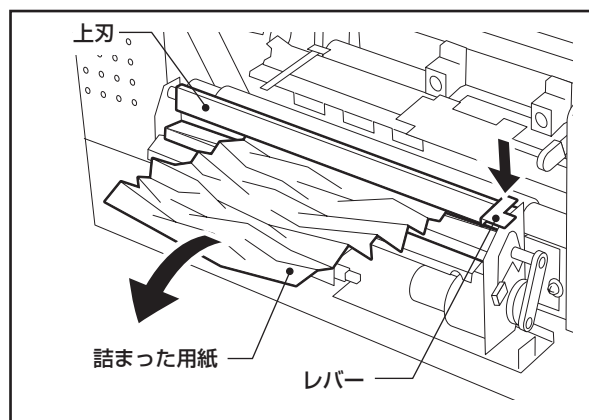
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 3 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 4 白色の化粧ネジを外し、カッターカバーを取り外します。

接触注意

- カッターの刃に手を触れないこと
けがの原因となることがあります。



- 5 上刃の右側のレバーを押し下げ、詰まっている用紙を取り除きます。
- 6 カッターカバーを閉めます。



- 7 用紙を正しくセットし直します。(→『用紙を取り付ける』)
- 8 印字機構部を静かに降ろしてロックし、トップカバーを静かに閉めます。

お願い

- カッターの刃を金属などの堅いもので傷つけないでください。カット不良や故障の原因となります。

リボンが途中で切れたとき

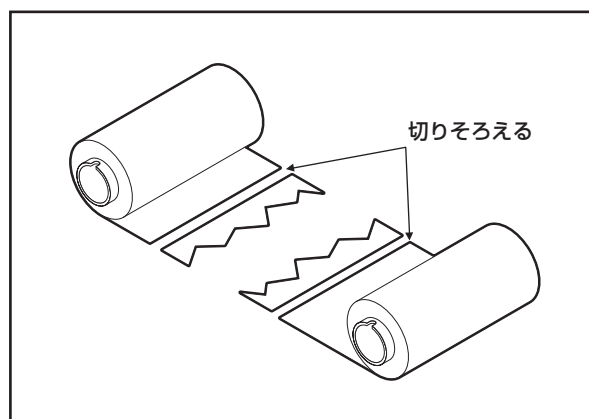
リボンが途中で切れたときは、次の手順で貼り合わせてください。(応急処置)
新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください。(→『リボンを取り付ける』)



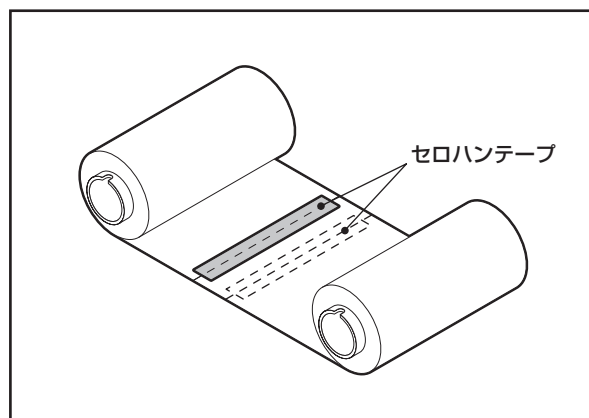
注意

- ・ 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げること
中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・ 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。

- 1 トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- 2 ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機後部を垂直になる位置まで持ち上げます。
- 3 スプリングガイドホイール右側のノブを引き、リボンを取り外します。
- 4 切れた部分をきれいに切りそろえます。



- 5 左右がズレないようにリボンを重ね合わせ、合わせ目をセロハンテープでしっかり止めます。
- 6 使用済み側の方にリボンを2～3周ほど巻き取り、印字機構部にセットし直します。
(→『リボンを取り付ける』)



リボンの巻きが乱れたとき

リボンの保管が悪かったり、リボン取付時にリボンを落として巻きが乱れたときは、次の手順で巻き戻してください。(応急処置)

新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください。(→『リボンを取り付ける』)

- 1 二人でリボンの両側を持ち、リボンを張った状態で左右がズレないように巻き戻します。

お願い

- ・ リボンを強く引っ張らないでください。必要以上に強く引っ張ると、リボンが切れます。

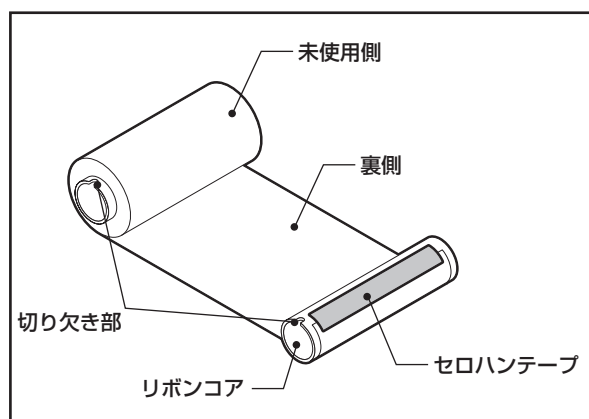
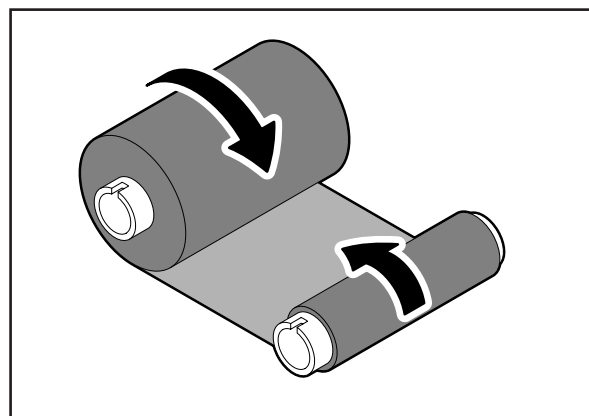
- 2 どうしても上手に巻き戻せないときは、使用済み側のリボンを切断し、リボンコアから使用済みのリボンを取り外します。

- 3 使用済みのリボンを取り外したリボンコアに、未使用側のリボンをセロハンテープでしっかり貼り付けます。

お願い

- ・ リボンはリボンコアと水平になるよう貼り付けてください。
斜めに貼り付けると、リボンにシワが発生する原因となります。

- 4 リボンを2～3周ほど巻き取り、印字機構部にセットし直します。
(→『リボンを取り付ける』)

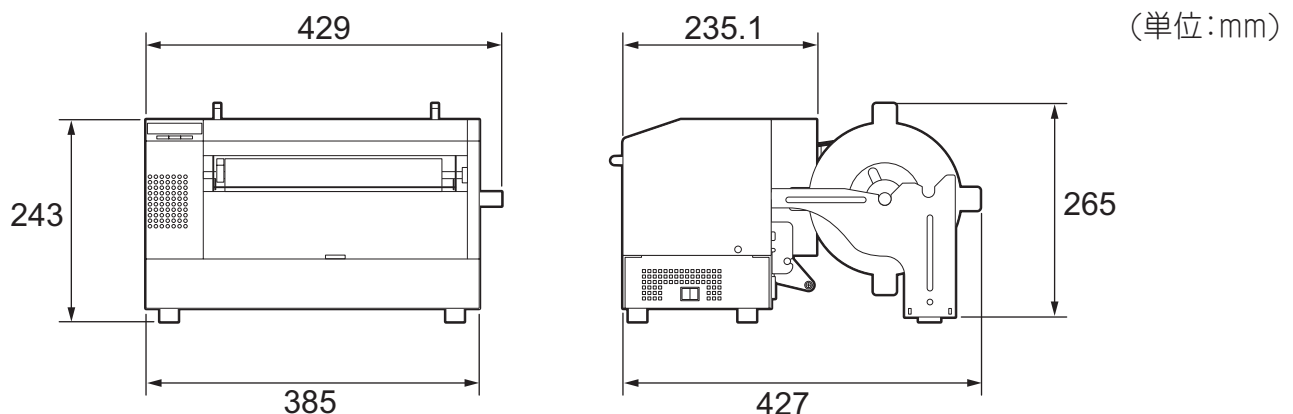


仕様

本機の仕様

項目		仕様
型式		B-858-TS25-R
定格電源		交流100V±10% 50/60Hz
消費電力		印字中:189W 待機中:14W
使用温度範囲		5～40℃
使用湿度範囲		25～85% (ただし、結露しないこと)
印字方式		感熱方式(熱直接発色) / 熱転写方式(リボン転写)
印字ヘッド密度		11.8ドット/mm (300dpi)
印字速度		50.8mm (2インチ) /秒または101.6mm (4インチ) /秒……切り換え式
発行モード		連続発行 / カット発行(オプション)
表示方式		液晶ドットマトリックス 16桁×1行
表示文字		英字、数字、カタカナ、記号
有効印字幅		最大216.8mm
印字可能文字種	英/数/カナ	タイムスローマン、ヘルベチカ、プレゼンテーション、レターゴシック、プレステージエリート、クーリエ、OCR-A、OCR-B
	漢字	16×16、24×24、32×32、48×48 (角ゴシック)、24×24、32×32 (明朝)
	外字	16×16、24×24、32×32、48×48ドット…各1種、フリーサイズ…最大41種
	その他	アウトラインフォント…4種、価格フォント…3種
印字可能バーコード		JAN8/13、EAN8/13/128、UPC-A/E、NW-7、CODE39(スタンダード / フルアスキー) / 93/128、ITF、MSI、インダストリアル2of5、RM4SCC、KIX code、POSTNET、カスタマーバーコード、GS1 DataBar
印字可能二次元コード		データコード、PDF417、QRコード、Maxi code、Micro PDF417、CPコード
インターフェース		シリアルポート×1 (RS-232C準拠)…………… D-Sub 9ピン パラレルポート×1 (セントリクス準拠)…………… ソフトウェア 36ピン USBポート×1 (USB V1.1準拠 / V2.0フルスピード対応) LANポート×1 (10BASE-T / 100BASE-TX準拠)
質量		約15.6kg
オプション(別売)		カッターモジュール(B-7208-QM-R)、無線LANボード*(B-SA704-WLAN) 拡張I/Oボード*(B-SA704-IO-QM-R)、RTCボード*(B-SA704-RTC-QM-R)

外形寸法



用紙の仕様

用紙には転写タイプと熱直接発色タイプのラベルとタグがあります。

用紙は当社認定の純正品をご使用ください。

用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

項目	ラベル		タグ	
	連続発行	カット発行	連続発行	カット発行
用紙長さ(ピッチ)	15 ~ 640mm	38 ~ 640mm	15 ~ 640mm	25.4 ~ 640mm
用紙幅(台紙含む)	100 ~ 242mm	100 ~ 235mm	100 ~ 242mm	100 ~ 235mm
ギャップ長(黒マーク長)	2 ~ 20mm	6 ~ 20mm	2 ~ 10mm	
黒マーク幅	10mm以上			
厚さ(台紙含む)	0.13 ~ 0.18mm		0.08 ~ 0.18mm	
最大ロール径	230mm			
紙管の内径	76.2±0.3mm			
巻き方向	内巻き			

リボンの仕様

リボンは当社認定の純正品をご使用ください。

タイプ	スプールタイプ
リボン幅	120mm、160mm、220mm
リボン長	300m
最大ロール径	72mm

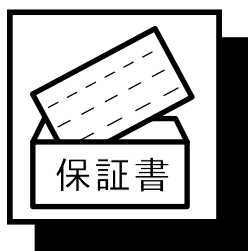
お願い

- ・用紙やリボンは高温、多湿をきらいますので、涼しい場所に保管してください。
- ・用紙やリボンにホコリや紙粉が付かないように気を付けてください。
- ・用紙やリボンの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・リボンを廃棄する場合は、各自治体の条例等に従って処分してください。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として処分してください。ただし、リボンコア(芯)は段ボールですので、分別処分してください。

補足

- ・当社認定品以外の用紙やリボンを使用して印字した結果につきましては、本体も含めて保証の範囲外とさせていただきます。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

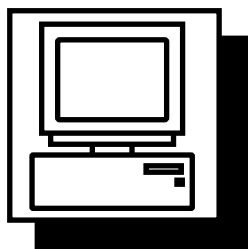


保証(保証書)について

保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたします。必ず「お買い上げ日・保証期間・販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。

保証書に「お買い上げ日・保証期間・販売店名」など所定事項の記入がないときは、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

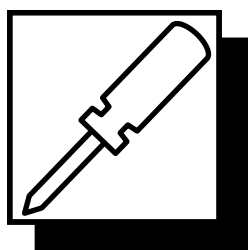
保証期間中は保証書の規定に従って無料修理いたします。保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



ユーザー登録について

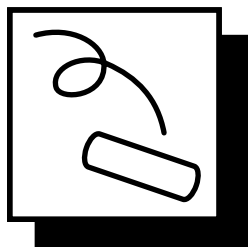
このたびお買い上げいただきました製品に関するアフターサービスの提供は、サービスを担当するサービスステーションに登録されて実施されます。したがって、製品を受領されましたら、ただちにお買い上げの販売店に「ユーザー登録」の手続きを要請し、ご確認をお願いいたします。

なお、安心してご利用いただけますように「保守サービス契約システム」をお勧めいたします。詳細は最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。



修理サービスについて

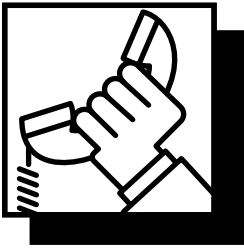
ご使用中に異常が生じたときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは製品の型式名、およびお買い上げ時期を忘れずにお知らせください。



消耗品について

消耗品は製品に合った当社純正品を、お買い上げの販売店にご注文ください。

- ・用紙
- ・リボン
- ・ヘッドクリーナーペン(図番:24089500013)



お問い合わせ先について

修理訪問についての詳細は、お買い上げの販売店またはコールセンターにご相談ください。

修理のご相談など

電話番号はお間違えのないよう、十分ご確認のうえおかけください。



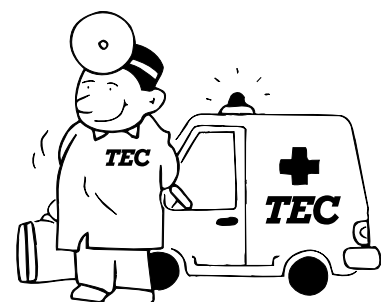
0570-033-477 (コールセンター)

受付時間および修理対応時間: 祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00

- ・ナビダイヤルを利用しています。なお、通話料はお客さまのご負担となります。
(ナビダイヤルは、NTTコミュニケーションズ株式会社のサービスです。)
- ・お問い合わせ内容の正確な把握と対応品質向上のため、通話内容を記録、録音させていただきます。

※記載の内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
最新の情報は当社ホームページをご確認ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	販売店名			
	電話番号	()	—	
	サービス担当名			
	電話番号	()	—	



お買い上げ日、販売店名、サービス担当名、電話番号などを記入しておくとう便利です。

サービスステーション所在地一覧

都道府県名	サービスステーション名	郵便番号	所在地
北海道	札幌SS	060-0908	北海道札幌市東区北8条東6丁目12-79
	旭川SS	070-0032	北海道旭川市2条通13丁目左3号 富士原ビル2F
	(北見駐在)	090-0051	北海道北見市高栄東町1-11-37 アクティブウエルズ21 2番街3号室
	帯広SS	080-0013	北海道帯広市西三條南28丁目17-9 雅ハイム1F
	(釧路駐在)	085-0057	北海道釧路市愛国西一丁目1番10号 小林ビル1F
	苫小牧SS	053-0005	北海道苫小牧市元中野町4-15-15
青森県	(函館駐在)	041-0812	北海道函館市昭和2-25-13
	青森SS	030-0113	青森県青森市第二問屋町1-8-2
岩手県	(八戸駐在)	031-0031	青森県八戸市番町3 NCビル
	一関SS	021-0882	岩手県一関市上大槻街1-45 耕栄第一ビル
宮城県	盛岡SS	020-0866	岩手県盛岡市本宮3-32-1
	仙台SS	981-3121	宮城県仙台市泉区上谷判6-10-22
秋田県	秋田SS	010-0951	秋田県秋田市山王6-9-25 山王SEビル1F
	(大館駐在)	017-0045	秋田県大館市中道2-1-35 あかね不動産ビル2F4号室
山形県	山形SS	990-0023	山形県山形市松波1-4-16
	(酒田駐在)	998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎3-7-5
福島県	郡山SS	963-8047	福島県郡山市富田東5-423
	(いわき駐在)	973-8411	福島県いわき市小島町3-3-5 山一ビルNo2
茨城県	水戸SS	310-0852	茨城県水戸市笠原町600-27 SL笠原ビル
	土浦SS	300-0037	茨城県土浦市桜町4-3-18 土浦ブリックビル
	古河SS	306-0023	茨城県古河市本町1-10-12 エースビル
栃木県	宇都宮SS	321-0968	栃木県宇都宮市中今泉3-12-14
群馬県	高崎SS	370-0069	群馬県高崎市飯塚町458-2
	さいたまSS	338-0001	埼玉県さいたま市中央区上落合5-20-30 3F
埼玉県	川口SS	333-0816	埼玉県川口市差間3-17-15
	川越SS	350-1123	埼玉県川越市脇田本町30-2 醍醐ビル
	熊谷SS	360-0034	埼玉県熊谷市万平町1-33 三晴ビル
千葉県	千葉SS	263-0024	千葉県千葉市稲毛区穴川3-11-8 NTビル
	成田SS	286-0025	千葉県成田市東町157-12 クローバービル3F
	木更津SS	299-1154	千葉県君津市南久保2-14-4 富士フィーストビル1F
	船橋SS	273-0011	千葉県船橋市湊町1-1-1 朝日生命船橋湊町ビル1F
	柏SS	270-0135	千葉県流山市野々下3-755-5
東京都	城東SS	136-0071	東京都江東区亀戸1-4-2 SCビル
	城南SS	108-0075	東京都港区港南3-8-1 住友不動産品川港南ビル11F
	城西SS	169-0072	東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル4F
	多摩SS	190-0011	東京都立川市高松町3-1-5 新立川ビル2F
神奈川県	横浜SS	240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸134 横浜ビジネスパーククエストタワー4F
	川崎SS	212-0027	神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F
	相模原SS	252-0001	神奈川県座間市相模が丘1-34-20 Zstyle
	横浜北SS	225-0024	神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾1152-13 セジュール市ヶ尾
	湘南SS	254-0035	神奈川県平塚市宮の前1-2 エパース第7平塚ビル3F
新潟県	新潟SS	950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-9-1
	長岡SS	940-2128	新潟県長岡市新産東町58
富山県	(上越駐在)	943-0832	新潟県上越市本町4-2-25
	富山SS	939-8204	富山県富山市根塚町1-3-10
石川県	金沢SS	920-0024	石川県金沢市西念1-17-9
福井県	福井SS	918-8239	福井県福井市成和2-708
山梨県	甲府SS	400-0828	山梨県甲府市青葉町20-7
長野県	松本SS	390-0827	長野県松本市出川3-9-8
	長野SS	381-0034	長野県長野市大字高田943-1

都道府県名	サービスステーション名	郵便番号	所在地
岐阜県	岐阜SS	500-8369	岐阜県岐阜市敷島町9-28-1
	静岡SS	422-8033	静岡県静岡市駿河区登呂6-5-47
静岡県	沼津SS	410-0059	静岡県沼津市若葉町10-22
	(伊豆駐在)	410-2392	静岡県伊豆の国市大仁570 東芝テック(株)内
	浜松SS	435-0043	静岡県浜松市中央区宮竹町171-1
愛知県	名古屋SS	460-0024	愛知県名古屋市中区正木3-5-17
	春日井SS	486-0826	愛知県春日井市貴船町148
	安城SS	446-0074	愛知県安城市井桁山町一本木6-4
三重県	豊橋SS	441-8031	愛知県豊橋市中郷町118-1 豊橋サウスビル5F
	津SS	514-0803	三重県津市柳津津興617
滋賀県	四日市SS	510-0064	三重県四日市市新正4-15-15
	滋賀SS	520-0047	滋賀県大津市浜大津1-1-3 朝日生命大津ビル3F
京都府	(彦根駐在)	520-0082	滋賀県彦根市安清町11-12
	京都SS	601-8443	京都府京都市南区西九条東御幸町13-1
大阪府	福知山SS	620-0054	京都府福知山市末広町5-10-1 双和産業ビル
	大阪北SS	564-0063	大阪府吹田市江坂町1-16-17 江坂コンゲビル5F
	大阪中央SS	550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-6-33 江戸堀7が生命ビル9F
	枚方SS	573-0023	大阪府枚方市東田宮1-13-11
兵庫県	堺SS	591-8023	大阪府堺市北区中百舌鳥町5-754
	神戸SS	651-0086	兵庫県神戸市中央区磯上通4-1-6 KDX神戸ビル4F
	明石SS	673-0891	兵庫県明石市大明石町1-2-37 YS明石ビル3F
奈良県	(姫路駐在)	670-0955	兵庫県姫路市安田1-68-1 JK姫路南ビル3F
	奈良SS	630-8115	奈良県奈良市大宮町4-465-10
和歌山県	和歌山SS	640-8341	和歌山県和歌山市黒田278-1
	(田辺駐在)	646-0021	和歌山県田辺市あけぼの45-17
鳥取県	鳥取SS	680-0034	鳥取県鳥取市元魚町2-105 アイシンビル
島根県	松江SS	690-0011	島根県松江市東津田町459-3
	(益田駐在)	698-0003	島根県益田市乙吉町イ342-1 益田第一ビル
岡山県	岡山SS	700-0936	岡山県岡山市北区雷田503-6
広島県	広島第一SS	730-0047	広島県広島市中区平野町2-21 広電平野町ビル
	広島第二SS	730-0047	広島県広島市中区平野町2-21 広電平野町ビル
	福山SS	721-0973	広島県福山市南蔵王町6-15-45
山口県	山口SS	754-0001	山口県山口市小郡上郷3582-1
	(徳山駐在)	745-0806	山口県周南市桜木3-5-69
徳島県	徳島SS	770-8053	徳島県徳島市沖浜東3-67-2
香川県	高松SS	761-8054	香川県高松市東八ヶ町6-9
	新居浜SS	792-0812	愛媛県新居浜市坂井町2-2-10
愛媛県	松山SS	790-0065	愛媛県松山市宮西1-8-14 河塚ビル
	(宇和島駐在)	798-0031	愛媛県宇和島市栄町港3-4-1 栄町港丸和ビル2F
高知県	高知SS	781-0806	高知県高知市知寄町2-1-37
	(四万十駐在)	787-0033	高知県四万十市中村大橋通6-3-4
福岡県	福岡SS	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-9-23
	北九州SS	803-8686	福岡県北九州市小倉北区下道津一丁目10-1
佐賀県	佐賀SS	842-0031	佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田292-2
長崎県	長崎SS	851-2127	長崎県西彼杵郡長与町高田郷3055-4
熊本県	熊本SS	860-0834	熊本県熊本市南区江越1-16-28
大分県	大分SS	870-0030	大分県大分市大字三芳1292-1
宮崎県	宮崎SS	880-0844	宮崎県宮崎市柳町232-2
鹿児島県	鹿児島SS	890-0068	鹿児島県鹿児島市東都元町11-29
沖縄県	那覇SS	901-0152	沖縄県那覇市小緑3-12-13

諸事情により所在地、電話番号などが変更になることがあります。ご了承ください。 2025年2月1日現在
 最新の電話番号・住所等は東芝テックソリューションサービス(株)のホームページにてご確認願います。
<https://www.toshibatec-ttss.co.jp/ttss/>

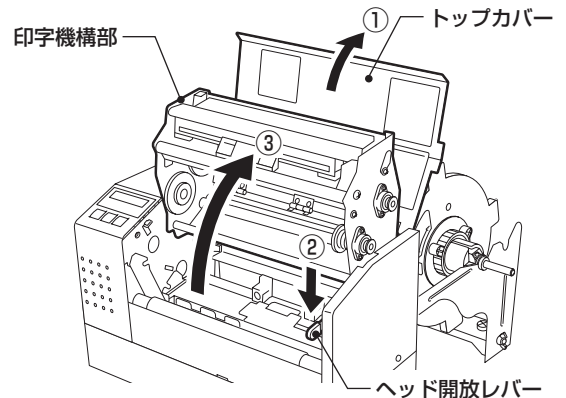
用紙の交換方法 1/2

交換前の用紙と同じタイプで、同じ幅の用紙に交換するものとして説明します。

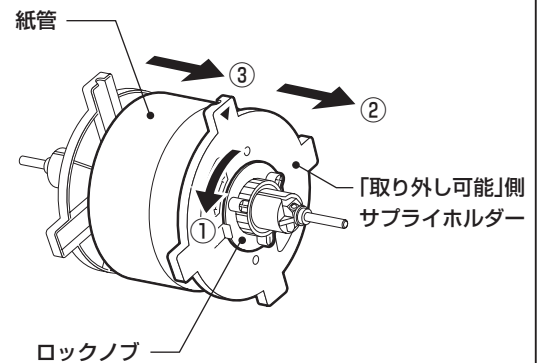
- ① トップカバーを後方へ倒すように全開にします。
- ② ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。

⚠ 注意

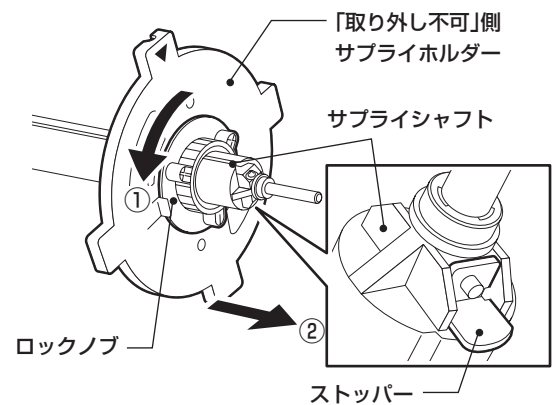
- 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げることで中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。



- ③ サプライホルダーユニットを外し、「取り外し可能」側サプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)に回して緩め、サプライシャフトからサプライホルダーと使用途中の用紙、または使用済みの紙管を抜き取ります。



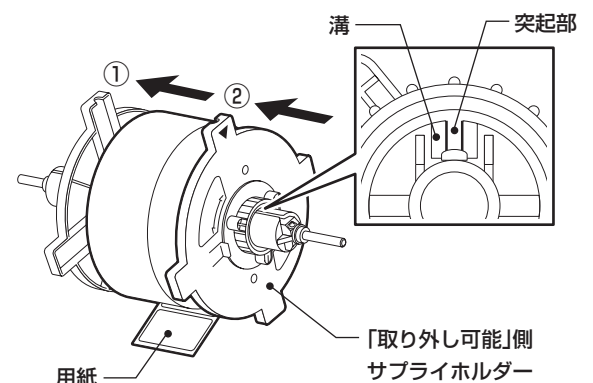
- ④ 「取り外し不可」側のサプライホルダーのロックノブを解除方向(🔓)に回して緩め、ストッパーで止まる位置まで端に寄せておきます。



- ⑤ サプライシャフトに用紙をセットし、「取り外し可能」側サプライホルダーの▼印をサプライシャフトの溝に合わせ、用紙と一緒に反対側のサプライホルダーの方へ押し込みます。

お願い

- 用紙の先端はまっすぐに切ってください。

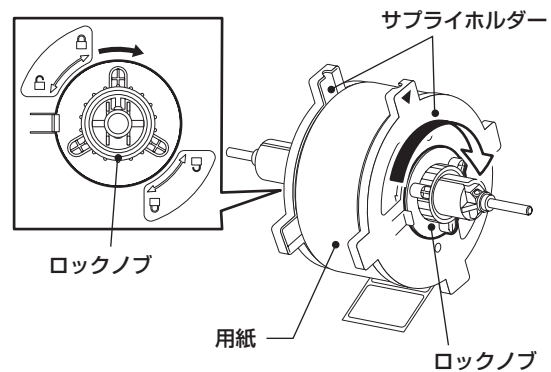


用紙の交換方法 2/2

- ⑥ 両方のサプライホルダーのロックノブをロック方向(🔒)に回して固定します。

⚠️ 注意

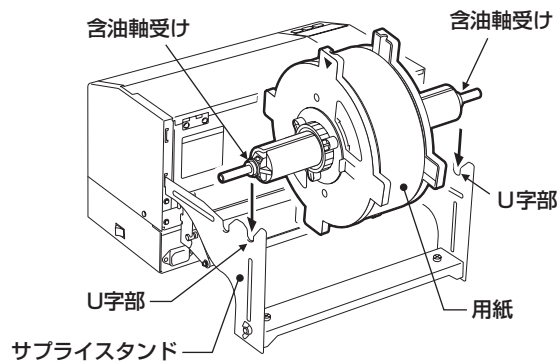
- ロックノブを固定しないまま、用紙をセットしたサプライホルダーユニットを傾けないこと「取り外し可能」側のサプライホルダーが外れて用紙が抜け落ち、けがの原因となることがあります。



- ⑦ 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの後ろ側のU字部に乗せます。

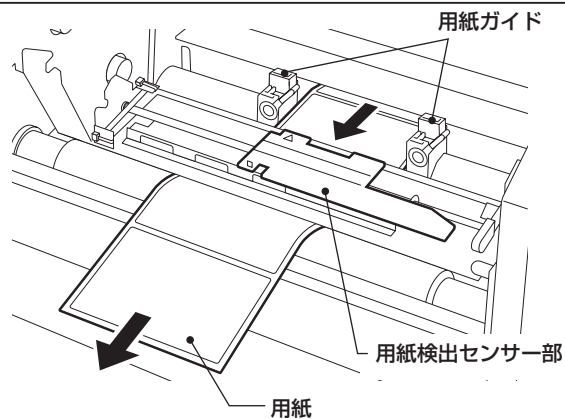
お願い

- 用紙の印字面が上を向くようにセットしてください。
- サプライシャフトの左右の含油軸受けが、サプライスタンドのU字部に正しく乗っていることを確認してください。



- ⑧ 用紙を50cm程引き出し、ダンパーの下を通して用紙挿入口へ差し込みます。

- ⑨ 用紙を左右の用紙ガイドの間に通し、用紙検出センサー部の下を通して用紙発行口へ手で送り出します。

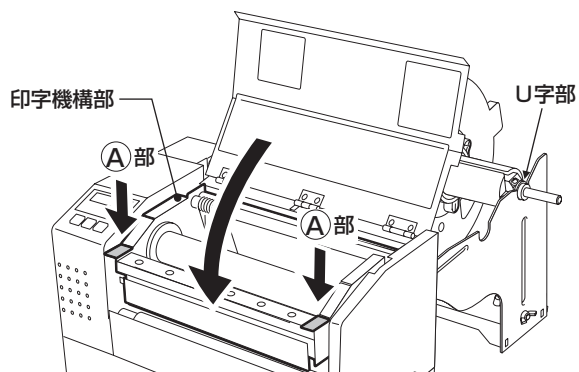


- ⑩ 印字機構部を静かに降ろし、印字機構部のA部を「カチッ」と音がするまで押してロックします。

- ⑪ トップカバーを静かに閉めます。

- ⑫ 用紙を取り付けたサプライホルダーユニットを、サプライスタンドの前側のU字部に乗せ替えます。

- ⑬ **FEED** キーを押して20～30cm程紙送りし、正しく紙送りすることを確認します。



※初めて用紙をセットするとき、または交換前の用紙と異なるタイプ、異なる幅の用紙に交換するときは、取扱説明書の『用紙を取り付ける』をご覧ください。(→P.26～31)

リボンの交換方法 1/2

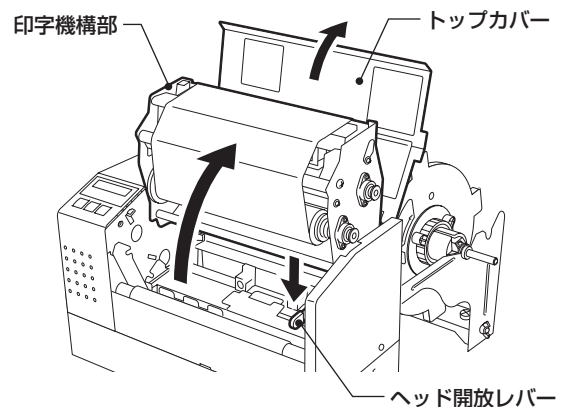
リボンは用紙幅に対応した、当社認定の純正品をお使いください。

① トップカバーを後方へ倒すように全開にします。

② ヘッド開放レバーを押し下げ、印字機構部を垂直になる位置まで持ち上げます。

⚠ 注意

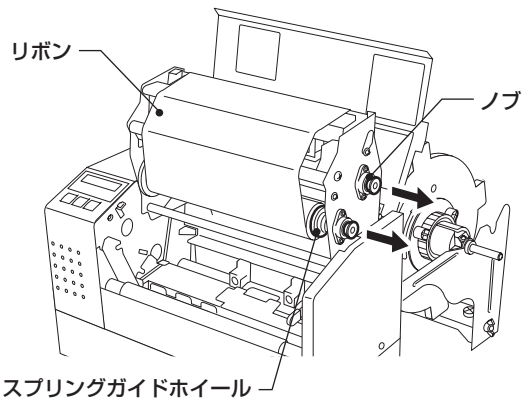
- 印字機構部は垂直になる位置まで持ち上げることで中途半端な状態にしておくと勝手に閉まり、けがの原因となることがあります。
- 印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
火傷の原因となることがあります。



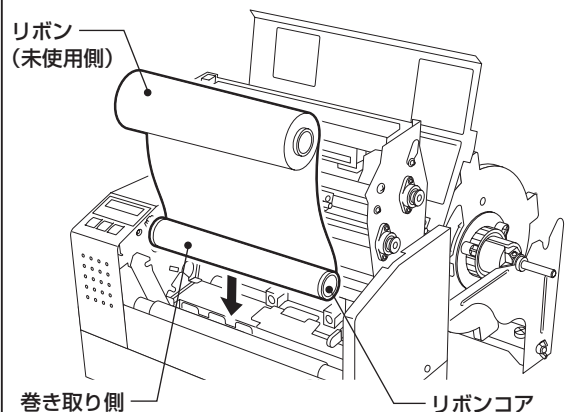
③ スプリングガイドホイール右側のノブを引き、使用済みのリボンを取り外します。

お願い

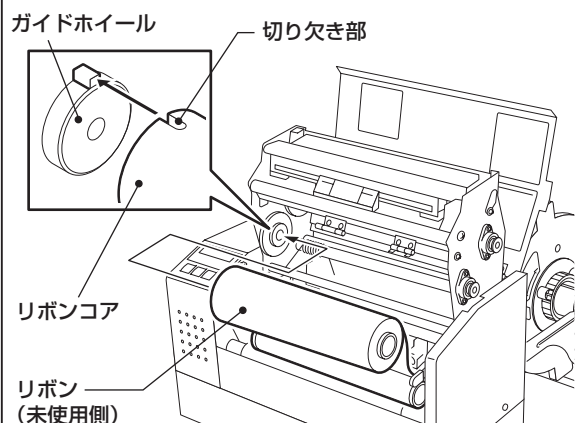
- リボンは巻きが乱れやすく広がりやすいため、取り付け／取り外し時は手でしっかり持ってください。



④ 未使用側(径の太い方)のリボンを持ち、巻き取り側(径の細い方)のリボンコアを用紙検出センサー部の手前に静かに置きます。

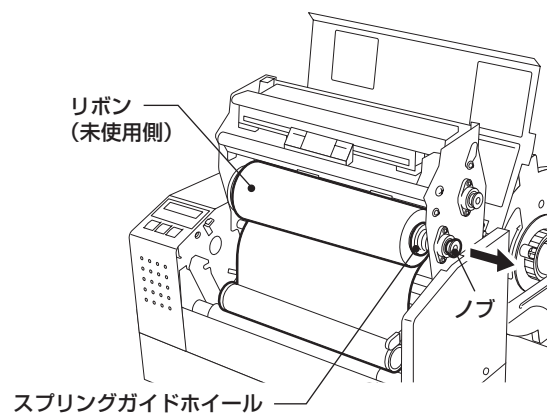


⑤ 未使用側(径の太い方)のリボンコアの切り欠き部を、手前(下部)ガイドホイールの突起部に合わせてセットします。

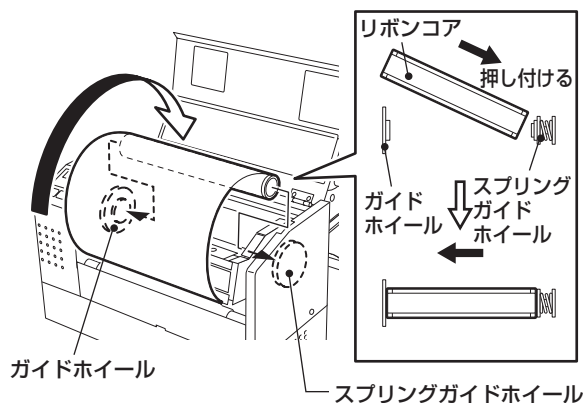


リボンの交換方法 2/2

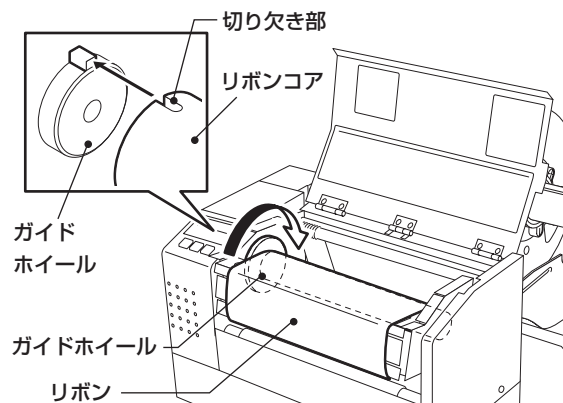
- ⑥ 手前(下部)のスプリングガイドホイール右側のノブを引き、リボンコアの右側をスプリングガイドホイールにセットします。



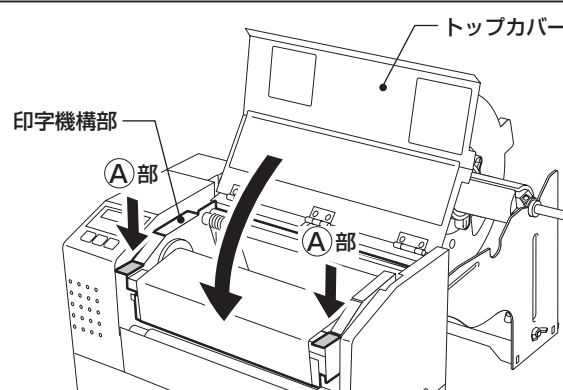
- ⑦ 手順④で用紙検出センサー部の手前に置いた巻き取り側のリボンコアを持ち、印字機後部を静かに降ろします。
- ⑧ リボンコアの右側を後方(上部)のスプリングガイドホイールに押しつけながら、左側をガイドホイールにセットします。



- ⑨ 後方(上部)のガイドホイールを回し、突起部をリボンコアの切り欠き部にかみ合わせます。
- ⑩ 後方(上部)のガイドホイールを後方に回し、リボンのタルミやシワを取り除きます。



- ⑪ 印字機構部の(A部)を「カチッ」と音がするまで押し、印字機構部をロックします。
- ⑫ トップカバーを静かに閉めます。



お願い

- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の条例等に従って処分してください。法律上は「廃プラスチック」に該当します。ただし、リボンコア(芯)は段ボールですので、分別処分してください。

交換方法の詳細は、取扱説明書の『リボンを取り付ける』をご覧ください。(→P.34～37)

(切り取り線で切り、クリアファイルなどにに入れてお使いください)

MEMO

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

B-858-TS25-R

東芝テック株式会社